

EPSON

SC-G6050

ユーザーズガイド

本機の使い方全般を説明しています。

CMP0492-01 JA

© 2025 Seiko Epson Corporation

商標

Apple、Mac、OS X は米国およびその他の国で登録された Apple Inc. の商標です。

Microsoft、Windows、Internet Explorer、Microsoft Edge は、マイクロソフト グループの企業の商標です。

Adobe、Acrobat、Illustrator、Reader は、米国ならびに他の国における Adobe の登録商標または商標です。

QR コードは (株) デンソーウェーブの登録商標です。

Intel および Intel Core は、Intel Corporation またはその子会社の商標です。

Firefox は米国 Mozilla Foundation の米国およびその他の国における商標です。

Chrome、YouTube は Google LLC の商標です。

その他の製品名は各社の商標または登録商標です。

ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容にご不明な点や誤り、記載漏れなど、お気付きの点がありましたら弊社までご連絡ください。
- 運用した結果の影響については前項に関わらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品が、本書の記載に従わずに取り扱われたり、不適当に使用されたり、弊社および弊社指定以外の、第三者によって修理や変更されたことなどに起因して生じた障害等の責任は負いかねますのでご了承ください。

インクパックは純正品をお勧めします

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクパックを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

もくじ

マニュアルの見方	5
マークの意味	5
安全に関するマーク 5	
一般情報に関する表示 5	
掲載画面	5
掲載イラスト	5
OS の表記	5
Windows 5	
Mac OS 5	
マニュアルの構成	5
動画マニュアルの見方	6
PDF マニュアルの見方	6
ご使用の前に	7
各部の名称と働き	7
正面 7	
内部 9	
背面 11	
アダプター 12	
操作パネル 13	
ホーム画面 14	
取り扱い上のご注意	19
設置スペース 19	
使用時のご注意 19	
使用しないときのご注意 20	
操作パネル使用時のご注意 20	
インクパック/クリーニングインクパック取り扱い上のご注意 21	
ホワイトインク取り扱い上のご注意 22	
メディア取り扱い上のご注意 22	
提供ソフトウェアの紹介	23
製品付属の光ディスクで提供しているソフトウェア (Windows のみ) 23	
epson.sn で提供しているソフトウェア (Windows の み) 23	
その他の提供ソフトウェア 24	
Epson Edge Print PRO の使い方 (Windows の み)	25
起動方法 25	
EMX ファイルの取得と登録 25	
終了方法 25	
Epson Edge Dashboard の使い方	25
起動方法 25	
本機の登録 26	
EMX ファイルのダウンロード 26	
終了方法 26	
EPSON Software Updater の使い方 (Windows)	26
更新されたか確認してアップデート 26	
アップデートの通知を受け取る 27	
Web Config の使い方	27
機能概要 27	
起動方法 28	
終了方法 28	
ソフトウェアの削除	28
Windows 28	
Mac OS 29	
管理者パスワードに関するご注意	29
初期パスワードの確認方法 29	
パスワードの変更方法 29	
基本の操作	31
適切に印刷するための作業の流れ	31
本機にメディア設定値を登録	32
メディア取り扱い時のご注意	32
メディアセット時のご注意	32
メディアのセット	33
セットしたメディアの設定	33
印刷する	34
メディアのカット	35
自動カットの設定方法 35	
手動カットの方法 35	
メディアの取り外し方	36
メディア終了時の取り外し方 36	
使用途中のメディアの取り外し方 36	
メディア設定の最適化 (プリントヘッドの位置調 整・メディア送り調整)	37
プリントヘッドの位置調整 38	
メディア送り調整 39	
印刷の途中でメディア送り量を調整する	40
印刷可能領域	42

メンテナンス 44

メンテナンスの種類と実施時期	44
清掃箇所と実施時期	44
消耗品の箇所と交換時期	45
その他のメンテナンス	46
準備するもの	47
メンテナンス作業時のご注意	47
定期清掃の仕方	48
インククリーナーの使い方	48
プリントヘッド周辺の清掃	48
吸引キャップ周辺の清掃	49
プラテンの清掃	50
インクパックの定期かくはん	52
かくはん時のご注意	52
かくはん方法	52
インクパックの交換	53
交換時のご注意	53
交換方法	53
廃インク処理	55
廃インクボトル交換時のご注意	55
廃インクボトルの交換	55
ヘッドクリーニングセットの交換	56
準備と交換時期	56
交換方法	57
カッターの交換	57
交換方法	57
カッター交換時のご注意	57
使用済み消耗品の処分	58
回収	58
廃棄	58
ノズルの目詰まりの解消	58
ノズルの目詰まりチェック	58
プリントヘッドのクリーニング	59
長期間使用しないときの事前メンテナンス	60
事前メンテナンスの方法	60
使用を再開するとき	61

操作パネルのメニュー 62

設定メニュー一覧	62
設定メニューの説明	68
本体設定メニュー	68
メディア設定メニュー	76
プリンターのお手入れメニュー	78
消耗品情報メニュー	80
交換部品情報メニュー	80

情報確認メニュー	80
---------------	----

困ったときは 81

メッセージが表示されたとき	81
メンテナスコール/プリンターエラーが発生したときは	82
トラブルシューティング	83
印刷できない（プリンターが動かない）	83
プリンターは動くが印刷されない	84
印刷品質/印刷結果のトラブル	85
メディアのトラブル	96
その他	96
お問い合わせいただく前に	97
エプソンのウェブサイトの Q&A	97
ファームウェアのバージョンアップ	97
トラブルが解消されないときは	97

付録 98

消耗品とオプション	98
インクパック	98
その他	98
使用可能なメディア	99
移動と輸送	99
移動の方法	99
輸送の方法	100
システム条件	101
Epson Edge Dashboard	101
Epson Edge Print PRO	102
Web Config	102
仕様一覧	103
サービス・サポートのご案内	105
各種サービス・サポートについて	105
保守サービスのご案内	105
お問い合わせ先	107
製品に関する諸注意と適合規格	108

マニュアルの見方

マークの意味

安全に関するマーク

マニュアルでは、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、危険を伴う操作や取り扱いを次の記号で警告表示しています。内容をご理解の上で本文をお読みください。

⚠ 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および財産の損害の可能性が想定される内容を示しています。

一般情報に関する表示

!重要	必ず守っていただきたい内容を記載しています。この内容を無視して誤った取り扱いをすると、製品の故障や、動作不良の原因になる可能性があります。
参考	補足説明や参考情報を記載しています。
	関連する内容の参照先を示しています。
[プリンター設定]	操作パネルやコンピューターの画面に表示される文字列は[]で囲んで示します。
【OK】ボタン	操作パネルのボタン名称を示しています。

掲載画面

本書に掲載している画面は実際の画面と若干異なることがあります。

掲載イラスト

掲載しているイラストが、お使いの機種と若干異なることがあります。ご了承ください。

OS の表記

Windows

本書では、以下の OS (オペレーティングシステム) をそれぞれ「Windows 11」「Windows 10」「Windows 8.1」と表記しています。また、これらの総称として「Windows」を使用しています。

- Microsoft® Windows® 11 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 10 operating system 日本語版
- Microsoft® Windows® 8.1 operating system 日本語版

Mac OS

本書では、OS X Mavericks を「Mac OS X 10.9.x」と表記しています。また、Mac OS X 10.9.5 以降の総称として「Mac OS」を使用しています。

マニュアルの構成

本製品のマニュアルは、以下の構成で提供しています。PDF マニュアルは、Adobe Reader やプレビュー (Mac OS) などでご覧ください。

セットアップガイド (冊子)	本機を箱から取り出した以降から、本機を使用可能にするまでの作業を説明しています。作業を安全に行うために、必ずご覧ください。
オンラインマニュアル	
ユーザーズガイド (本書)	本機の使い方を説明しています。
Epson Video Manuals (動画)	メディアのセットやメンテナンスの方法を動画でご覧になれます。
ネットワークガイド (PDF)	ネットワークプリンターとして使用するための説明をしています。

動画マニュアルの見方

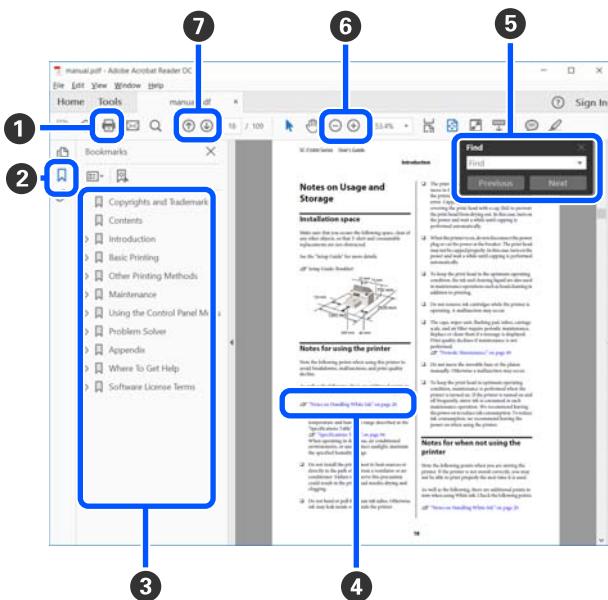
動画マニュアルは YouTube にアップしています。
オンラインマニュアルのトップページから [Epson Video Manuals (動画)] をクリックするか、以下の青字の部分をクリックしてご覧いただけます。
[動画マニュアル](#)

なお、動画再生時に字幕が表示されないときは、字幕アイコン（下図の囲み部）をクリックしてください。



PDF マニュアルの見方

Adobe Reader で PDF マニュアルを見る際の基本的な操作を Adobe Acrobat Reader DC で表示したときを例に説明します。



- ① PDF マニュアルを印刷するときにクリックします。
- ② クリックするたびに、しおりを閉じたり表示したりします。

- ③ タイトルをクリックすると該当のページが表示されます。
[+] をクリックすると、下の階層のタイトルが表示されます。

- ④ 参照先が青字で記載されているときは、青字の部分をクリックすると該当のページが表示されます。
元のページに戻るときは、以下のように行います。

Windows の場合

Alt キーを押したまま ← キーを押します。

Mac OS の場合

command キーを押したまま ← キーを押します。

- ⑤ 確認したい項目名などキーワードを入力して検索ができます。

Windows の場合

PDF マニュアルのページ上で右クリックし、表示されたメニューで [簡易検索] を選択すると、検索ツールバーが表示されます。

Mac OS の場合

[編集] メニューで [簡易検索] を選択すると、検索ツールバーが表示されます。

- ⑥ 表示中の文字が小さくて見えにくいときは + をクリックすると拡大します。 - をクリックすると縮小します。イラストや画面図など拡大する部分を指定するには、以下のように行います。

Windows の場合

PDF マニュアルのページ上で右クリックし、表示されたメニューで [マーキーズーム] を選択します。
ポインターが虫眼鏡に変わりますので拡大したい箇所を範囲指定します。

Mac OS の場合

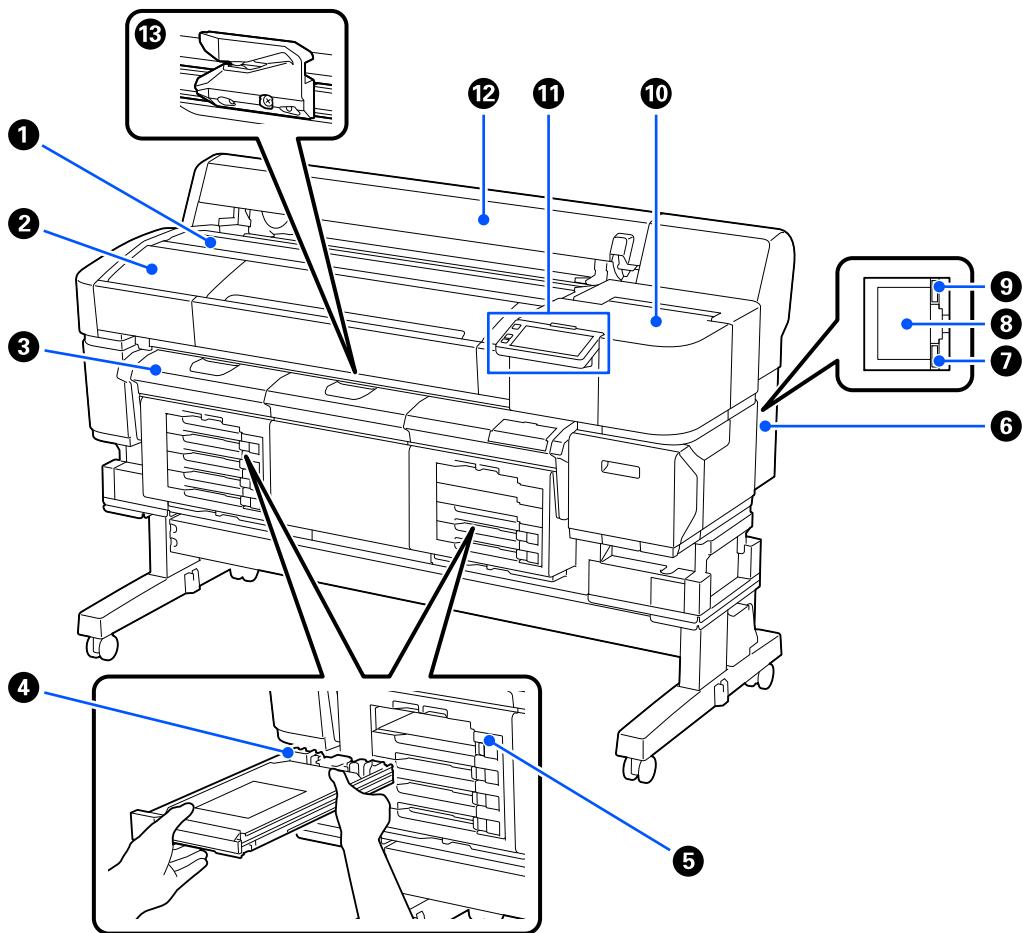
[表示] メニュー - [ズーム] - [マーキーズーム] の順にクリックすると、ポインターが虫眼鏡に変わります。そのまま虫眼鏡のポインターで拡大したい箇所を範囲指定します。

- ⑦ 前ページ/次ページを表示します。

ご使用の前に

各部の名称と働き

正面



① メディア仮置き台

メディアのセット/取り外し時にメディアを置いてアダプターの着脱を行います。

② プリンターカバー

内部の清掃、紙詰まり時などに開けます。

③ 排紙ガイド

排出されたメディアがスムーズに排出されるように誘導します。

④ インクパックトレイ

ラベルで示す色のインクパックを装着します。全てのインクパックトレイをセットしてください。

⑤ ロックスイッチ

インクパックトレイを引き出すときは、ロックスイッチを右に移動してロックを解除します。インクパックトレイをセット後はロックスイッチを左に移動してロックします。

⑥ USB ポート

USB ケーブルを接続します。

⑦ データランプ

ネットワークの接続状態またはデータの受信状態が点灯/点滅で示されます。

点灯：接続状態です。

点滅：データ受信中です。

⑧ LAN ポート

LAN ケーブルを接続します。LAN ケーブルは、シールドツイストペアケーブル（カテゴリー 5e 以上）を使用してください。

⑨ ステータスランプ

ネットワークの通信速度が色で示されます。

赤色 : 100Base-TX

緑色 : 1000Base-T

⑩ メンテナンスカバー

キャップの清掃やワイヤーの清掃時に開けます。

⑪ 操作パネル

 [「操作パネル」 13 ページ](#)

⑫ メディアカバー

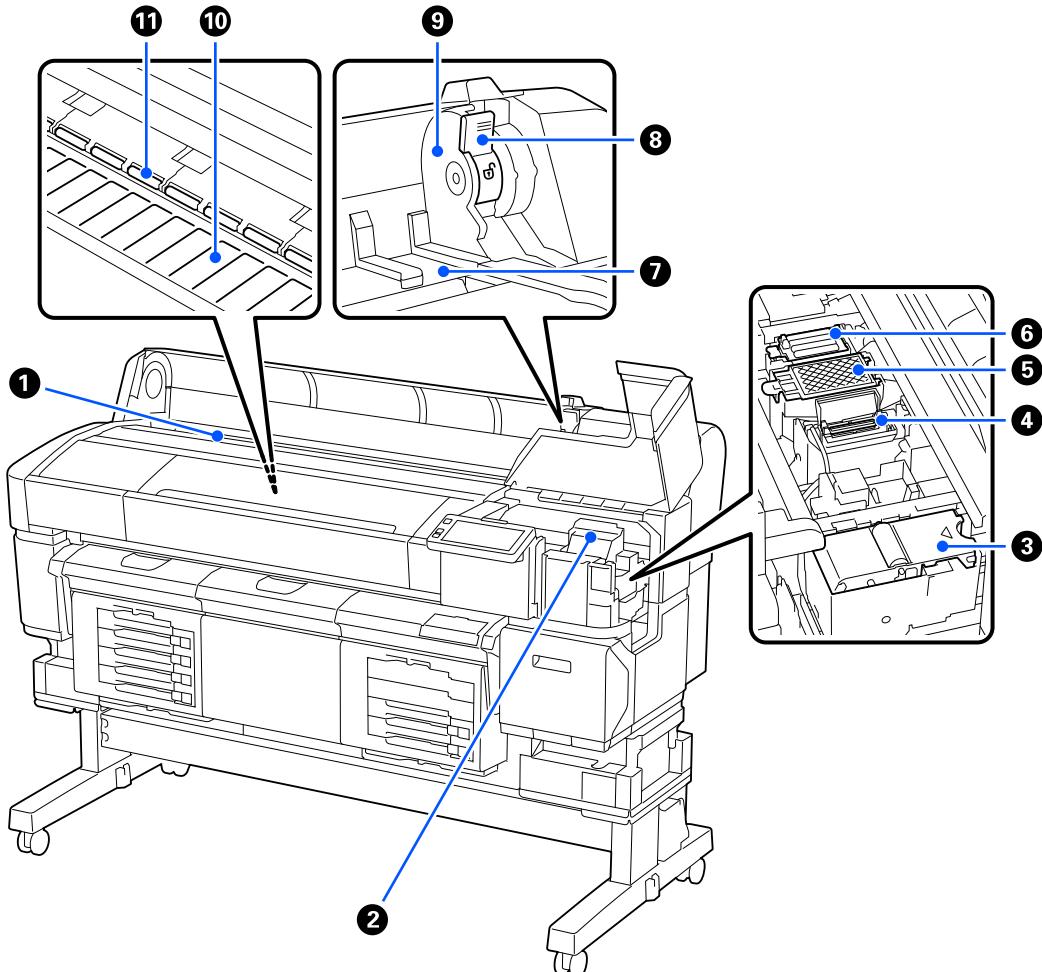
メディアを保護するカバーです。メディアのセットと取り外しを除いて閉めた状態でお使いください。

⑬ カッター

メディアがきれいに切れなくなったら、カッターを交換してください。

 [「カッターの交換」 57 ページ](#)

内部



① メディア挿入口

印刷時にメディアをここから挿入してセットします。

② プリントヘッド

左右に移動しながらインクを吐出して印刷します。プリントヘッドのクリーニングをしてもノズルの目詰まりが解消されないときは、清掃してください。

[「プリントヘッド周辺の清掃」48 ページ](#)

③ ワイパユニット

プリントヘッドのノズルに付いたインクを拭き取ります。ワイパユニットは消耗品です。メッセージが表示されたら交換してください。

[「ヘッドクリーニングセットの交換」56 ページ](#)

④ 吸引カップ

プリントヘッドのクリーニング時にインクを吸引して、ノズルの目詰まりを解消します。メッセージが表示されたら清掃してください。

[「吸引カップ周辺の清掃」49 ページ](#)

⑨ アダプターホルダー

メディアをセットしたアダプターを装着します。

⑤ フラッシング用吸収材

フラッシング時にインクがここに排出されます。フラッシング用吸収材は消耗品です。メッセージが表示されたら交換してください。

[「ヘッドクリーニングセットの交換」56 ページ](#)

⑥ 乾燥防止キャップ

印刷時を除き、このキャップでプリントヘッドのノズルを塞いで乾燥を防ぎます。乾燥防止キャップは消耗品です。メッセージが表示されたら交換してください。

[「ヘッドクリーニングセットの交換」56 ページ](#)

⑦ アダプターガイド

メディアを装着するときのガイドです。メディアをこのガイドに沿って移動させ、アダプターホルダーに装着します。

[「メディアのセット」33 ページ](#)

⑧ ロールロックレバー

アダプターホルダーに装着したメディアを固定するレバーです。

⑩ ローラー

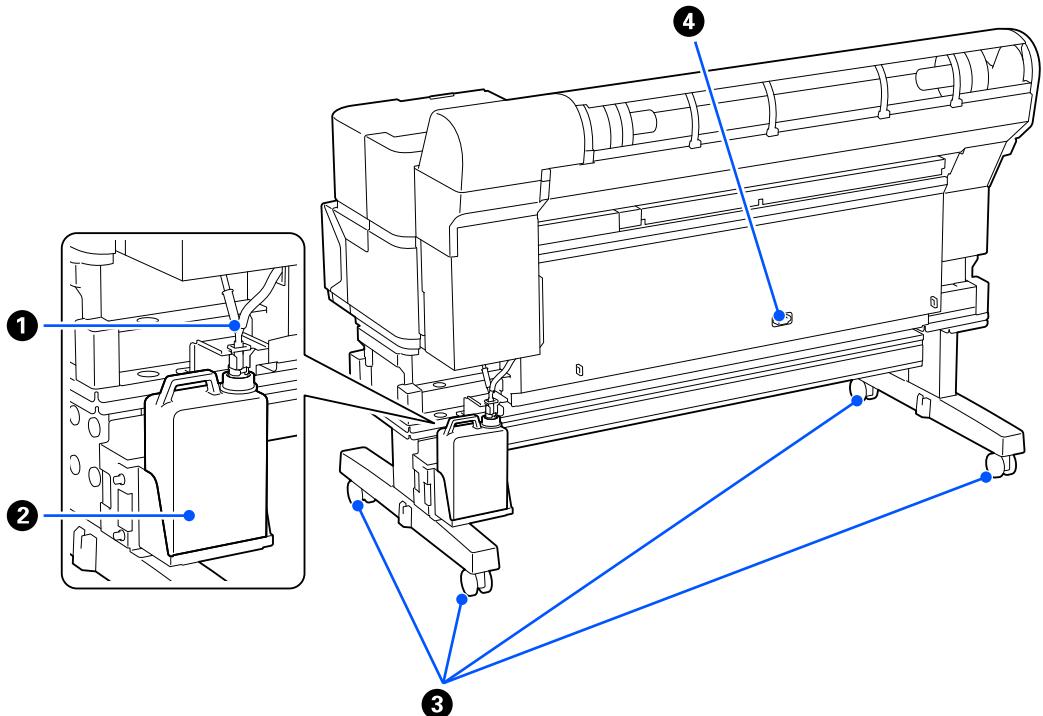
印刷時にメディアを上から押さえます。

⑩ プラテン

スムーズに印刷やメディア送りが行われるようにメディアを吸着して固定します。毎日清掃してください。

[☞ 「プラテンの清掃」 50 ページ](#)

背面



① 廃インクチューブ

このチューブから廃インクが排出されます。プリンターの使用中は、チューブに折り目や曲がりがないこと、チューブが廃インクボトルに入っていることを確認してください。

② 廃インクボトル

廃インクをためる容器です。

廃インクがボトルのラインの付近までたまつたら、新しい廃インクボトルと交換してください。

[☞ 「廃インク処理」 55 ページ](#)

③ キャスター

左右の脚部に、2つずつ付いています。本機を設置後は、キャスターを常にロックした状態でお使いください。

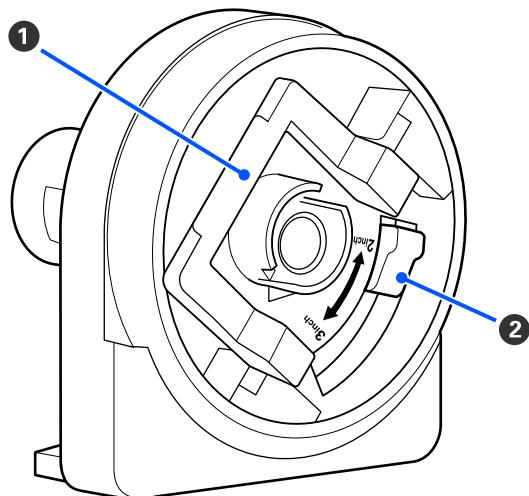
④ 電源コネクター

付属の電源コードを接続します。

アダプター

付属のアダプターは、メディアを本機にセットする際に使用します。

 [「メディアのセット」33 ページ](#)



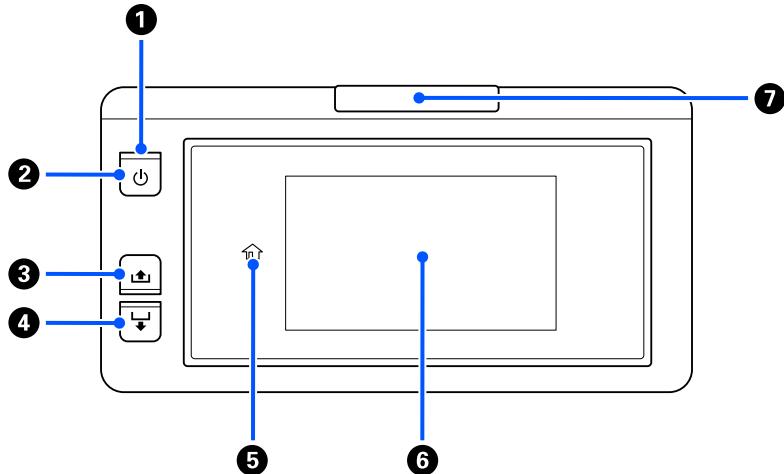
① アダプターロックレバー

レバーを起こすとロックが外れ、倒すとロックされます。メディアに取り付けるときはロックを外し、取り付けた後でロックします。

② サイズ切り替えレバー

取り付けるメディアの紙管サイズに応じて切り替えます。

操作パネル



① ランプ (電源ランプ)

本機の動作状態が点灯/点滅で示されます。

点灯：電源が入っています。

点滅：データ受信中または本機の電源を切る、プリントヘッドのクリーニングなどの処理中です。

消灯：電源が入っていません。

② 【○】ボタン (電源ボタン)

本機の電源を入れたり、切ったりします。

③ 【↑】ボタン (巻き戻しボタン)

ボタンを押すとメディアが巻き戻ります。

④ 【↓】ボタン (送りボタン)

ボタンを押すとメディアが送られます。

⑤ ▲ (ホーム)

メニュー操作時など (▲点灯時) にホーム画面に戻るときに押します。

本機の状態により ▲ (ホーム) が使えないときは、消灯します。

⑥ 画面

本機の状態やメニュー、エラーメッセージなどが表示されます。☞ 「ホーム画面」 14 ページ

⑦ アラートランプ

エラーが発生すると点灯/点滅します。

点灯/点滅：エラーが生じています。点灯か点滅かは、エラーの内容によって異なります。
エラーの内容は操作パネルの画面で確認できます。

消灯：問題ありません。

ホーム画面

ここでは、ホーム画面の見方を説明します。

本機のパネルはタッチパネルです。

下図の枠で囲ったエリアは表示エリアで押しても反応しません。それ以外のエリアは操作エリアで押すと画面が遷移したり値が変わったりします。画面上部の各機能ボタンは、本機の動作状態によっては機能を実行できないときがあります。機能を実行できないときは、アイコンの色がグレーに変わりボタンを押しても反応しません。

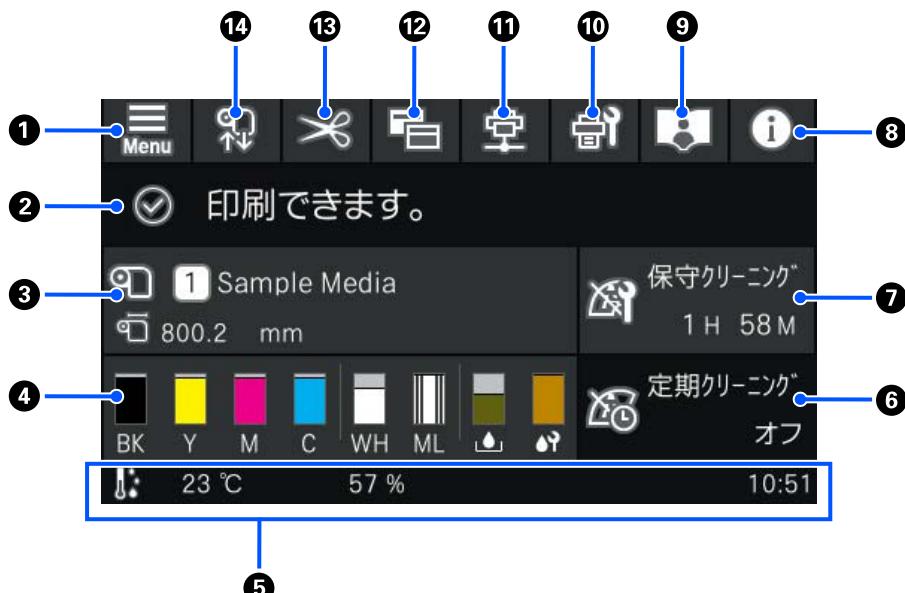
画面の色味が3種類から選択でき、メーカー設定値は左の色味の画面になっています。以降は左の色味の画面で説明します。



また、ホーム画面は以下の2つがあり、**[冒]**を押すたびに切り替わります。

- ホーム画面（状態表示）
本機の現在の状態を確認できます。
[「ホーム画面（状態表示）」14ページ](#)
- ホーム画面（印刷時調整）
主要な調整値を手早く変更できます。印刷中にも調整ができます。
[「ホーム画面（印刷時調整）」17ページ](#)

ホーム画面（状態表示）



① **[メニュ]** (メニュー)

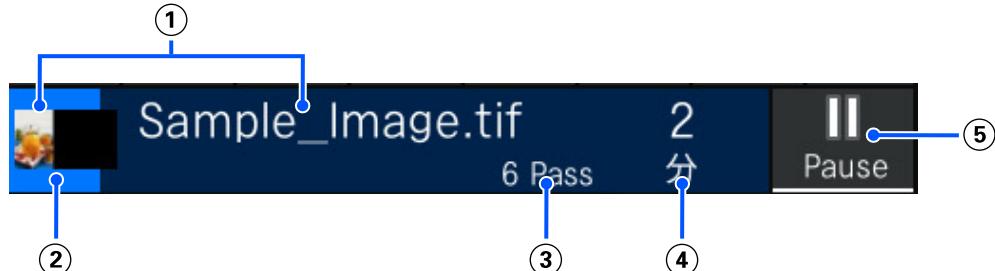
設定メニューが表示されます。

[「操作パネルのメニュー」62ページ](#)

② 状態表示エリア

本機の状態や警告の通知が表示されます。本エリアには最新の警告通知のみが表示されます。全ての警告通知を確認するときは  を押して確認できます。

印刷ジョブを受け付けると、表示内容が下図のように変わります。表示の見方は以下の通りです。



① 印刷中の画像のプレビューとファイル名を示しています。

② 印刷の進捗を示すプログレスバーです。

③ メディアの印刷済み長さ、メディアの印刷残り長さ、印刷長/時間、印刷面積/時間、メディア交換までの時間、パスモードのいずれかを示しています。

表示項目は  (メニュー) を押し、 [本体設定] - [基本設定] - [画面カスタマイズ] - [印刷中の表示情報] で変更できます。

④ 印刷完了までの推定時間です。

⑤ ポーズ(一時停止)ボタンです。

③ メディア情報

現在選択中の登録メディアの番号・名称と現在セットしているメディアの幅が表示されます。 [残量管理] を [オン] に設定しているときは、セットしているメディアの残量も表示されます。このエリアを押すと設定メニューの [メディア設定] が表示され、別の登録メディア番号に変更したり、選択している登録メディア番号の設定を変更したりできます。

④ 消耗品の状態

インクパック/クリーニングインクパック、廃インクボトル、ヘッドクリーニングセットの状態が次のように表示されます。本エリアを押すと、消耗品の残量の詳しい目安や消耗品の型番を確認できます。



インクパック/クリーニングインクパックの状態

インク/クリーニング液の残量の目安が表示されます。残量が少なくなるとバーが低くなります。バーの下のアルファベットはインク色の略号です。略号とインク色の対応は以下のとおりです。

BK	ブラック
Y	イエロー
M	マゼンタ
C	シアン
WH	ホワイト
CL	クリーニングインクパック
ML	メンテナンスリキッド

インクパックの状態に応じてアイコンが表示されます。アイコンの意味は以下のとおりです。



：インクが残り少ないため、新しいインクパックの準備が必要です。

 : インクのかくはん時期です。
☞ 「インクパックの定期かくはん」 52 ページ

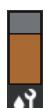
 : クリーニングインクパックが装着されています。



廃インクボトルの状態

廃インクボトルの空き容量の目安が表示されます。空き容量が少なくなるとバーが低くなります。

 アイコンが表示されたら新しい廃インクボトルの準備が必要です。



ヘッドクリーニングセットの状態

ワイヤーユニットの残量の目安が表示されます。ワイヤーユニットの残量が少なくなるとバーが低くなります。

 アイコンが表示されたら新しいヘッドクリーニングセットの準備が必要です。

⑤ 環境温度・湿度・時刻

現在の温度・湿度・時刻が表示されます。適切な環境条件下で使用しないと正しく印刷できないことがあります。

⑥ 定期クリーニング

定期クリーニングが実施されるように設定していると実施までの時間または印刷ページ数、印刷長が表示されます。また、本エリアを押すと定期クリーニングを事前に実施できる画面が表示されます。

(メーカー設定値は「オフ」です。)

⑦ 保守クリーニングの実施時期予告

保守クリーニングまでの残り時間（目安）が表示されます。

本エリアを押すと、画面に以下が表示されます。

- 保守クリーニングが実施されるまでの残り時間（目安）
- 予防クリーニングの実施メニュー

保守クリーニングの実施時期が迫っているときは、事前にクリーニングを実施すると作業が中断されず効率的です。

⑧ (プリンター状態)

警告通知があるときは、のように右肩にが付きます。このエリアを押して表示される画面で「メッセージ一覧」を押すと、警告通知の一覧画面が表示されます。一覧で各項目を押すと、対処方法や詳細情報を確認できます。警告に応じて対処したものは、一覧から消去されます。

⑨ (マニュアルへのリンク)

オンラインマニュアルに直接アクセス可能な QR コードが表示されます。

⑩ (プリンターのお手入れ)

画面にプリンターのお手入れメニューが表示され、プリントヘッドのメンテナンスや消耗品の交換などが行えます。

⑪ / (接続状態切り替え)

本機とコンピューターの接続状態がオンかオフを以下の通りアイコンで示します。

接続オン : 

接続オフ : 

このエリアを押すと、接続オン/接続オフを切り替えることができます。

例えば、プリントヘッド周辺の清掃を行った後でノズルチェックパターンを印刷したり、プリントヘッドのクリーニングをしたりと、いくつかのメンテナンス作業を続けて行いたいときは、各作業の合間にジョブが受け付けられるのを防ぐために、事前に接続オフにしてからメンテナンス作業を行うと効率よく作業を完了できます。

なお、本機の動作状態によっては切り替えられないときがあります。この場合はアイコンの色がグレーに変わって機能が無効なことを示します。

⑫ 展 (画面切り替え)

このエリアを押すたびに、ホーム画面（状態表示）とホーム画面（印刷時調整）が切り替わります。

⑬ > (カット)

メディアを内蔵カッターで手動カットするときに押します。

☞ 「手動カットの方法」35ページ

⑭ 印 (メディアのセット、取り外し)

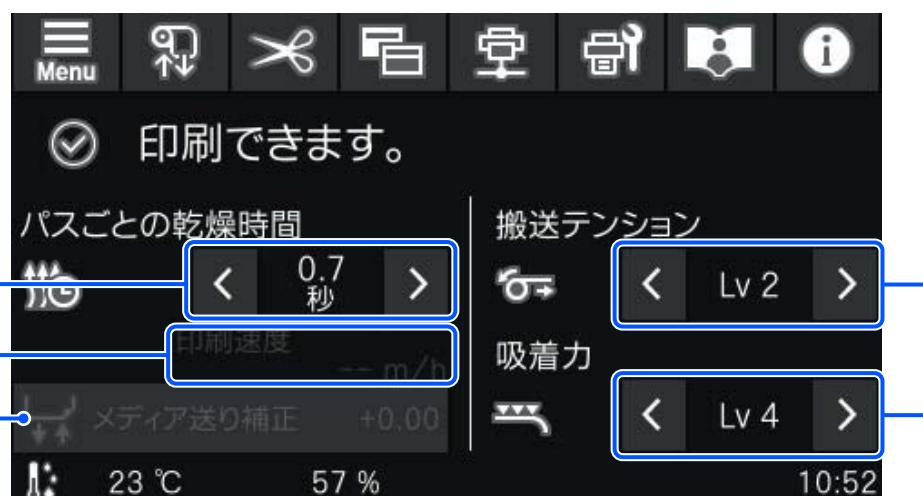
メディアをセットするときや取り外すときに押します。

☞ 「メディアのセット」33ページ

☞ 「メディアの取り外し方」36ページ

ホーム画面（印刷時調整）

以下では、ホーム画面（状態表示）と異なる部分のみを説明します。各調整は、印刷途中でも値を変更できます。調整した結果は現在選択しているメディア設定に登録されます。

**① パスごとの乾燥時間の調整**

現在選択している登録メディア番号の [パスごとの乾燥時間] の設定値が表示されます。

›/‹ を押すと値を変更できます。

② メディア送り速度

印刷を開始すると、1時間に何メートル印刷できるか表示されます。

③ メディア送り補正

印刷途中でバンディングを補正したいときは、このエリアを押してメディア送り補正を行います。

メディア送り量が少なすぎるとブラックバンディング（濃い色のスジ）が発生しますので、+方向に補正します。

逆にメディア送り量が多すぎるとホワイトバンディング（白または薄い色のスジ）が発生しますので-方向に補正します。値は送り量の何% +または-に補正しているかを表しています。

④ 吸着力の調整

プラテンがメディアを吸着する強度を設定します。設定値が大きいほど吸着力が強くなります。

通常は各メディアタイプで設定されている値のまま使用します。プラテン上でメディアが波打っているときには、設定値を大きくしてください。

薄いメディアや柔らかいメディアで、印刷結果に粒状感やピントのズレが見られたり、正しくメディアが搬送できないと感じたりするときには設定値を小さくしてください。

›/‹ を押すと値を変更できます。

⑤ 搬送テンションの調整

印刷中にメディアにしわが寄るときは、テンションを高めるように設定を変更してください。設定値を大きくするほどテンションが高くなります。

▶ / ◀ を押すと値を変更できます。

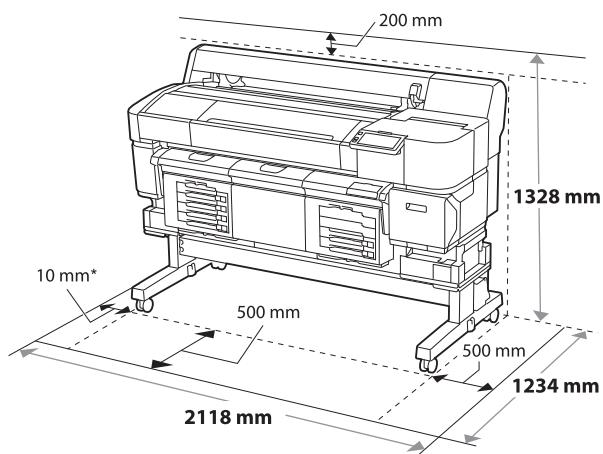
取り扱い上のご注意

設置スペース

メディアの排出や消耗品の交換を支障なく行うために、最小限、以下のスペースを確保して物などを置かないでください。

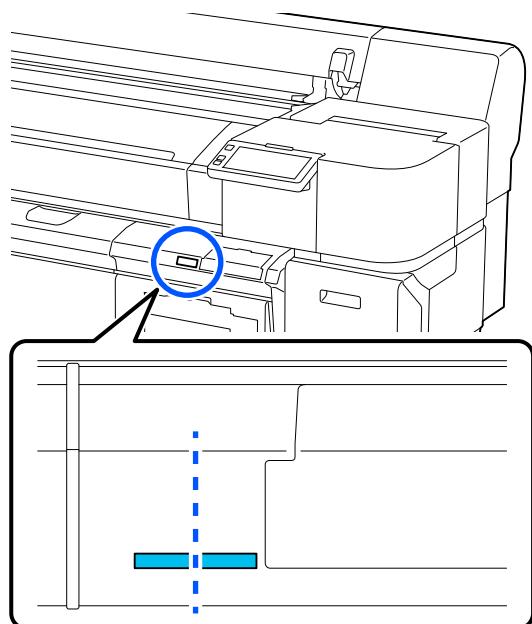
本機の外形寸法は、「仕様一覧」をご覧ください。

☞ 「仕様一覧」 103 ページ



* シェイカーとセットで使用する場合は、本体左側に印刷中のインクパック交換を想定した作業スペースを確保してください。

本機とシェイカーをセットで使用する場合は、メディアの端を目安に設置してください。下図のマークの中央（破線で示した箇所）がメディアの右端を示しています。



使用時のご注意

本機を使用する際は、故障や誤動作、印刷品質低下の原因となりますので、以下の点に注意してください。

- 「仕様一覧」に記載の温度・湿度範囲を守って使用してください。☞ 「仕様一覧」 103 ページ
ただし、上記の条件を満たしていても使用するメディアの環境条件を満たしていないと、正しく印刷できないことがあります。必ずメディアの環境条件も満たした場所で使用してください。詳しくは、メディアのマニュアルをご覧ください。
また、乾燥する地域やエアコンが稼動している環境、直射日光が当たる場所で使用するときは、乾燥に注意して条件範囲内の湿度を保つようにしてください。
- 作業スペースを清潔に保ってください。ホコリや塵がプリンターの内部に入ると、製品の故障やプリントヘッドのノズルの目詰まりやメディア搬送品質が低下する原因となります。
- 送風機やエアコンなどの風が直接当たる場所、熱源のある場所での使用は避けてください。プリントヘッドのノズルが乾燥し目詰まりが発生することがあります。
- エラーが起こったまま電源を切るとキャッピングされない（プリントヘッドが右側に位置しない）ことがあります。キャッピングとは、プリントヘッドの乾燥を防ぐために自動的にプリントヘッドにキャップ（ふた）をする機能です。この場合は、再度電源を入れてしばらくすると、自動的にキャッピングが行われます。
- 本機の電源が入っている状態で、電源プラグをコンセントから抜いたり、ブレーカーを落としたりしないでください。プリントヘッドがキャッピングされないことがあります。この場合は、再度電源を入れてしばらくすると、自動的にキャッピングが行われます。
- 廃インクチューブを曲げたり、引っ張ったりしないでください。インクが本機の内部や周辺に漏れることができます。
そのため、本機の電源が入っている状態では必ず廃インクボトルを装着してください。
- 安定した色合いで印刷したいときは、20~25 °Cの環境下で一定の室温に保ち、使用してください。
- 本機が動作中はインクパックを抜かないでください。故障の原因になります。
- 使用頻度や推奨時期に応じて清掃や消耗品交換などのメンテナンスが必要です。メンテナンスを怠ると印刷品質劣化の原因になります。
☞ 「メンテナンス」 44 ページ

- ・本機は電源を入れると、プリントヘッドを良好な状態に保つためメンテナンスをします。そのため頻繁に電源を切ったり入れたりすると、その都度メンテナンス動作によりインクを消費することがあります。インクの消費を抑えるためにも、本機は電源を入れたままでの使用をお勧めします。
- ・パウダーの塗布作業の際は、プリンターの周辺にパウダーが飛散しないようにしてください。プリンターの内部にパウダーが入ると製品の故障やプリントヘッドの目詰まりやメディアのこすれが発生する原因となります。
- ・パウダーが付着したメディアはプリンターの内部に巻き戻しをしないでください。プリンターの内部にパウダーを入れないようにしてください。
- ・本機とシェイカーをセットで使用する場合は、シェイカー内部のヒーターによる過加熱にご注意ください。印刷中に、何らかの理由でプリンターが停止した場合は、一時的にシェイカーのヒーターを OFF にする対応をお勧めします。

使用しないときのご注意

本機を使用しないときは、以下の点に注意して保管してください。保管状態が適切でないと、印刷再開時に正しく印刷できないことがあります。

ホワイトインクは本項目以外にも注意事項があります。
以下をご覧ください。

☞ 「ホワイトインク取り扱い上のご注意」 22 ページ

- ・本機を長期間使用しない（電源を切る）ときは、別売のクリーニングインクパックを使って、長期保管処理をしてください。そのまま放置するとヘッドの目詰まりが解消できなくなります。詳細は以下をご覧ください。

☞ 「長期間使用しないときの事前メンテナンス」 60 ページ

- ・長期保管処理をせずに長期間使用しないときは、7 日に 1 度は電源を入れてください。

印刷しない期間が長くなると、プリントヘッドのノズルが乾燥し目詰まりを起こすことがあります。電源を入れると起動後、自動で保守クリーニングが行われます。保守クリーニングを行うことで、プリントヘッドの目詰まりを防ぎ印刷品質を維持できます。保守クリーニングが終了するまで電源を切らないでください。

- ・本機を長期間使用しなかったときは、印刷を再開する前に必ずプリントヘッドの目詰まりの状態を確認してください。プリントヘッドに目詰まりが確認されたときは、プリントヘッドのクリーニングを行ってください。

☞ 「ノズルの目詰まりチェック」 58 ページ

- ・本機の電源が入っていないなくても、廃インクチューブ内にたまつたインクがこぼれることができます。廃インクボトルは、本機の電源が入っていないときも必ず設置してください。
- ・プリントヘッドがキャッピングされている（プリントヘッドが右側に位置している）ことを確認してから本機を保管してください。キャッピングされていない状態で長時間放置すると、印刷不良の原因となったり、ノズルの目詰まりが解消できなくなることがあります。キャッピングされていないときは、本機の電源を入れ、キャッピングされたことを確認したら再度切ってください。
- ・ホコリが入らないようカバーなどを全て閉めて保管してください。
また、長期間使用しないときは、静電気の発生しにくい布やシートなどを掛けておくことをお勧めします。
- ・メディアを本機にセットしたまま放置すると、表面にローラーの跡が付くことがあります。また、メディアが波打ったり、反ったりしてメディア送り不良やプリントヘッドのこすれの原因となります。保管時はメディアを取り外してください。

操作パネル使用時のご注意

⚠ 警告

操作パネルの液晶ディスプレイが破損したときは、中の液晶に十分注意してください。

万一以下の状態になったときは、応急処置をしてください。

- ・皮膚に付着したときは、付着物を拭き取り、水で流し石けんでよく洗い流してください。
- ・目に入ったときは、きれいな水で最低 15 分間洗い流した後、医師の診断を受けてください。
- ・口に入ったときは、速やかに医師に相談してください。

- ・パネルは指でタッチしてください。
- ・指以外で操作したとき、濡れた指や手袋をした手で操作したとき、パネル上に保護シートやシールが貼られた状態で操作したときは、動作しないことがあります。
- ・ボールペンやシャープペンシルなどの先のとがったもので操作しないでください。パネルを傷付けるおそれがあります。

- ・パネルが汚れたら柔らかい布でから拭きしてください。汚れがひどいときは、中性洗剤を薄めた溶液に柔らかい布を浸し、よく絞ってから汚れを拭き取り、その後乾いた柔らかい布で拭いてください。シンナー、ベンジン、アルコールなどの揮発性薬品は使わないでください。パネルの表面を傷めることができます。

- ・急激に温度、湿度が変化する環境で使用しないでください。パネル内部に結露が発生し、性能が劣化する原因になります。

- ・パネルを強く押さえ付けたり、強い衝撃を与えたましください。パネルが割れるおそれがあります。割れてしまったときは、破片に触れたりパネルを取り外そうとしたりせず、エプソンの修理窓口にご連絡ください。

☞ 「お問い合わせ先」 107 ページ

- ・画面の一部に点灯しない画素や常時点灯する画素が存在する場合があります。また液晶の特性上、明るさにムラが生じることがあります、故障ではありません。

インクパック/クリーニングインクパック取り扱い上のご注意

インクパック/クリーニングインクパックは、良好な印刷品質を保つために、以下の点に注意して取り扱ってください。

ホワイトインクは本項目以外にも注意事項があります。以下をご覧ください。

☞ 「ホワイトインク取り扱い上のご注意」 22 ページ

- ・購入直後のインク初回充填では、プリントヘッドノズルの先端部分までインクを満たして印刷できる状態にするため、その分インクを消費します。交換用のインクパックをお早めにご準備ください。

- ・インクパック/クリーニングインクパックは直射日光を避けて常温で保管してください。

- ・インクパックは良好な印刷品質を得るために、以下の期日のうち早い方の期日までに使い切ることをお勧めします。

- ・個装箱に印刷された推奨使用期限
- ・インクパックトレイに装着した日から 1 年

- ・インクパック/クリーニングインクパックを寒い所に長時間保管していたときは、4 時間以上室温で放置してからお使いください。

- ・インクパック/クリーニングインクパックの IC チップには触らないでください。正常な動作・印刷ができなくなるおそれがあります。

- ・全てのインクパックトレイにインクパックを装着して本機にセットしていないと印刷できません。

- ・インクパックを取り外した状態で本機を放置しないでください。本機内部のインクが乾燥し、正常に印刷できなくなるおそれがあります。本機を使用しないときも、インクパックを全てのインクパックトレイに装着したままにしてください。

- ・インクパック/クリーニングインクパックは、IC チップで残量などの情報を管理しているため、本機から取り外しても再装着して使用できます。

- ・使用途中で取り外したインクパックを保管するときは、事前に付属のメンテナンスキットの太いクリーニング棒でインク供給孔部に付着しているインクを吸着させてください。供給孔部のインクが乾燥すると、再装着して使用するときにインク漏れの原因となります。

詳細な清掃方法は、以下をご覧ください。

☞ 「事前メンテナンスの方法」 60 ページ

また、インク供給孔部にホコリが付かないように保管してください。インク供給孔内には弁があるため、蓋や栓をする必要はありません。

- ・取り外したインクパックはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。

- ・本製品はプリントヘッドの品質を維持するため、インクが完全になくなる前に動作を停止するように設計されており、使用済みインクパック内にインクが残ります。

- ・インクパック/クリーニングインクパックに再生部品を使用している場合がありますが、製品の機能および性能には影響ありません。

- ・インクパック/クリーニングインクパックを分解または改造しないでください。正常に印刷できなくなるおそれがあります。

- ・インクパック/クリーニングインクパックを落とすなど、強い衝撃を与えないでください。インクパック/クリーニングインクパックから液が漏れることができます。

- ・本機に装着したインクパック（ホワイトを除く）は 3 週間に 1 度、取り出してよく振ってください。

ホワイトインクは、毎日の印刷業務開始前に取り出してよく振ってください。

クリーニングインクパックとメンテナンスリキッドは、振る必要はありません。

振り方 ☞ 「インクパックの定期かくはん」 52 ページ

ホワイトインク取り扱い上のご注意

ホワイトインクはインクの特性上、沈降（成分が液の底に沈んでたまること）しやすくなっています。沈降したまま使用すると印刷品質が低下したり、本機に不具合が生じたりすることがあります。良好にお使いいただくために、以下の点に注意して取り扱ってください。

- ・装着したインクパックは、始業時および 24 時間（メッセージ表示時）に一度、取り出してよく振ってください。
☞ [「インクパックの定期かくはん」52 ページ](#)
- ・インクチューブ内のインク成分の沈降により印刷品質が低下することがあります。白さが足りなかつたり、白がムラになる印刷結果になるときは、以下をご覧ください。
☞ [「白さが足りない/白がムラになる」93 ページ](#)
- ・インクパック保管時は、平置き（平らに寝かせた状態）にしてください。縦長方向に立てた状態で保管すると、ご使用前にかくはんをしても成分の沈降を解消できないことがあります。
- ・2 週間以上使用しないときは別売のクリーニングインクパックを使って、事前メンテナンスを実施してください。メンテナンスをしないまま放置するとヘッドの目詰まりが解消できなくなります。
☞ [「長期間使用しないときの事前メンテナンス」60 ページ](#)

メディア取り扱い上のご注意

メディアの取り扱いや保管の際は、以下の点にご注意ください。メディアの状態が悪いと、良好な印刷結果が得られません。

必ず各メディアのマニュアルも併せてご覧ください。

取り扱い上のご注意

- ・メディアを折り曲げたり、印刷面を傷付けたりしないように注意してください。
- ・メディアの印刷面には触れないでください。手の皮脂や水分が印刷品質に影響します。
- ・メディアの端を持って取り扱ってください。また綿製の手袋を着用することをお勧めします。
- ・メディアを濡らさないでください。
- ・個装箱や個装袋は、メディアの保管時に使用しますので、捨てないでください。
- ・高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。

- ・使用しないメディアは、本機から取り外し、巻き直してから梱包されていた個装袋に包んで個装箱に入れて保管してください。長期間セットしたまま放置すると、メディア品質が低下するおそれがあります。

印刷後メディア取り扱い上のご注意

印刷後は、良好な印刷結果を保持するために以下の点に注意して適切に取り扱ってください。

- ・印刷物の表面は触らないでください。印刷面に触るとインクが触れたものに移ります。
- ・印刷後のメディアは、重ねたり折り曲げたりせずに後処理を進めてください。
- ・印刷後はインクが乾燥する前に後処理を進めてください。

提供ソフトウェアの紹介

提供ソフトウェアは以下の通りです。ソフトウェアによって以下のように提供方法が異なります。

各ソフトウェアは特別な記載がない限り Windows と Mac OS に対応しています。

参考

プリンタードライバーは提供していません。印刷を行うにはソフトウェア RIP が必要です。本機には、Windows 用にエプソン製ソフトウェア RIP 「Epson Edge Print PRO」が付属しています。

製品付属の光ディスクで提供しているソフトウェア（Windows のみ）

Epson Edge Print PRO

Epson Edge Print PRO は、わかりやすい操作で容易に使えるソフトウェア RIP です。

Epson Edge Print PRO は、基本ソフトウェアをインストールしたコンピューターにインストールしてください。インストールは、Epson Edge Print PRO のパッケージ内のシートに明示された URL にアクセスして行ってください。

Epson Edge Print PRO をインストールすると、以下の 2 つのアプリケーションも同時にインストールされます。

- Epson 通信ドライバー：Epson Edge Print PRO と本機を接続する際に必要です。
- Epson Edge Dashboard：エプソンが提供するメディア種類ごとの印刷設定ファイル (EMX ファイル) を取り込むなど、Epson Edge Print PRO の機能を補完します。

Epson Edge Print PRO の詳細は以下をご覧ください。

 [「Epson Edge Print PRO の使い方（Windows のみ）」25 ページ](#)

epson.sn で提供しているソフトウェア（Windows のみ）

基本ソフトウェアは epson.sn (ウェブサイト) で提供しています。 <https://epson.sn> からインストールしてください。

提供ソフトウェアは下表の通りです。

各ソフトウェアの詳細は、各ソフトウェアのオンラインヘルプを参照してください。

インターネットからソフトウェアをダウンロードしてインストールします。コンピューターをインターネットに接続してインストールしてください。

ソフトウェア名称	概要
EPSON Software Updater	インターネット上に新しいソフトウェアや更新情報があるか確認してインストールするソフトウェアです。本機のマニュアルをアップデートできます。
Epson 通信ドライバー	Epson Edge Dashboard、Epson Edge Print PRO 使用時または、市販 RIP を使用してコンピューターと本機を接続するときは、Epson 通信ドライバーが必要です。必ずインストールしてください。
EpsonNet Config SE	コンピューターから本機のネットワークに関する各種設定を行うソフトウェアです。キーボードを使ってアドレスや名称を入力できるので便利です。インストールを行うとマニュアルも一緒にインストールされます。
Epson Edge Dashboard	インストール後は常駐ソフトとして働きます。エプソンプリンターに対して以下の管理が行えます。 <ul style="list-style-type: none"> • プリンターフームウェアの更新情報の通知とアップデートが行えます。 • epson.sn からインストールしたソフトウェアとマニュアルの更新情報が届きます（更新情報が届いたら EPSON Software Updater を起動して、簡単にアップデートが行えます）。 • 市販のソフトウェア RIP をお使いのときに、登録プリンターのステータスを通知します。 • Epson Edge Dashboard をインストールしたコンピューターとネットワークや USB 接続しているプリンターの状態を監視します。  「Epson Edge Dashboard の使い方」25 ページ

その他の提供ソフトウェア

基本ソフトウェアの他に以下のようなソフトウェアを提供しています。

ソフトウェア名称	概要
Epson Edge Dashboard	<p>インストール後は常駐ソフトとして働きます。以下の機能があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プリンターフームウェアの更新情報の通知とアップデートが行えます。 ・市販のソフトウェア RIP をお使いのときに、登録プリンターのステータスを通知します。 ・Epson Edge Dashboard をインストールしたコンピューターとネットワークや USB 接続しているプリンターの状態を監視します。 <p>☞ 「Epson Edge Dashboard の使い方」25 ページ</p> <p>このソフトウェアはエプソンのウェブサイトからダウンロードしてください。Windows の場合は epson.sn からもダウンロードできます。 https://www.epson.jp</p>
Web Config	<p>本機にあらかじめ内蔵されているソフトウェアです。ネットワーク経由で Web ブラウザーから起動して使用します。</p> <p>ネットワーク管理者向けのソフトウェアです。</p> <p>ネットワークセキュリティーの設定は Web Config から行います。本機のエラーなどをお知らせするメール通知機能もあります。</p> <p>☞ 「Web Config の使い方」27 ページ</p>

参考

上記の他にエプソンのウェブサイトで、本機対応の便利なソフトウェアを紹介しています。以下からご確認ください。
<https://www.epson.jp>

Epson Edge Print PRO の使い方 (Windowsのみ)

起動方法

以下のどちらかの方法で起動します。

- デスクトップに作成されたショートカットアイコンをダブルクリックする。
- Windows のスタートボタン - [すべてのプログラム] - [Epson Software] - [Epson Edge Print] の順にクリックする。

使い方の詳細は、Epson Edge Print PRO のヘルプをご覧ください。

EMX ファイルの取得と登録

お使いのメディアに適切に印刷するためには、使用メディアに適したメディア設定値とプリント情報を本機と Epson Edge Print PRO に登録する必要があります。

エプソンが提供する印刷設定ファイル（EMX ファイル）を使えば、使用的市販メディアに最適な印刷品質を簡単に実現できます（提供するファイルはお住まいの国や地域により異なります）。

EMX ファイルの詳細は以下をご覧ください。

[「本機にメディア設定値を登録」32 ページ](#)

Epson Edge Print PRO では、以下の作業をウィザード形式で簡単に行えます。

- EMX ファイルのダウンロード
- プリント情報を Epson Edge Print PRO に自動で登録
- メディア設定値を本機の指定した登録メディア番号に登録

EMX ファイルを取得・登録する方法の詳細は、Epson Edge Print PRO のヘルプをご覧ください。

終了方法

画面左上の [ファイル] から [終了] を選択します。

Epson Edge Dashboard の使い方

起動方法

Epson Edge Dashboard は Web アプリケーションです。

- 1 次のどちらかの方法で起動します。

Windows

- デスクトップのタスクバーにある [Epson Edge Dashboard] アイコンをクリックして [Epson Edge Dashboard を開く] を選択します。



- [スタート] - [すべてのアプリ (プログラム)] (または [プログラム]) - [Epson Software] - [Epson Edge Dashboard] の順にクリックします。

Mac OS

- デスクトップのメニューバーにある [Epson Edge Dashboard] アイコンをクリックし、[Epson Edge Dashboard を開く] を選択します。



- [アプリケーション] - [Epson Software] - [Epson Edge Dashboard] - [Epson Edge Dashboard] アイコンの順にダブルクリックします。

- 2 Epson Edge Dashboard が起動します。

使い方の詳細は、Epson Edge Dashboard のヘルプをご覧ください。

本機の登録

Epson Edge Dashboard は登録したプリンターに対して監視・管理やメディア設定のコピーができます。Windows では、本機が自動登録されるので、Epson Edge Dashboard を起動後すぐに監視・管理を行えます。自動登録されないときは、以下の条件で本機を使用しているか確認してください。

- ・本機に付属の通信ドライバーがコンピューターにインストールされている
- ・コンピューターと本機が接続されている
- ・本機が使用できる状態になっている

Mac OS は自動登録されません。Epson Edge Dashboard を初めて起動したときはプリンターの登録画面が表示されるので手動で登録してください。詳細は、Epson Edge Dashboard のヘルプをご覧ください。

EMX ファイルのダウンロード

お使いのメディアに適切に印刷するためには、使用メディアに適したメディア設定値とプリント情報を本機と市販のソフトウェア RIP に登録する必要があります。エプソンが提供する印刷設定ファイル（EMX ファイル）を使えば、使用する市販メディアに最適な印刷品質を簡単に実現できます。（提供するファイルはお住まいの国や地域により異なります）

EMX ファイルの詳細は以下をご覧ください。

☞ 「本機にメディア設定値を登録」32 ページ

EMX ファイルをダウンロードした後は以下の作業が必要です。

- ・メディア設定値を本機にコピーする。
詳細は Epson Edge Dashboard のヘルプをご覧ください。
- ・市販のソフトウェア RIP にプリント情報（印刷設定）をインポートする。
詳細は、お使いのソフトウェア RIP のマニュアルをご覧ください。

終了方法

Web ブラウザーを終了します。ただし、Epson Edge Dashboard は常駐アプリケーションですので動作は終了しません。

EPSON Software Updater の使い方 (Windows)

更新されたか確認してアップデート

1 以下の状態になっていることを確認します。

- ・コンピューターがインターネットに接続されている。
- ・本機とコンピューターが通信できている。

2 EPSON Software Updater を起動します。

Windows 8.1/Windows 8

検索チャームでソフトウェア名を入力して表示されたアイコンを選択します。

Windows 8.1/Windows 8 以外

スタートボタンをクリックして、[すべてのプログラム]（または [プログラム]）- [Epson Software] - [EPSON Software Updater] の順に選択します。

参考

デスクトップのタスクバーにあるプリンターアイコンをクリックして、[ソフトウェアアップデート] を選択しても起動できます。

- 3 お使いのプリンターを選択し、 をクリックして最新のソフトウェアの有無を調べます。



- 4 アップデートするソフトウェアを選んで、インストールボタンをクリックするとインストールが開始されます。



画面の指示に従って操作してください。

!重要

更新中は、コンピューターや本機の電源を切らないでください。

アップデートの通知を受け取る

- 1 EPSON Software Updater を起動します。

- 2 [確認の間隔設定] をクリックします。

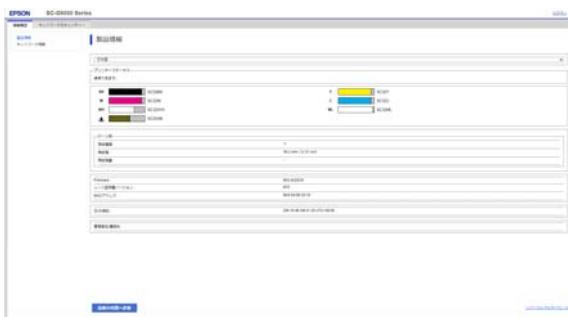
- 3 本機の [間隔] の欄で更新の確認を行う間隔を選択して [OK] をクリックします。

Web Config の使い方

起動方法や機能の概要を説明します。

機能概要

Web Config の主な機能を紹介します。



一般ユーザーができること

以下の情報は、本機の IP アドレスを入力するだけで誰でも確認できます。

- ・インク残量などの本機の状態
- ・ネットワーク設定の内容（設定変更はできません）
- ・本機のファームウェアのバージョンを確認できます。

管理者が実行できること

管理者としてログオンすると、本機のネットワーク設定や、本機単体ではできない SSL/TLS 通信、IPsec/IP フィルタリング、IEEE802.1X などの高度なセキュリティ設定ができます。

起動方法

本機と同一のネットワークに接続しているコンピューターのブラウザーで起動します。

- 1 **≡** を押し、 [本体設定] - [ネットワーク設定] - [詳細設定] - [TCP/IP] の順に押して本機の IP アドレスを確認します。

参考

IP アドレスはネットワーク接続診断レポートを印刷することでも確認できます。レポートは、ホーム画面から以下の順に押して印刷します。
≡ - [本体設定] - [ネットワーク設定] - [ネットワーク情報] - [ステータスシート印刷]

- 2 本機とネットワークで接続されているコンピューターで Web ブラウザーを起動します。

- 3 Web ブラウザーのアドレスバーに本機の IP アドレスを入力して、 [Enter] または [Return] キーを押します。

書式：

IPv4 : http://本機の IP アドレス/

IPv6 : http://[本機の IP アドレス]/

例：

IPv4 : http://192.168.100.201/

IPv6 : http://[2001:db8::1000:1]/

管理者としてログオンするときは、次手順に進んでください。

- 4 画面右上のログオンをクリックし、ユーザー名と現在のパスワードを入力して確認をクリックします。

初めてログオンするときは、 [ユーザー名] は空欄のまま、 [管理者パスワード] に初期パスワードを入力して [OK] をクリックしてください。

☞ 「[初期パスワードの確認方法](#)」 29 ページ

終了方法

Web ブラウザーを終了します。

ソフトウェアの削除

！重要

- ・「コンピューターの管理者」アカウント（管理者権限のあるユーザー）でログオンしてください。
- ・管理者のパスワードまたは確認を求められたときは、パスワードを入力して操作を続行してください。
- ・他のアプリケーションソフトを起動しているときは終了してください。
- ・Epson 通信ドライバーを削除後に再インストールするときは、コンピューターを再起動してください。

Windows

ここでは、Epson 通信ドライバーを例に削除方法を説明します。本機の電源を切ってコンピューターと接続しているケーブルを外した状態で作業することをお勧めします。

Windows 11

- 1 スタートボタン - [設定] の順にクリックします。

[設定] 画面が表示されます。

- 2 画面左側のメニューから [アプリ] をクリックします。

- 3 [アプリと機能]（または [インストールされているアプリ]）をクリックします。

- 4 一覧から [SC-G6000 Series Comm Driver] のメニュー ボタンをクリックして、メニューから [アンインストール] を選択します。

この後は、画面の指示に従ってください。

確認のメッセージが表示されたら、 [はい] をクリックします。

Windows 11 以外

- 1 コントロールパネルを表示して、[プログラムのアンインストール] をクリックします。
- 2 一覧から [SC-G6000 Series Comm Driver] を選択して、[アンインストール] をクリックします。

この後は、画面の指示に従ってください。
確認のメッセージが表示されたら、[はい] をクリックします。

Mac OS

Epson Edge Dashboard の削除方法を説明します。

- 1 [Epson Edge Dashboard] を終了します。
- 2 [アプリケーション] - [Epson Software] - [Epson Edge Dashboard] - [Epson Edge Dashboard アンインストーラー] をダブルクリックします。

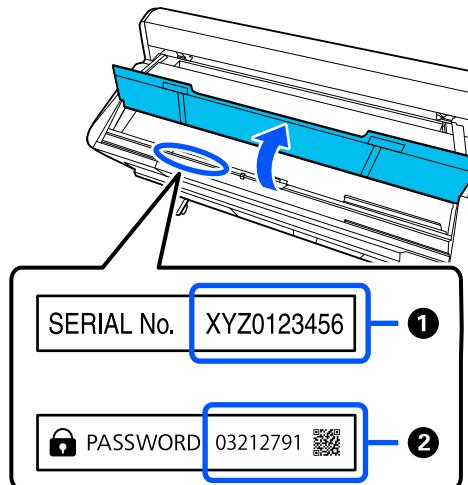
以降は画面の指示に従ってください。

管理者パスワードに関するご注意

本機は工場出荷時に機体ごとに異なる初期パスワードが設定されています。使用開始後は初期パスワードのまま使用し続けず、任意のパスワードに変更することをお勧めします。

初期パスワードの確認方法

管理者用パスワードの初期値は、本機のプリンターカバー内部の左端に貼られているラベルに記載されています。



- ラベルが 1 枚だけのとき：① のラベルに記載されている SERIAL No. の値が初期値です。（図の例の場合、初期値は「XYZ0123456」です。）
- ラベルが 2 枚あるとき：② のラベルに記載されている PASSWORD の値が初期値です。（図の例の場合、初期値は「03212791」です。）

パスワードの変更方法

- 1 Web Config で [本体セキュリティ] タブ - [管理者パスワード変更] を選択します。
- 2 [現在のパスワード] に現在のパスワードを入力します。
- 3 [新しいパスワード] と [新しいパスワードの確認] に新しいパスワードを入力します。必要に応じてユーザー名を入力します。

4 [設定] を選択します。

!重要

パスワードを忘れたときは、エプソンソリューション
コールセンターにご相談ください。

☞ [「お問い合わせ先」107 ページ](#)

基本の操作

適切に印刷するための作業の流れ

以下の流れに従って作業していただくと、お使いのメディアに適切に印刷できます。

1. 本機にメディア設定値を登録

お使いのメディアに最適な印刷をするためには、使用するメディアに適したメディア設定値とプリント情報をプリンターと RIP に登録する必要があります。本機では、以下の方法でメディア設定値を簡単に登録できます。

 [「本機にメディア設定値を登録」32 ページ](#)

6. 後処理

印刷済みのメディアに以下の順で後処理を行うと印刷物が完成します。

①パウダーの塗布・加熱

以下の 2 種類の方法があります。

- ・シェイカーを使用する（シェイカーにメディアを通してパウダーの塗布・加熱をする）

- ・メディアをトレイなどに入れてパウダーを塗布し、オーブンで加熱する

②ヒートプレスでメディアから転写先に画像を熱転写し、メディアをはがす。

③転写先にシリコンペーパーを敷き、ヒートプレスでインクを定着させる。



2. メディアのセット

 [「メディアのセット」33 ページ](#)



3. セットしたメディアの設定

 [「セットしたメディアの設定」33 ページ](#)



4. メディア設定値の最適化（新規メディア使用時）

 [「メディア設定の最適化（プリントヘッドの位置調整・メディア送り調整）」37 ページ](#)



5. 印刷する

 [「印刷する」34 ページ](#)



本機にメディア設定値を登録

メディア設定値の登録は以下のいずれかの方法で行います。

本機にあらかじめ登録されている汎用メディア設定値を使用する

本機は2種類のメディアタイプがあらかじめ用意されています。メディアタイプを選択すると汎用メディア設定値で印刷されます。

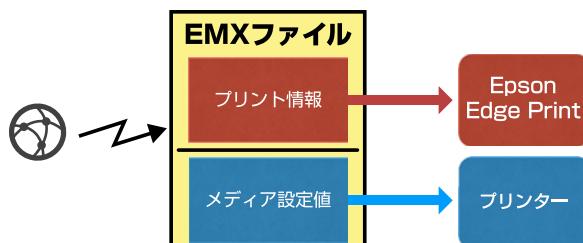
メディアのセット後の【メディア設定】でセットしたメディアに応じたメディアタイプを選択してください。

☞「[セットしたメディアの設定](#)」33ページ

EMX ファイルをダウンロードして設定値を登録する

エプソンが提供する EMX ファイルは、市販メディアに適切に印刷するのに必要な以下の情報を1つにまとめたメディア別の印刷設定ファイルです（提供するファイルはお住まいの国や地域により異なります）。

- ・プリント情報: RIP で読み込んで使う ICC プロファイルやレベル、解像度などの設定情報
- ・メディア設定値: お使いのメディアに適した吸着力、搬送テンションなど本機の登録メディア管理に登録する設定値



本機に付属のソフトウェア RIP Epson Edge Print PRO をお使いのときは、Epson Edge Print PRO から EMX ファイルをダウンロードします。

☞「[Epson Edge Print PRO の使い方 \(Windowsのみ\)](#)」25ページ

市販のソフトウェア RIP をお使いのときは Epson Edge Dashboard で EMX ファイルをダウンロードします。

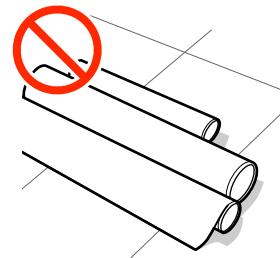
☞「[Epson Edge Dashboard の使い方](#)」25ページ

メディア取り扱い時のご注意

以下の点を守らずにメディアを取り扱うと、メディア表面に小さなゴミや毛羽ゴミが付き、ノズルの目詰まりや印刷結果にインクのボタ落ちが生じる原因となります。

むき出しのままで直接メディアを床に置かない。

メディアは、巻き直してから梱包されていた個装袋に包んで個装箱に入れて保管してください。



衣類にメディア表面を付けた状態で持ち運ばない。

本機にセットする直前まで、個装袋等に入れて取り扱ってください。



メディアセット時のご注意

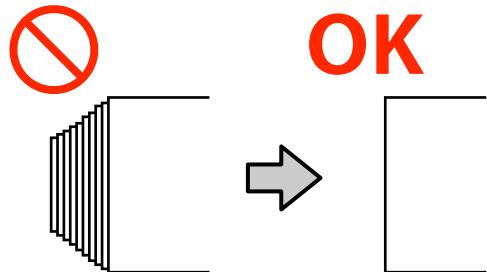
注意

メディアの端を手でこすらないでください。メディアの側面は薄く鋭利なため、けがをするおそれがあります。

メディアは印刷直前にセットする。

メディアを本機にセットしたまま放置すると、表面にローラーの跡が付くことがあります。また、メディアが波打ったり、反ったりしてメディア送り不良やプリントヘッドのこすれの原因となります。

左右端が不ぞろいなメディアはセットしない。
ロールの左右の端が不ぞろいなメディアをセットすると、メディア送り不良が生じ印刷中にメディアが蛇行する原因となります。端がそろうように巻き直してから使用するか、問題のないロールを使用してください。



使用できないメディア

折れ、しわ、毛羽立ち、破れ、汚れなどのあるメディアは使用しないでください。印刷時にメディアの盛り上がりなどがプリントヘッドに接触して、プリントヘッドが破損することがあります。

下図のようにロールの端に折れ、しわ、破れがあるときも使用しないでください。



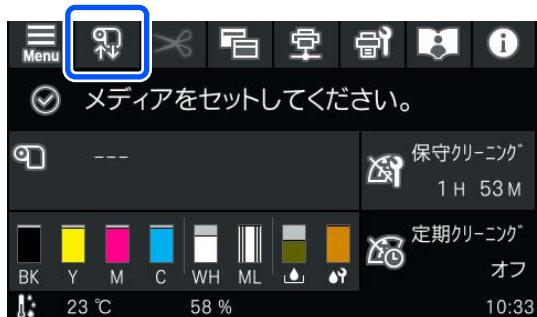
メディアのセット

以降の通り、パネルの画面で作業手順を見ながらメディアをセットできます。

YouTube の動画でもご覧いただけます。

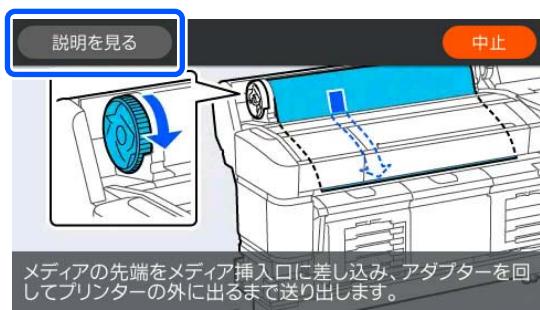
[動画マニュアル](#)

1 画面に【メディアをセットしてください。】と表示されていることを確認し、 を押します。



2 画面で【開始】 - 【説明を見る】の順に押すとセット手順を確認できます。

以降、画面の手順に従って作業してください。



セットしたメディアの設定

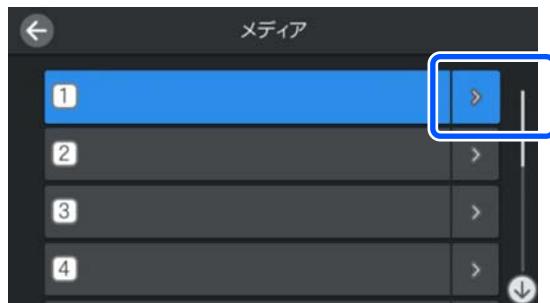
セットしたメディアに対する設定を行います。

- 1 [メディア] を押してセットしたメディアに対応する登録メディア番号を選択します。



セットしたメディア用にメディア設定を登録していないとき

登録メディア番号が表示された画面の [編集] - [メディアタイプ] の順に押します。セットしたメディアにあった [メディアタイプ] を選択してください。



セットしたメディア用にメディア設定を登録している/EMX ファイルをダウロード済みのとき

登録したメディア番号を選択します。

- 2 必要に応じて給紙時に実施する動作を設定します。



各動作の詳細は、以下の通りです。

先端カット	セットしたメディアの先端が水平になつてないときやきれいにカットされてないときは [オン] にします。給紙開始時にメディア先端がカットされます。
-------	---

先端送り

セットしたメディアの先端にメディア残量値が印刷されているときは [オン] にします。給紙開始時のメディア先端位置まで印刷部分が送り出されます。

参考

[残量管理] と [メディア検出] は、必要に応じて印刷可能な状態になった以降に設定します。

残量管理

画面の [メニュー] を押し、 [メディア設定] - [残量管理] の順に押して設定します。

☞ [「メディア設定メニュー」 76 ページ](#)

メディア検出

画面の [メニュー] を押し、 [本体設定] - [プリンター設定] - [メディア検出] の順に押して設定します。

☞ [「本体設定メニュー」 68 ページ](#)

- 3 設定が完了したら [OK] を押します。

給紙が始まります。

参考

[メディアタイプ] が登録されていない状態で、 [OK] を押したときは、 [メディアタイプ] を選択する画面が表示されます。

印刷する

画面に [印刷できます。] と表示されたら、印刷を開始できます。



参考

本機とシェイカーの間にメディアをたるませるタイプのシェイカーをお使いの場合に、印刷中にインクパックの交換が必要になったときは、以下をご覧になり、インクパックの交換をしてください。

☞ [「印刷中にインクパックの交換が必要になったとき（シェイカー使用時のみ）」 54 ページ](#)

メディアのカット

本機は内蔵カッターを装着しています。カット方法は以下の2種類があります。

自動カット

1ページ印刷するごとに内蔵カッターで自動的にカットします。

メーカー設定値は【オフ】に設定されています。また、【ページごとカットを待つ】を【オン】にすると、自動でジョブ間に印刷を一時停止してカットが完了するまで待たせることができます。連続したジョブで印刷する場合に、ジョブの切れ目ごとにカットしたいときに便利です。

自動カットの設定方法 ↗「自動カットの設定方法」35ページ

手動カット

操作パネルでカット位置を指定してカットします。

カット画面でカットの待ち時間を2~15秒に設定できます。メディアを落とさないように手で支えるまでの時間を余裕を持った時間に設定できるため便利です。

↗「手動カットの方法」35ページ

自動カットの設定方法

操作パネルで【メニュー】(メニュー)を押して、【本体設定】-【プリンター設定】-【カット設定】-【自動カット】を【オン】にします。

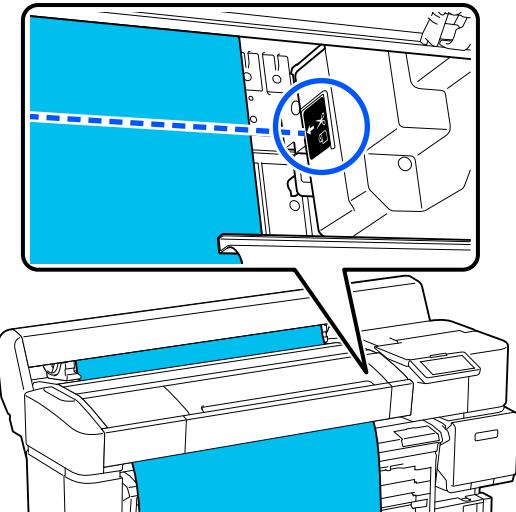
手動カットの方法

【自動カット】を【オフ】にしているときは、印刷後やメディア交換時に、次の手順でカットします。

1 操作パネルの画面で、を押します。

カット画面が表示されます。

カットを実行すると図の点線の位置でカットされます。カット位置を調整したいときは、プリンターのカバーを開めた状態で内部を見ながら【↑】/【↓】ボタンを押して、メディアのカットする位置を内部の右側にある◀マークに合わせます。



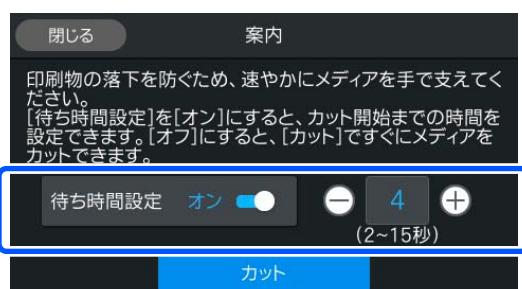
参考

内蔵カッターでカットされる最短のメディアの長さは100mmに設定されており、変更できません。カットしようとする位置が上記の最短カット長より短いときは、カットできる長さまで自動でメディアを送ってからカットするため余白ができます。余白部分は、市販のカッターなどを使ってカットしてください。

2 カット画面で【待ち時間設定】の【オン】/【オフ】を選択します。

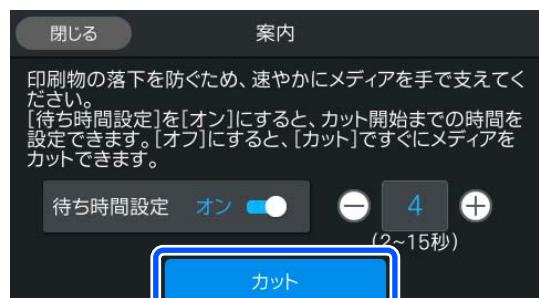
印刷後にカットするときは、【待ち時間設定】を【オン】にすることをお勧めします。【オン】にすると、メディアの落下を防ぐために手で支えるまでの時間(カット開始までの時間)を2~15秒で設定できます。

また、【待ち時間設定】のメーカー設定値は【オン】に設定されています。待ち時間のメーカー設定値は4秒です。



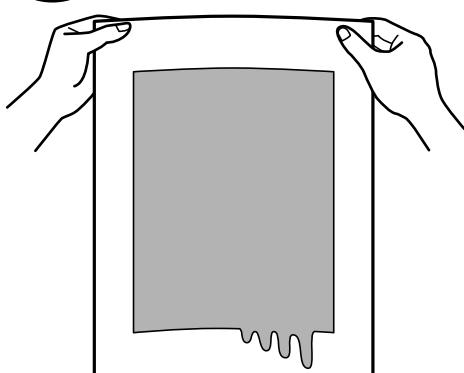
- 3 メディアが床に落ちないように手で持ち、[カット]を押します。

メディアがカットされます。



!重要

印刷後のメディアを傾けたり垂直に持ち上げたりするとインクが垂れるおそれがあります。



メディアの取り外し方

メディアが終了したときに新しいメディアと交換するときとメディアが残っている状態で、別のメディアと交換するときのメディアの取り外しの手順を説明します。

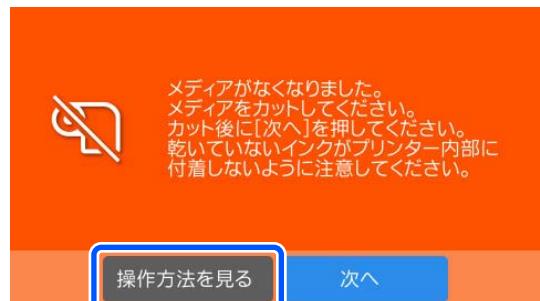
状況に応じて以下をご覧ください。

- ☞ 「メディア終了時の取り外し方」 36 ページ
- ☞ 「使用中のメディアの取り外し方」 36 ページ

メディア終了時の取り外し方

印刷の途中でメディアが終了すると、操作パネルの画面にメディアなしエラーが表示されます。

画面内の [操作方法を見る] を押すと、メディアの切り取り方が表示されます。画面の手順に従って作業してください。



操作方法を見る

次へ

切り取った後のメディアは、[次へ]を押した後、乾燥していない印刷済み部分が本機内部に入らないように、下方向にメディアを引き抜きます。

使用中のメディアの取り外し方

メディアを交換するときなど、メディアを本機から取り外して保管する手順を説明します。メディアをセットしたまま放置すると、表面にローラーの跡が付くことがあります。

メディアをカットしていないときは、乾燥していない印刷済み部分が本機内部に付着しないようにカットしてから、本機からメディアを取り外します。

- ☞ 「メディアのカット」 35 ページ

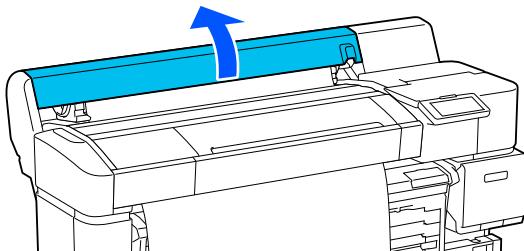
!重要

乾燥していない印刷済みメディアは本機内部に入れないようにしてください。内部が汚れて、次の印刷でメディアにインクが付着します。

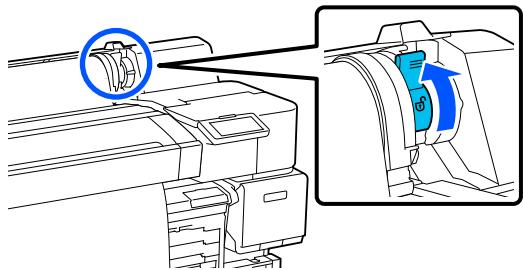
- 1 印刷可能であることを確認し、操作パネルの画面の [?] - [開始] - [次へ] の順に押します。

メディアを取り除くことを促すメッセージが表示されます。

- 2 メディアカバーを開けます。

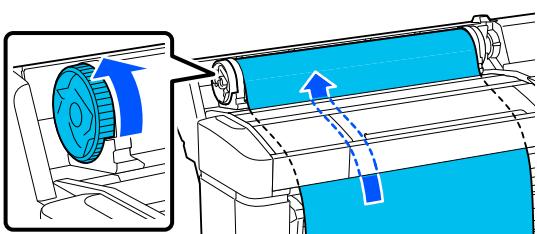


- 3 ロールロックレバーを上げます。

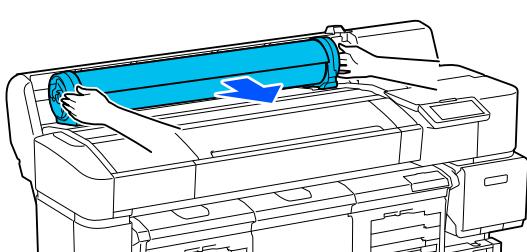


- 4 操作パネルの画面の [終了] を押します。

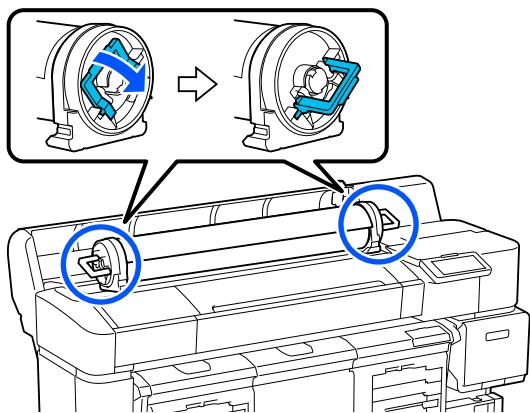
- 5 アダプターを回して、メディアを巻き取ります。



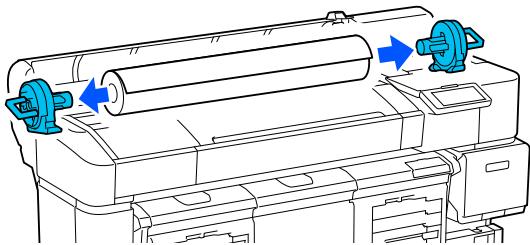
- 6 両側のアダプターを持って、メディアをメディア仮置き台に移します。



- 7 両側のアダプターのアダプターロックレバーを起こしてロックを解除します。

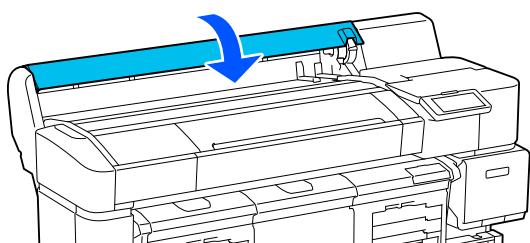


- 8 アダプターを取り外します。



メディアはきちんと巻き直してから購入時に梱包されていた個装袋に包み、個装箱に入れ保管してください。

- 9 メディアカバーを閉めます。



メディア設定の最適化（プリントヘッドの位置調整・メディア送り調整）

本機に登録したメディア設定値を使い始める前に 1 度行います。

お使いのメディアやプリンターの個体差を補正してお使いの組み合わせ（メディアとプリンター）で最適な印刷ができるようにメディア設定値の最適化（印刷調整）を行います。

メディア設定の最適化は以下の場合にも実行します。

ダウンロードした EMX ファイルのメディア設定値を本機に登録したとき。

メディア設定を保存後に【高度な設定】を変更したとき

メディア設定の最適化は、使用するメディアを実際に使用するときの状態で本機にセットしてプリントヘッドの位置調整とメディア送り調整を行って、実施します。

プリントヘッドの位置調整とメディア送り調整は必ず両方実施してください。

プリントヘッドの位置調整

本機は、プリントヘッドを移動しながらインク滴を飛ばして印刷します。メディア表面とプリントヘッドの間にはわずかな距離（ギャップ）があり、メディア厚や温度・湿度の変化、プリントヘッド移動時の慣性力によって、インク滴の到達位置（印刷位置）にズレが生じます。プリントヘッドの位置調整を行うと、印刷位置のズレを調整して印刷結果の墨線のずれや、粒状感を改善します。

プリントヘッドの位置調整時のご注意

本機にセットしたメディアに合わせて調整されます。

必ずメディア設定値を本機に登録したとき、あるいは設定メニューの登録メディア管理で設定した名称をメディア選択で選択してください。

調整できる最小メディア幅は 254 mm です。

ノズルが目詰まりしていない状態で実施してください。

ノズルが目詰まりしていると、正しく調整されません。チェックパターンを印刷し目視で確認して、必要に応じてプリントヘッドのクリーニングをしてください。

[「ノズルの目詰まりの解消」58 ページ](#)

プリントヘッドの位置調整の手順

1 印刷可能状態であることを確認して実際に使用する状態にメディアをセットします。

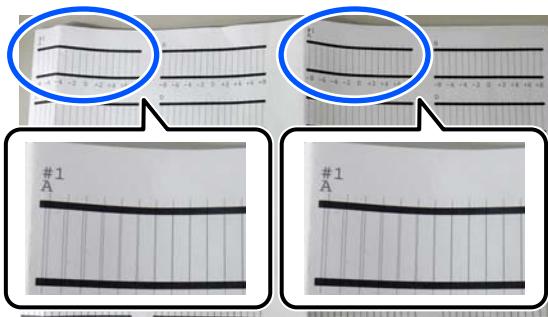
[「メディアのセット」33 ページ](#)

2  (メニュー) を押し、【メディア設定】 - 【印刷調整】 - 【プリントヘッドの位置調整】の順に押します。

3 【開始】を押します。

調整パターンが印刷されます。印刷が終了するまでお待ちください。

4 印刷された#1 A の調整パターンを確認します。

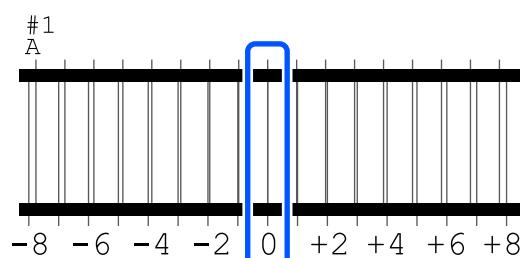


上図では#1 A は 2箇所にありますが、メディア幅によって印刷される数は異なります。

5 最も線が細く見える（線が重なっている）パターンの番号を確認します。

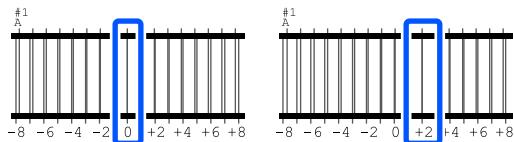
下図の場合は「0」を選びます。

全ての#1 A の調整パターンで最も線が細く見える番号を確認します。



6 全ての#1 A の調整パターンの平均値を求めます。

例) 調整パターンが 2 つ印刷されたとき



$$(0+2) / 2 = 1$$

参考

求めた数値が整数でないときは、小数点第 1 位を四捨五入します。

$$(1+2) / 2 = 1.5 \rightarrow 2$$

7 調整パターンの確認結果を入力する画面が表示されます。

-/+ を押して手順 6 で求めた平均値を設定します。

8 #1B も手順 5~7 を行い、[OK] を押します。

調整が終了するとホーム画面に戻ります。

メディア送り調整

印刷結果にバンディング（水平方向の帯状の模様や濃淡ムラ、スジ）が発生するときにも行います。

[手動（標準）] と [手動（実測）] のどちらかを選択して調整できます。

手動（標準）

通常は、こちらを選択して調整します。

手動（実測）

以下の場合に選択します。

- 手動（標準）の調整を行っても印刷結果にバンディングが見られるとき
- 手動（標準）のパターンがインクのにじみで確認しにくい状態のとき
- 印刷長を正確に印刷したいとき

パターンの印刷で使用するメディア長の目安は、以下の通りです。

[手動（標準）] 実行時：約 190 mm

[手動（実測）] 実行時：約 560 mm

調整手順

1 印刷可能状態であることを確認して実際に使用する状態に合わせてメディアをセットします。

[「メディアのセット」33 ページ](#)

2 (メニュー) を押し、[メディア設定] - [印刷調整] - [メディア送り調整] - [手動（標準）] または [手動（実測）] の順に押します。

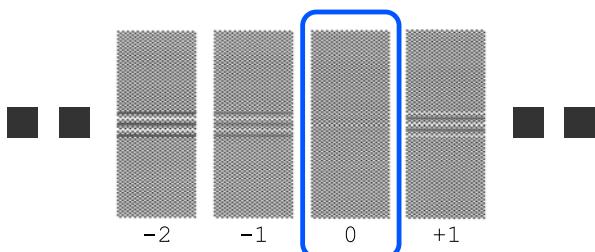
3 [開始] を押します。

調整パターンが印刷されます。印刷が終了するまでお待ちください。

4 印刷された調整パターンを確認します。

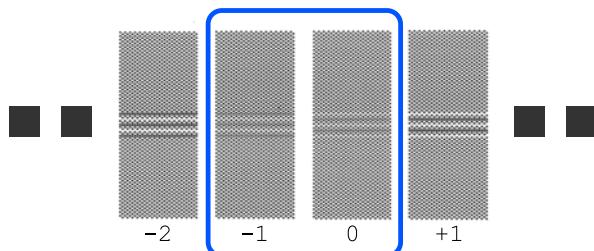
手動（標準）を選択したとき

A と B の 2 グループの調整パターンが印刷されます。各グループ内で最も重なりやすれがないパターンを選びます。例えば、以下のパターンの場合は「0」を選択します。



全ての調整パターンに重なりやすれがあり 1 つに絞り込めないときは、できるだけ重なりやすれがないパターンを選びます。

重なりやすが同等のパターンが並んだときは、パターン間の数字を使用して値を計算します。以下の場合は「-0.50」と入力します。



再度手順2～5を行い、重なりやすがないパターンが印刷されるまで繰り返します。

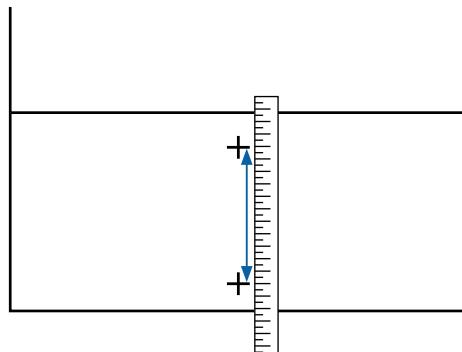
インクがにじむなどしてパターンを確認しにくい場合は、一旦「0.00」と入力します。この場合は、まだメディア送りが調整されていません。手順5に進み、手動（標準）調整を終了させ、改めて手動（実測）を行ってください。

手動（実測）を選択したとき

調整パターンが印刷されます。

調整パターンの終端でカットして平らな面に広げてスケールで測ります。

スケールは、0.5 mmまで測れるものを使ってください。また、スケールは500 mm以上測れるもの用意することをお勧めします。



5 調整パターンの確認結果を入力する画面が表示されます。

手動（標準）を選択したとき

A,B それぞれ選択したパターンの値を設定して [OK] を押します。

手動（実測）を選択したとき

手順4で測った値を設定して [OK] を押します。

調整が終了すると、ホーム画面に戻ります。

印刷の途中でメディア送り量を調整する

印刷の途中でメディア送り量を微調整できます。印刷しながら調整するため、調整結果を確認しながら調整でき便利です。

1 印刷の途中でホーム画面（印刷時調整）の以下のエリアを押します。



ホーム画面（印刷時調整）になっていないときは、ホーム画面の [] (画面切り替え) を押します。

2 画面の [↑] / [↓]、または操作パネルの [↑] / [↓] ボタンを押して値を変更します。

メディア送り量が少なすぎるとブラックバンディング（濃い色のスジ）が発生しますので [↓]（または [↑] ボタン）を押して+方向に調整します。逆にメディア送り量が多すぎるとホワイトバンディング（白または薄い色のスジ）が発生しますので [↑]（または [↓] ボタン）-方向に調整します。

3 印刷結果を確認し、完全に改善されないと感じるときは手順2を繰り返します。

現在選択している登録メディア番号の設定値が更新されます。

4 [] を押してホーム画面に戻ります。

参考

設定を変更した結果は、以下の操作を行うと解除されます。

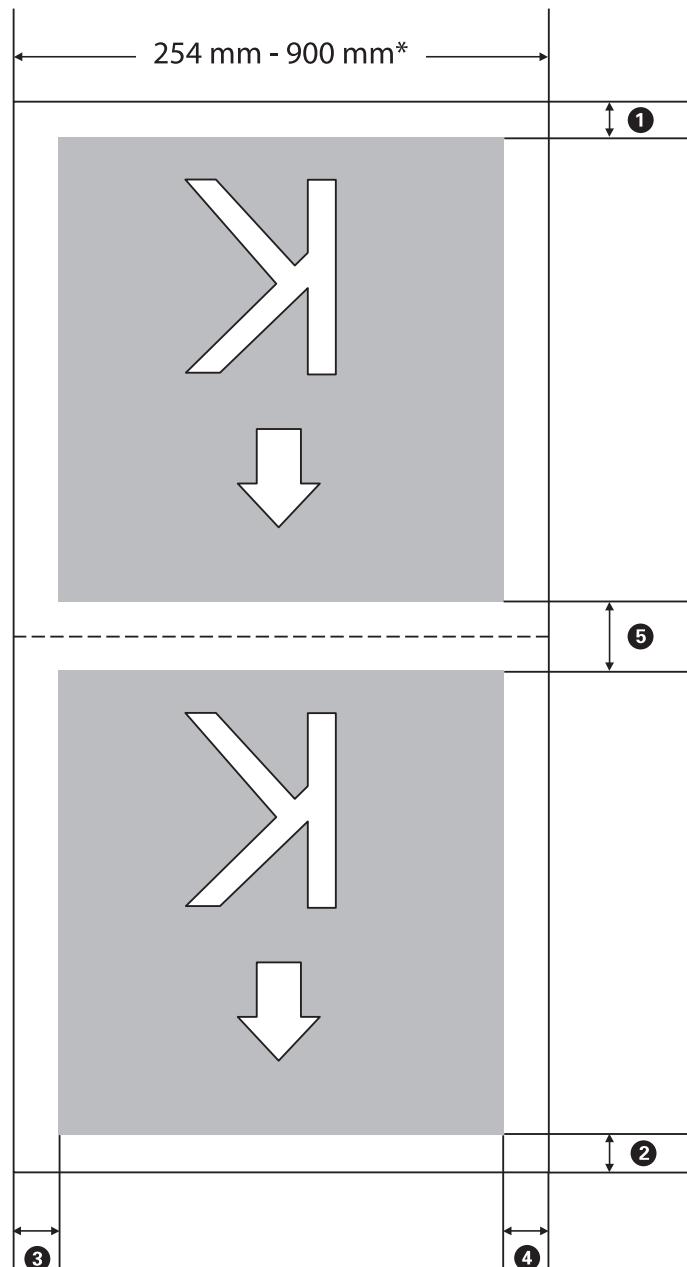
- ・[メディア送り調整] をやり直す。
- ・[全て初期化] を実行する。

目的の印刷が終了したら、設定メニューで【印刷調整】
を行うことをお勧めします。

☞「メディア設定の最適化（プリントヘッドの位置調整・メディア送り調整）」37ページ

印刷可能領域

下図のグレーの部分が印刷可能領域です。イラスト内の矢印は、排出方向を示しています。



* [メディア幅自動検出] の設定が [オフ] のときは、設定している値になります。

[「本体設定メニュー」 68 ページ](#)

①～⑤ の詳細は、下表の通りです。

余白位置	説明	設定有効範囲
① 後端 ^{*1、*4}	本機のプリンター設定メニューの [後端余白] で設定した値です。印刷後の自動カットする前に適用されます。	5～150 mm
② 先端 ^{*1}	本機のプリンター設定メニューの [先端余白] で設定した値です。メディアセット後やカット後の印刷前に適用されます。	5～35 mm

余白位置	説明	設定有効範囲
③ 右端*2、*3	本機のプリンター設定メニューの【右余白】で設定した値です。	3~25 mm
④ 左端*2、*3	本機のプリンター設定メニューの【左余白】で設定した値です。	3~25 mm
⑤ ページ間*1、*4	本機のプリンター設定メニューの【ページ間余白】で設定した値です。印刷後の自動カットをせずに印刷を続けるときに適用されます（印刷後と印刷前に設定した値の半分ずつになります）。	0~999 mm

*1 お使いの RIP の種類によっては、設定値と印刷結果の余白が異なる場合があります。詳細は、RIP の製造元にお問い合わせください。

*2 お使いの RIP の種類によっては、RIP でも設定可能です。詳細は、RIP の製造元にお問い合わせください。

*3 印刷データ幅と左右両端の余白設定の合計が印刷可能領域を超えると、データの一部が印刷されません。

*4 お使いの RIP の種類によっては、RIP でも自動カット設定が可能です。詳細は、RIP の製造元にお問い合わせください。RIP に自動カット設定がない場合は、本機の自動カット設定が適用されます。

参考

[メディア幅自動検出] を [オフ] に設定しているときは、設定した値がセットしたメディア幅を超えないようにしてください。設定した値がメディア幅よりも大きいとメディアの左右にはみ出して印刷されることがあります。メディア外に印刷すると、本機の内部がインクで汚れます。

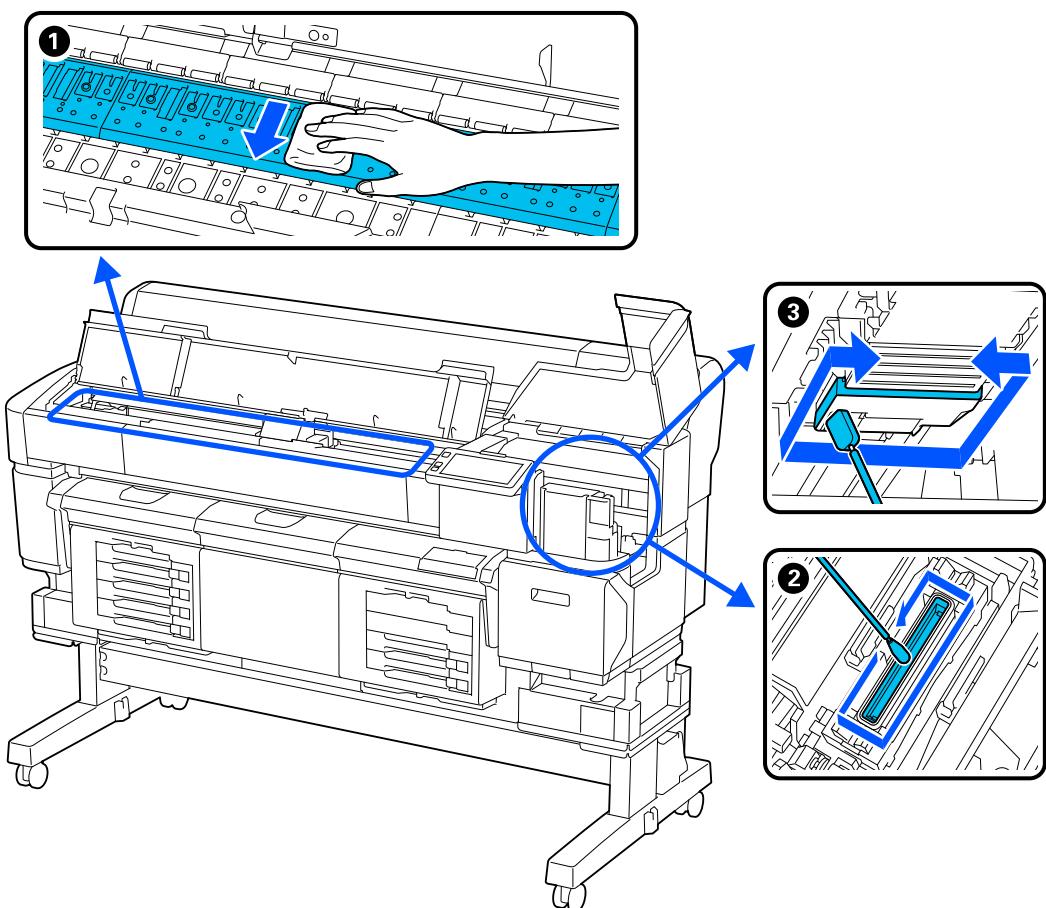
メンテナンス

メンテナンスの種類と実施時期

本機の印刷品質を維持するためには、清掃や消耗品の交換が必要です。

適切なメンテナンスを怠ると、印刷品質の低下や製品が早期に寿命にいたる原因になったり、修理が必要の際に有償になることがあります。画面にメッセージが表示されたら必ずメンテナンスを実施してください。

清掃箇所と実施時期

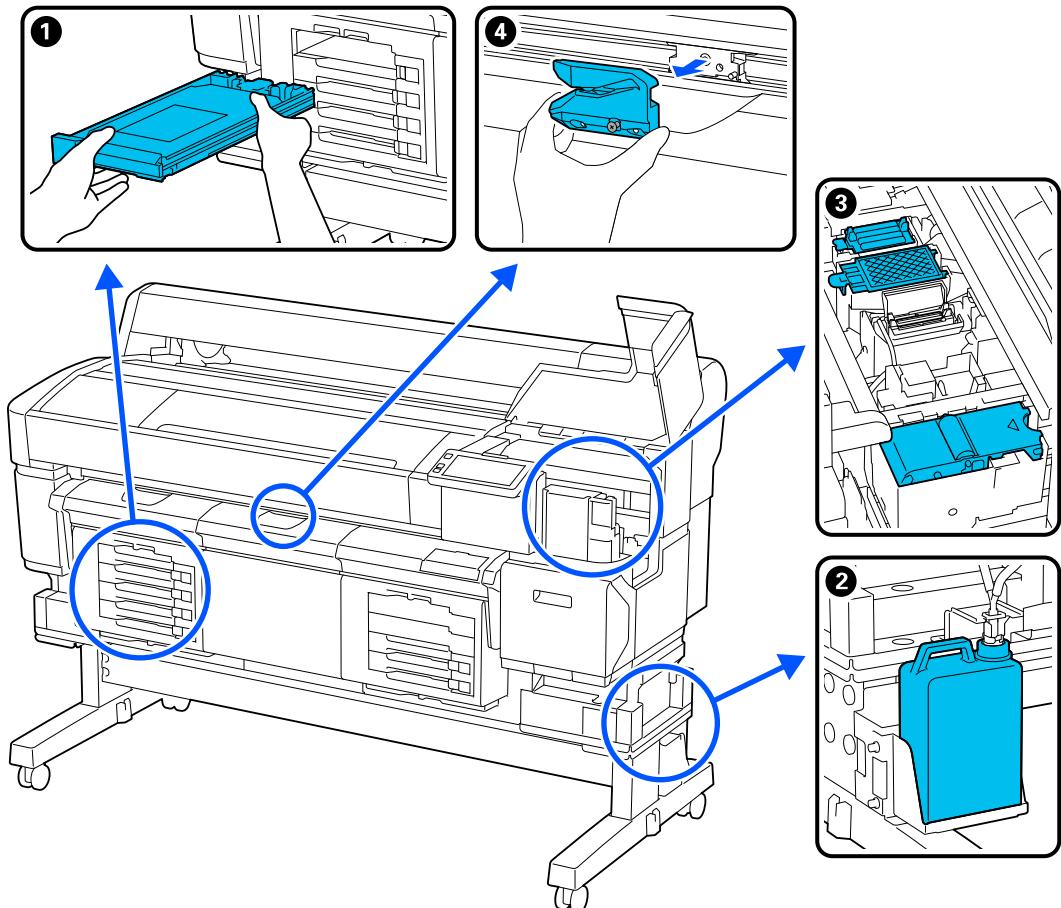


実施時期	清掃箇所
毎日	<p>① プラテン 「プラテンの清掃」50 ページ</p>
操作パネルの画面に「吸引カップの清掃時期です。」と表示されたとき*	<p>② 吸引カップ周辺 「吸引カップ周辺の清掃」49 ページ 手順は YouTube から動画でご覧いただけます。 動画マニュアル</p>

実施時期	清掃箇所
<ul style="list-style-type: none"> 吸引キャップ周辺を清掃しても、印刷面などが汚れるとき プリントヘッドのクリーニングをしても正常に印刷されないとき 	<p>③ プリントヘッド周辺 「プリントヘッド周辺の清掃」48 ページ 手順は YouTube から動画でご覧いただけます。 動画マニュアル</p>

* メッセージが頻繁に表示されるときはエプソンソリューションコールセンターに連絡してください。

消耗品の箇所と交換時期



実施時期	交換箇所
操作パネルの画面に【インク量が限界値以下のためインクパック交換が必要です。】と表示されたとき	<p>① インクパック 「インクパックの交換」53 ページ</p>
操作パネルの画面に準備や交換を促すメッセージが表示されたとき	<p>② 廃インクボトル 「廃インク処理」55 ページ</p> <p>③ ヘッドクリーニングセット（ワイバユニット、乾燥防止キャップ、フラッシング用吸収材） 「ヘッドクリーニングセットの交換」56 ページ</p>
メディアがきれいに切り取れない/切り口が毛羽立つとき	<p>④ カッター 「カッターの交換」57 ページ</p>

その他のメンテナンス

実施時期	実施事項
<ul style="list-style-type: none"> 毎日の印刷業務開始前（ホワイトインクのみ） 【インクのかくはん時期です。▲ / ✗ が表示されているインクパックを振ってください。】と表示されたとき 	インクパックのかくはん 「インクパックの定期かくはん」 52 ページ
<ul style="list-style-type: none"> ノズルが目詰まりしているか確認したいとき 目詰まりしている色を確認したいとき 印刷結果に水平方向のスジ/濃淡ムラ（バンディング）が見られるとき 	ノズルの目詰まりチェック 「ノズルの目詰まりチェック」 58 ページ
<ul style="list-style-type: none"> 印刷物にかすれや欠けがあるとき ノズルの目詰まりチェックの結果、目詰まりが確認されたとき 	プリントヘッドのクリーニング 「プリントヘッドのクリーニング」 59 ページ
本機を長期間（2週間以上）使用しない（電源を切る）とき	長期保管前メンテナンス 「長期間使用しないときの事前メンテナンス」 60 ページ

準備するもの

清掃や交換を始める前に、以下のものを準備してください。

付属品が終了したときは、消耗品をお求めください。
インクパックやメンテナンス用の交換パーツは、本機専用のものをご用意ください。

☞ 「消耗品とオプション」98 ページ

手袋が終了したときは、市販のニトリル手袋をご用意ください。

保護メガネ（市販品）

インクやインククリーナーが目に入らないように保護します。

マスク（市販品）

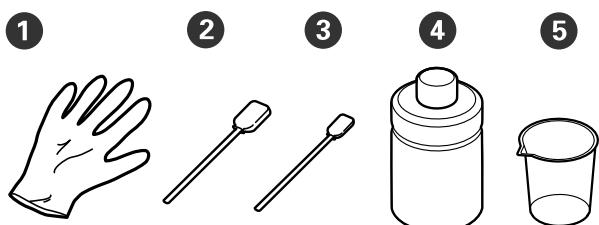
インクやインククリーナーが口や鼻に入らないように保護します。

ピンセット（本機付属）

塊や膜状に付着している廃液を取り除きます。

メンテナンスキット（本機付属）

キャップやプリントヘッド周辺の清掃で使います。
手袋、クリーニング棒、インククリーナー、カップがセットで入っています。



- ① 手袋（4枚）
- ② クリーニング棒（太）（25 本）
- ③ クリーニング棒（細）（25 本）
- ④ インククリーナー（1 個）
- ⑤ カップ（1 個）

金属またはプラスチック（PP・PE）製のトレイ（市販品）



清掃用具や取り外した消耗品、付属のカップに移したインククリーナーを置くのに使います。

柔らかい布（市販品）

プラテンの清掃で使用します。毛羽ゴミが出にくく、静電気が発生しにくいものをお使いください。

純水（市販品）

インククリーナーの代用として純水を使用できます。

メンテナンス作業時のご注意

清掃や交換作業は、以下の注意点を守って作業を行ってください。

! 注意

- ・メンテナンス作業をするときは、保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。
インク、廃インク、インククリーナーが皮膚に付着したときや目や口に入ったときは、以下の処置をしてください。
 - ・皮膚に付着したときは、多量の石けん水で洗い流してください。皮膚に刺激を感じたり変化があるときは、医師の診断を受けてください。
 - ・目に入ったときは、すぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症を起こすおそれがあります。異常があるときは、医師の診断を受けてください。
 - ・口に入ったときは、速やかに医師に相談してください。
 - ・飲み込んだときは、無理に吐かせずに速やかに医師に相談してください。無理に吐かせると、吐いたものが気管に入ることがあり危険です。
 - ・インクパック、廃インク、インククリーナー、クリーニングインクパックは、子どもの手の届かない場所に保管してください。

- ・本機からメディアを取り外してから作業を始めてください。
- ・清掃の対象箇所以外の部品やベルト類、基板には絶対に触らないでください。本機の故障や印刷品質低下の原因となります。
- ・クリーニング棒は、付属または消耗品以外のものは使わないでください。毛羽の出るものを使うとプリントヘッドを破損します。
- ・クリーニング棒は、毎回新品を使用してください。一度使用したものを再利用すると、かえって汚れが付着する原因となります。
- ・クリーニング棒の先は手で触らないでください。皮脂が付着し、プリントヘッドが破損することがあります。
- ・作業の前に金属製のものに触れて、作業者の静電気を逃がしてください。

定期清掃の仕方

インククリーナーの使い方

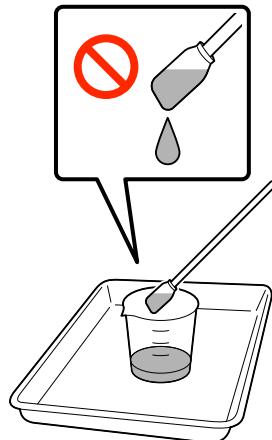
インククリーナーは吸引キャップ周辺、プリントヘッド周辺の清掃時に、クリーニング棒に染み込ませて使用します。

！重要

- ・使用箇所で指定された箇所以外の清掃には使用しないでください。部品が傷つくおそれがあります。
 - ・開封後の使用、保管状況によっては、インククリーナーが変色することがあります。
 - ・インククリーナーに変色や異臭があるときは、使用を中止して新しいメンテナスキットをお使いください。
 - ・使用後は蓋をしっかり閉め、高温多湿、直射日光を避けて保管してください。
 - ・一度清掃に使ったインククリーナーは、次回清掃時に使わないでください。汚れたインククリーナーを使うと、かえって汚れが付着します。
 - ・使用済みのインククリーナーは、産業廃棄物です。廃インクと同じ方法で廃棄してください。
- 使用済み消耗品の処分  「廃棄」 58 ページ

3 クリーニング棒にインククリーナーを染み込ませます。

このとき、クリーニング棒からインククリーナーが垂れないように注意してください。



プリントヘッド周辺の清掃

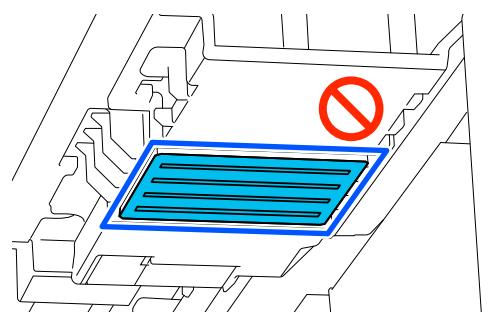
【プリントヘッドのクリーニング】を数回行っても印刷面などが汚れるときは、プリントヘッドの周辺にホコリが堆積している可能性があります。以下の手順で清掃してください。

清掃時のご注意

！重要

以下を守らないと、故障の原因になります。

- ・プリントヘッドを手で動かさない。
- ・クリーニング棒でノズル面（図の  部分）には触らない。



- ・作業を行う前に、必ず以下をお読みください。
 「メンテナスキット作業時のご注意」 47 ページ

- ・プリントヘッド周辺の汚れが取れにくいときは、汚れたクリーニング棒をインククリーナーですすいで清掃し直してください。このとき、クリーニング棒がひどく汚れているときは新品に交換してください。

参考

プリントヘッド移動後、10分経過するとブザーが鳴ります（メーカー設定値）。画面のメッセージを確認し、[OK]を押して作業を継続してください。

清掃方法

手順は YouTube から動画でご覧いただけます。

[動画マニュアル](#)

1 本機の電源が入っていることを確認します。

2  (プリンターのお手入れ) を押し、[部品清掃] - [ヘッド周辺] の順に押します。

3 メッセージの内容を確認し、[次へ] を押します。

4 [操作方法を見る] を押すと手順を確認できます。

以降、画面の手順に従って作業してください。

5 清掃が終了したらプリンターカバーとメンテナンスカバーを閉め、操作パネルの画面で [終了] を押します。

プリントヘッドが通常の位置に戻り設定メニューが終了します。

清掃終了後はノズルの目詰まりチェックの実施をお勧めします。

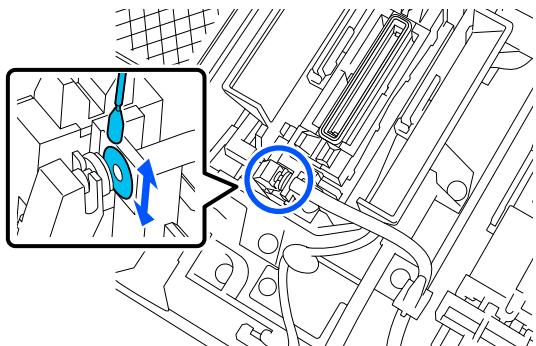
 [「ノズルの目詰まりチェック」58ページ](#)

使用済み消耗品の処分  [「廃棄」58ページ](#)

吸引キャップ周辺の清掃

吸引キャップ周辺の清掃時期になると、操作パネルの画面に [吸引キャップの清掃時期です。] と表示されます。そのまま使い続けるとノズルの目詰まりが回復しにくくなり、印刷品質が低下します。メッセージが表示されなくとも、印刷面にインクの汚れが付くときは清掃してください。

吸引キャップ周辺の清掃時は吸引キャップの他に図で示すチューブの入り口に付着したインクの汚れを拭き取る作業も一緒に行います。



清掃時のご注意

!重要

- プリントヘッドは手で動かさないでください。故障の原因になります。
- キャップ部分を強くこするなどして傷付けないようしてください。傷が付くと空気が漏れて、プリントヘッドのクリーニングが正常にできなくなります。
- 付属品以外の金属ピンセットなどは使用しないでください。
- キャップのフチの汚れは、キャップの地色が見えるようになるまで丁寧に拭き取ってください。汚れが付着したままだと、キャップとプリントヘッドの間に隙間が生じて吸引力が低下し、ノズルの目詰まりが発生します。

・作業を行う前に、必ず以下をお読みください。

 [「メンテナンス作業時のご注意」47ページ](#)

・汚れが取れにくいときは、汚れたクリーニング棒をインククリーナーですすいで清掃し直してください。クリーニング棒がひどく汚れているときは新品に交換してください。

参考

プリントヘッド移動後、10分経過するとブザーが鳴ります（メーカー設定値）。画面のメッセージを確認し、[OK]を押して作業を継続してください。

清掃方法

手順は YouTube から動画でご覧いただけます。

[動画マニュアル](#)

1 本機画面に表示されたメッセージの内容を確認し、[清掃する]を押します。

メッセージが表示されていないときは、 (プリンターのお手入れ) を押し、[部品清掃] - [吸引キャップ] の順に押します。

2 メッセージの内容を確認し、[開始]を押します。

プリントヘッドがメンテナンス位置まで移動します。

3 [操作方法を見る]を押すと手順を確認できます。

以降、画面の手順に従って作業してください。

4 清掃が終了したらメンテナンスカバーを閉め、操作パネルの画面で[終了]を押します。

プリントヘッドが通常の位置に戻り設定メニューが終了します。

清掃終了後はノズルの目詰まりチェックの実施をお勧めします。

 「ノズルの目詰まりチェック」 58 ページ
使用済み消耗品の処分  「廃棄」 58 ページ

プラテンの清掃

プラテンは紙粉やインクが付着し汚れます。インクが付いているとメディアが汚れますので、毎日プラテンを清掃してください。

作業を行う前に必ず以下をお読みください。

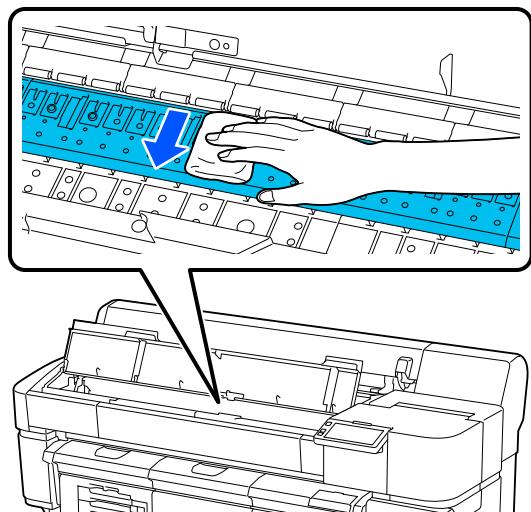
 「メンテナンス作業時の注意」 47 ページ

1 メディアを取り外してから本機の電源を切り、画面の表示が消えたのを確認してから電源プラグをコンセントから抜きます。

2 電源プラグを抜いたあと 1 分程放置します。

3 プリンターカバーを開け、柔らかい布を使って、ホコリや汚れをふき取ります。

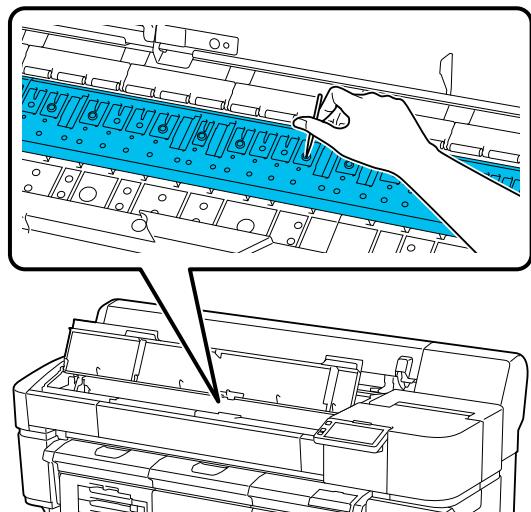
プラテンを丁寧にふきます。汚れを拡散させないために、奥から手前にふき取ります。汚れがひどいときは中性洗剤を少量入れた水に柔らかい布を浸し、よく絞ってからふきます。そして、最後に乾いた柔らかい布で水気をふき取ります。



! 重要

本機内部のインクチューブは、故障の原因となりますので触らないでください。

4 樹脂部分に紙粉（白い粉のようなもの）が詰まっているときは、つまようじなどの先の細い物で中に押し込みます。



5 清掃が終了したらプリンターカバーを閉めます。

プラテンを清掃しても印刷面に汚れが付くとき

ローラーがインクや紙粉で汚れていることがあります。

ローラーの清掃手順を説明します。

状況に応じて以下をご覧ください。

☞ 「ローラーがインクで汚れているとき」 51 ページ

☞ 「ローラーが紙粉で汚れているとき」 51 ページ

ローラーがインクで汚れているとき

以下の手順でメディアを送ることによってローラーの汚れをふき取ります。

1 本機の電源を入れて、最大印刷幅のメディアをセットします。

☞ 「メディアのセット」 33 ページ

2 【↓】ボタンを押します。

【↓】ボタンを押している間、メディアが送られます。メディアの汚れが付かなくなるまで送ります。

3 布でローラーの汚れを拭き取ります。

中性洗剤を少量入れた水に柔らかい布を浸し、よく絞ってからローラーの汚れている箇所をふきます。そして、最後に乾いた柔らかい布で水気をふき取ります。

清掃が終了したらメディアをカットします。

☞ 「メディアのカット」 35 ページ

ローラーが紙粉で汚れているとき

ローラーが下図のように紙粉で汚れているときは、弱粘着テープで汚れを取り除きます。



! 重要

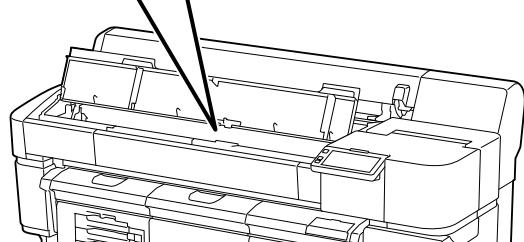
- ローラーが上がっている状態で清掃しないでください。ローラーが破損する恐れがあります。
- ローラーを強粘着テープで清掃しないでください。ローラーが外れる恐れがあります。

1 本機の電源を入れて、メディアをセットします。

☞ 「メディアのセット」 33 ページ

2 プリンターカバーを開け、弱粘着テープでローラーの汚れを取り除きます。

ローラーの見えていない部分の汚れを清掃するために、【↓】ボタンでローラーを回転させ、同様に弱粘着テープでローラーの汚れを取り除きます。



上記を実施してもローラーの汚れが取れないとき

中性洗剤を少量入れた水に柔らかい布を浸し、よく絞ってからローラーの汚れている箇所をふきます。そして、最後に乾いた柔らかい布で水気をふき取ります。

清掃が終了したらメディアをカットします。

☞ 「メディアのカット」 35 ページ

インクパックの定期かくはん

かくはん時期をお知らせするメッセージが表示されたら、速やかにインクパックをかくはんしてください。

！重要

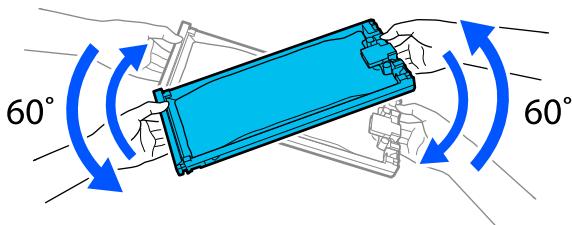
本機のインクパック、インクの特性上、徐々に沈降（成分が液の底に沈んでたまる）しやすくなっています。インクが沈降すると、濃淡ムラやノズルの目詰まりの原因となります。インクパックの装着後は定期的にインクパックをかくはんしてください。

インクパックを本機に装着後は、以下の頻度でかくはん時期をお知らせするメッセージが表示されます。

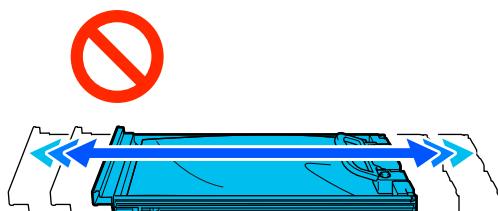
- ホワイトインク (WH) : 24 時間に 1 度
- その他のインク : 3 週間に 1 度

かくはん時のご注意

- インクパックトレイを取り出すときは、トレイ底面に手を添えてください。片手で作業をすると、トレイを引き抜いたときに重さでトレイが落下し破損するおそれがあります。
- インクパックを振るときは、インクパックトレイにセットした状態のまま下図の通り、上下に約 60 度の角度で 5 秒間に 5 回程度、よく振ってください。



- インクパックがセットされたインクパックトレイやインクパックを強く振ったり、振り回したりしないでください。インクが漏れるおそれがあります。



- 取り外したインクパックはインク供給孔部にインクが付いていることがありますので、周囲を汚さないようにご注意ください。

かくはん方法

かくはん時期をお知らせするメッセージが表示されたら、操作パネルの画面で手順を見ながらインクパックのかくはんができます。

画面全体にメッセージが表示されたとき

【操作方法を見る】を押すと、作業手順を確認できます。



参考

画面左上に【閉じる】が表示されているときは、一度画面を閉じて後でかくはんすることもできます。図のように閉じるが表示されていないときは、インクパックをかくはんするまで印刷など他の操作は何もできません。

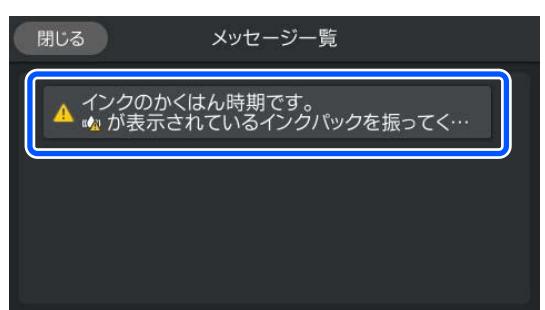
状態表示エリアにメッセージが表示されたとき

以下の手順で作業手順を確認できます。

- 画面の消耗品の状態エリアを押します。



- 【メッセージ一覧】でインクかくはん時期をお知らせするメッセージを押します。



- 3 [操作方法を見る] を押すと手順を確認できます。以降、画面の手順に従って、作業してください。



インクパックの交換

!重要

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品のインクパックを使用することをお勧めします。純正品以外のものをご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

交換時のご注意

!重要

ホワイトインク使用時は、【インク量が限界値以下そのためインクパック交換が必要です。】と表示されたら、速やかに新しいインクパックと交換してください。インクの残量警告が表示された状態のまま放置すると、プリントヘッド等が故障するおそれがあります。

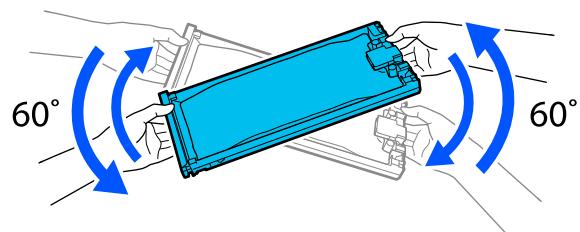
- 1色でもインク残量が限界値以下になると、印刷はできません。
印刷途中でインク残量が限界値以下になったときは、そのインクパックを交換すれば印刷は続行されます。インクの残量が少なくなったインクパックを使い続けると、印刷途中でインクパックの交換が必要になることがあります。印刷途中で交換するとインクの乾き具合により、色味が異なって見えることがあります。許容できないときは、事前に新品のインクパックと交換して印刷することをお勧めします。取り外したインクパックは、再び装着してインク残量が限界値以下になるまで使うことができます。

- 全インクパクトレイにインクパックをセットしてください。インクパックがセットされていないインクパクトレイが1色でもあると印刷できない、または故障の原因となります。

- インクパックを振るときは、インクパクトレイにセットした状態のまま下図の通り、上下に約60度の角度で色ごとに以下の回数、よく振ってください。

 - ホワイトインク (WH) : 25秒間に25回程度

 - その他のインク : 15秒間に15回程度



- 電源を入れる際にインクパックを交換するときは、内蔵カッターが使用できないことがあります。市販のハサミでメディアをカットしてください。

交換方法

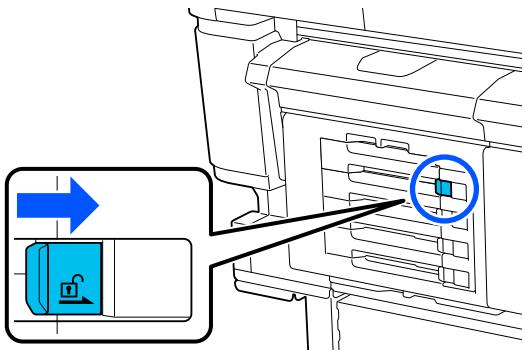
交換を促すメッセージが表示されたとき

[操作方法を見る] を押します。作業手順を見ながらインクパックの交換ができます。



印刷量に対してインクの残量が少ないので交換したいとき

- 1 交換したい色のロックスイッチを動かして、ロックを解除します。



- 2 操作パネルの画面で【操作方法を見る】を押すと手順を確認できます。

以降、画面の手順に従って、作業してください。



使用済み消耗品の処分 ↗ 「使用済み消耗品の処分」58ページ

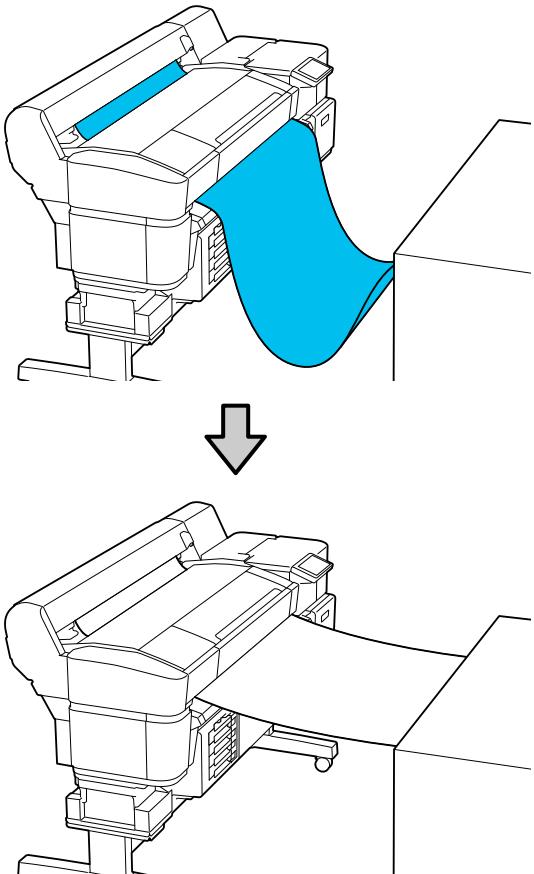
印刷中にインクパックの交換が必要になったとき（シェイカー使用時のみ）

本機とシェイカーの間にメディアをたるませるタイプのシェイカーをお使いのときは、インクパックの交換前にシェイカーと本機の間のメディアのたるみを取ると、インクパックの交換がしやすくなります。

- 1 印刷が止まっていることを確認します。

印刷中にインクパックの交換を促すメッセージが表示されたときは、印刷が一時停止します。

- 2 シェイカーでメディアのたるみが小さくなるまで、手動でシェイカーを継続させます。



！重要

メディアのたるみを小さくしすぎてメディアが突っ張らないようにしてください。印刷結果に影響が出ます。

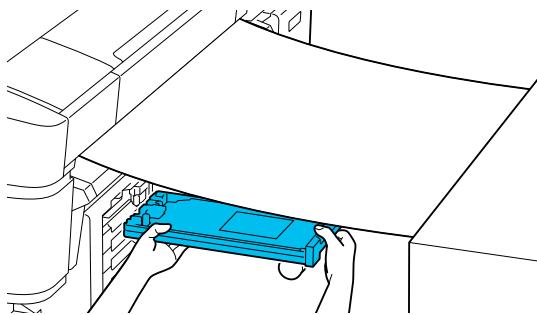
- 3 操作パネルの画面で【操作方法を見る】を押すと手順を確認できます。

以降、画面の手順に従って、作業してください。



作業はメディアの下に手を伸ばして行います。

メディアには触れないように注意してください。



- 4 インクパックを交換した後、シェイカーをオートにして、印刷を再開します。

廃インク処理

廃インクボトル交換時のご注意

- 必ず、廃インクチューブがボトルの口に差し込まれていることを確認してください。廃インクチューブがボトルから外れていると廃インクが周囲にこぼれます。
- 廃インクボトルのふたは、廃インクを廃棄するときに必要となります。捨てずに保管しておいてください。
- 印刷中やプリントヘッドのクリーニング実行中や長期保管時の事前メンテナンスの作業中は、画面に指示がない限り、絶対に廃インクボトルを取り外さないでください。廃インクが漏れることができます。
- 廃インクは別の容器に移し替えずに廃インクボトルごと廃棄してください。

参考

廃インクを廃インクボトルから別の容器に移すときは、以下の点に留意してください。

- 移し替える側の容器は、PE製をお使いください。
- 本製品に付属のそそぎ口を廃インクボトルの口に取り付けて廃インクを移してください。
- 慎重に注いでください。勢いよく注ぐと廃インクがこぼれたり飛び散ったりします。
- 廃インクを移し替えた容器は、しっかりと蓋を閉めて保管してください。

廃インクボトルの交換

廃インクボトルの交換は以降のとおり 2 通りあります。状況に応じて該当の交換方法を実施してください。

作業を行う前に必ず以下をお読みください。

☞ 「メンテナンス作業時のご注意」47 ページ

廃インクボトルの交換時期になったことをお知らせするメッセージが表示されたとき

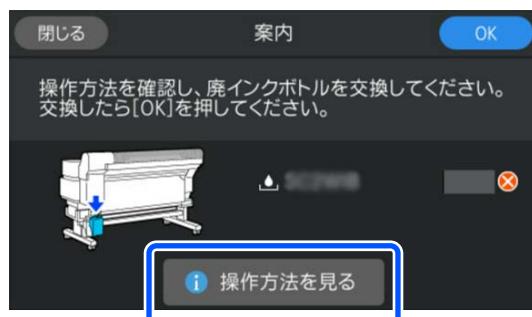
直ちに廃インクボトルを新品と交換してください。

メッセージが表示されたら、【操作方法を見る】を押します。作業手順を見ながら廃インクボトルの交換ができます。

! 重要

【廃インクボトルの交換時期が近づいています。】と表示されたときは、直ちに新しい廃インクボトルを手元に用意してください。この段階で廃インクボトルを交換するときは以下をご覧ください。

☞ 「任意の時期に交換したいとき」55 ページ



任意の時期に交換したいとき

夜間稼動や大量印刷のため、交換時期のメッセージが表示される前に廃インクボトルを交換するときは、以下の手順で廃インクボトル交換をしてください。以下の手順で実施しないと、廃インクカウンターがリセットされないため、廃インク量を正しくカウントできなくなり、廃インクボトルの交換時期を正しくお知らせできなくなります。

再度、以下の手順を実施すると廃インクカウンターがリセットされ、再び廃インクボトルの交換時期を正しくお知らせできるようになります。

廃インクカウンター ☞ 「廃インクカウンターについて」56 ページ

- 1 画面の (プリンターのお手入れ) を押し、
【メンテナンスパーツ交換】 - 【廃インクボトル】の順に押します。

2 [操作方法を見る] を押すと手順を確認できます。

以降、画面の手順に従って、作業してください。

廃インクカウンターについて

本機は、廃インクカウンターで廃インクの量をカウントし、累計が警告量に達するとメッセージでお知らせします。[廃インクボトルの交換時期です。]のメッセージに従って新しい廃インクボトルに交換すると、カウンターは自動的にクリアされます。

このメッセージが表示される前に交換するときは、操作パネルの画面で [?] (プリンターのお手入れ) を押し、[メンテナンスパーツ交換] - [廃インクボトル] の順に押して交換作業を行ってください。

プリンターのお手入れメニュー [「プリンターのお手入れメニュー」78 ページ](#)

!重要

メッセージが表示される前に廃インクボトルを交換するときは、必ず設定メニューから交換作業を行って廃インクカウンターをクリアしてください。廃インク量を正しくカウントできなくなり、廃インクボトルの交換時期を正しくお知らせできなくなります。再度、設定メニューから廃インクボトルを交換すると、再び廃インクボトルの交換時期を正しくお知らせできるようになります。

この段階で交換するときは、操作パネルの画面で [?] (プリンターのお手入れ) を押し、[メンテナンスパーツ交換] - [ヘッドクリーニングセット] の順に押して交換作業を行ってください。設定メニューから交換作業を行わないと、ヘッドクリーニングセットカウンターが正しく働かなくなります。

!重要

ヘッドクリーニングセットカウンターについて

本機は、ヘッドクリーニングセットカウンターで使用量をカウントし、累計が警告量に達するとメッセージでお知らせします。

[ヘッドクリーニングセットの交換時期です。]のメッセージに従って新しいヘッドクリーニングセットと交換すると、カウンターは自動的にクリアされます。

このメッセージが表示される前に交換するときは、必ず設定メニューから交換作業を行ってください。

[ヘッドクリーニングセットの交換時期です。] と表示されたとき

次項をご覧になり、ヘッドクリーニングセットに付属のパーツを一括して交換してください。交換しないと印刷できません。

ヘッドクリーニングセットには、以下のパーツが 1 つずつ入っています。

- ・ワイヤーユニット
- ・乾燥防止キャップ
- ・フラッシング用吸収材

ヘッドクリーニングセットの交換

準備と交換時期

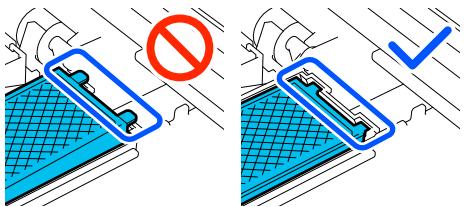
[ヘッドクリーニングセットの交換時期が近付いています。] と表示されたとき/ヘッドクリーニングセットの残量表示に  が表示されているとき

直ちに新しいヘッドクリーニングセットを手元に用意してください。

部品交換時のご注意

!重要

- フラッシング用吸収材を取り外すときに勢いよく持ち上げると、廃インクが周囲に飛び散ることがあります。注意して作業してください。
- 新品のフラッシング用吸収材に交換したら、正しく取り付けられているか確認してください。
ツメが乗り上げた状態で使用するとプリントヘッドが破損することがあります。



- 作業を行う前に、必ず以下をお読みください。
[「メンテナンス作業時のご注意」47ページ](#)

参考

プリントヘッド移動後、10分経過するとブザーが鳴ります（メーカー設定値）。
画面のメッセージを確認し、[OK]を押して作業を継続してください。更に10分経過すると、再びブザーが鳴ります。

交換方法

交換用のヘッドクリーニングセットは、必ず本機専用のものをお選びください。

[「消耗品とオプション」98ページ](#)

- 1 [ヘッドクリーニングセットの交換時期です。]の画面で[OK]を押します。

メッセージが表示されていないときは、 (プリンターのお手入れ) を押し、[メンテナンスパーティ交換] - [ヘッドクリーニングセット] の順に押します。

- 2 メッセージの内容を確認し、[開始]を押します。

- 3 [操作方法を見る]を押すと手順を確認できます。

以降、画面の手順に従って作業してください。

使用済み消耗品の処分 [「廃棄」58ページ](#)

カッターの交換

メディアがきれいに切り取れなくなったり、カット部に毛羽立ちなどが発生したりしたら、カッターを交換してください。

[「消耗品とオプション」98ページ](#)

! 注意

カッターは子供の手の届く場所に保管しないでください。カッターの刃でがをするおそれがあります。カッターを交換するときは、取り扱いに注意してください。

カッターの交換にはプラスドライバーを使用します。プラスドライバーを手元に用意してから交換の作業を行ってください。

交換方法

操作パネルの画面で手順を見ながら作業できます。

- 1 画面のを押し、[カッター交換]を押します。

- 2 [開始]を押し、[操作方法を見る]の順に押すと手順を確認できます。

以降、画面の手順に従って、作業してください。

参考

使用済みのカッターは、袋などに入れて、地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。

カッター交換時のご注意

- カッター刃を傷付けないようにしてください。落としたり硬い物に当たりすると刃が欠けることがあります。

- 新品のカッターに挟まっているシートは刃の保護用です。取り除かずに交換作業をしてください。カッターが元の位置に戻るときに保護シートが外れます。保護シートを取り除いてください。
- カッター固定ネジはしっかりと締めてください。カッターが固定されていないと、カット位置がずれたり曲がったりすることがあります。

使用済み消耗品の処分

以下のいずれかの方法で処分してください。

回収

使用済みの消耗品（インクパック、クリーニングインクパック）は、資源の有効活用と地球環境保全のため回収にご協力ください。

エプソンは使用済み純正インクパックの回収活動を通じ、地球環境保全を推進しています。

便利でお得な「引取り回収サービス」で回収リサイクル活動にご協力ください。他にも、店頭回収ポストや郵便局での回収、学校でのベルマーク活動による回収などのサービスがあります。詳しくはエプソンのウェブサイトをご覧ください。

<https://www.epson.jp/recycle/>

廃棄

使用済みの以下のインク付着物は、産業廃棄物です。

- クリーニング棒
- インククリーナー
- 廃インク
- 廃インクボトル
- ワイヤーユニット
- 乾燥防止キャップ
- フラッシング用吸収材
- 脱気ユニット
- 印刷後のメディア

産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。委託時には、製品安全データシートを産業廃棄物処理業者に提出してください。

製品安全データシートは、エプソンのウェブサイト (<https://www.epson.jp>) からダウンロードできます。

ノズルの目詰まりの解消

ノズルの目詰まりチェック

良好な印刷品質を維持するために、ノズルの目詰まりをチェックしてから印刷することをお勧めします。

目詰まりチェックの種類

ノズルの目詰まりをチェックするには、以下の2通りの方法があります。

おまかせクリーニングを実施する

本機が自動でノズルの目詰まり状態を確認し、最適な強度のクリーニングを実施します。ノズルが目詰まりしていないときはクリーニングを行いません。詳細は、以下をご覧ください。

☞ 「プリントヘッドのクリーニング」 59 ページ

任意にチェックパターンを印刷する

印刷の前に目詰まりがないか確認したいときや印刷結果にスジやムラが見られるときは、必要に応じてチェックパターンを印刷します。印刷されたチェックパターンを目視で確認してノズルの目詰まりがあるか確認します。ノズルの状況で対処方法は異なります。

チェックパターンの印刷方法は、以降をご覧ください。

ノズルチェックパターンの印刷方法

1 印刷可能状態であることを確認して  (プリンターのお手入れ) を押し、[プリントヘッドのノズルチェック] を押します。

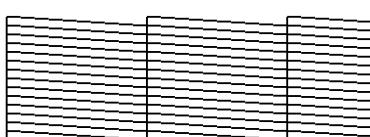
2 [開始] を押します。

ノズルチェックパターンが印刷されます。

3 印刷されたノズルチェックパターンを確認します。

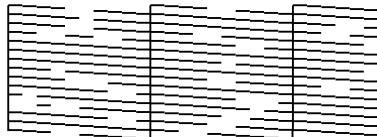
必要に応じて  ボタンを押してメディアを送り出して確認してください。

目詰まりしていないとき



チェックパターンが欠けていません。ノズルは正常です。

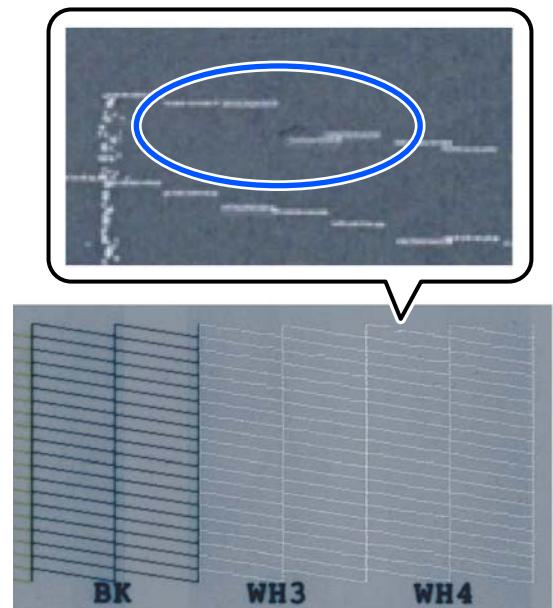
ノズルチェックパターンが欠けている



ノズルの目詰まりが発生しています。プリントヘッドのクリーニングをしてください。

☞ 「プリントヘッドのクリーニング」 59 ページ

ホワイトインクのノズルチェックパターンの線が上下にずれている



ホワイトインク (WH1、WH2、WH3、WH4) のノズルチェックパターンの線が上下にずれているときは、ホワイトインクが正常に吐出されていません。以下を参照して対処を行ってください。

☞ 「ホワイトインクのノズルチェックパターンの線が上下にずれているときの対処方法」 88 ページ

プリントヘッドのクリーニング

プリントヘッドのクリーニングには、[おまかせクリーニング]、および [クリーニング (弱)]、[クリーニング (中)]、[クリーニング (強)] の 3 段階のクリーニングがあります。最初は、[おまかせクリーニング] を実施してください。実施後に目詰まりが解消されないときは、[クリーニング (弱)]、[クリーニング (中)]、[クリーニング (強)] の順に、目詰まりが解消されるまで実施してください。

1 電源が入っていることを確認し、 (プリンターのお手入れ) を押し、[プリントヘッドのクリーニング] を押します。

2 クリーニング方法を選択します。

【おまかせクリーニング】を選択するとき
手順 4 に進みます。

クリーニングのレベルを選択するとき

全ての列をクリーニングするときは、[全ての列] を選択し、手順 4 に進みます。

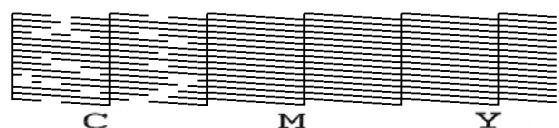
ノズルチェックパターンを確認してクリーニングする列を指定するときは、次手順に進みます。

3 ノズルチェックパターンを確認し、クリーニングする列を選択して [OK] を押します。

ノズルチェックパターンの下に印字されている文字列は、インク色とノズル列の組み合わせを示しています。

ノズルチェックパターンが欠けている列を確認し、クリーニングする列を選択してください。

下図のような場合は、C が欠けているので、C が含まれる列を選択します。



4 メッセージの内容を確認し、[開始] を押します。

クリーニングが開始されます。クリーニングが終了したら確認画面で [はい] を選択し、ノズルチェックパターンを印刷して目詰まりが解消されたか確認することをお勧めします。

目詰まりが解消されたとき

通常の作業を再開してください。

目詰まりが解消されないとき

手順 1 に戻ってクリーニング (弱) を実施します。クリーニング (弱) を実施以降はクリーニングのレベルを一つ上げて実施します。

数回プリントヘッドのクリーニングを行ってもノズルの目詰まりが解消されないとき
以下を実施してください。

☞ 「プリントヘッド周辺の清掃」 48 ページ

長期間使用しないときの事前メンテナンス

本機を長期間（2週間以上）使用しない（電源を切る）ときは、必ず事前メンテナンスを実施してください。

【長期保管】実施時には、クリーニングインクパック5本と新品の廃インクボトルをご用意ください。

☞ 「消耗品とオプション」98ページ

！重要

事前メンテナンスをせずに放置すると、プリントヘッドのノズルの目詰まりが解消できなくなります。

事前メンテナンスを行わずに長期間使用しないときは、7日に1度は電源を入れてください。

事前メンテナンスの方法

！重要

インクやクリーニング液の残量が足りないと機能を実行できないことがあります。残量が残り少ないとときは、念のためお手元に新品のインクパック/クリーニングインクパックをご用意ください。

1 電源が入っていることを確認し、（プリンターのお手入れ）を押し、【長期保管】を押します。

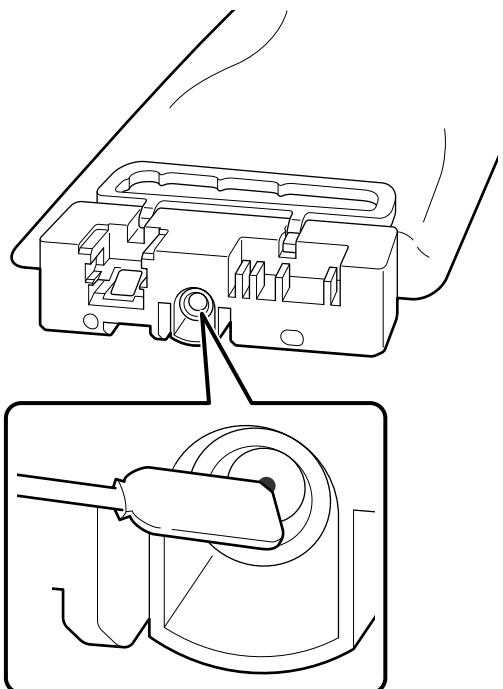
2 画面のメッセージを確認し、【開始】を押します。

以降、画面の手順に従って作業してください。
画面の【操作方法を見る】を押すと作業手順を確認できます。

！重要

取り外したインクパックは、インク供給孔部に付着しているインクを清掃してから保管してください。清掃には付属のメンテナスキットの太いクリーニング棒を使用します。

- ・混色を防ぐために各色ごとに新しいクリーニング棒を使用してください。
- ・クリーニング棒の角をインク供給孔の穴の部分に軽く当ててインクを吸着させます。インクを拭き取る必要はありません。クリーニング棒は、強く押し当てたり動かしたりしないでください。



3 切り替え終了のメッセージが表示されたら、電源を切ってください。

本機および取り外した使用中のインクパックは、以下の注意点を守って保管してください。

☞ 「使用しないときのご注意」20ページ

☞ 「インクパック/クリーニングインクパック取り扱い上のご注意」21ページ

使用を再開するとき

!重要

使用を再開するときは、本機にインクを充填します。
取り外したインクパックを使用して充填するときは、
念のためお手元に新品のインクパックをご用意ください。

電源を入れて操作パネルの画面の指示に従い、廃インクボトルの交換とインクパックの装着をしてください。
画面の【操作方法を見る】を押すと作業手順を確認できます。

参考

使用再開後にホワイトインクの濃度が薄くなることがあります。濃度が薄いときは、以下をご覧ください。
☞「白さが足りない/白がムラになる」93ページ

操作パネルのメニュー

設定メニュー一覧

設定メニューで設定・実行できる項目と各設定値は以下の通りです。各項目の詳細は参照ページをご覧ください。

本体設定

各項目の詳細 [「本体設定メニュー」 68 ページ](#)

設定項目	設定値
基本設定	
画面の明るさ設定	1~9
音の設定	
操作音	0、1、2、3
正常終了音	0、1、2、3
注意音	
音量	0、1、2、3
繰り返し鳴動	しない、停止されるまで
エラー音	
音量	0、1、2、3
繰り返し鳴動	しない、停止されるまで
音の種類	パターン1、パターン2、パターン3
アラートランプ通知	オン、オフ
スリープ移行時間設定	1~240
スリープ復帰方法	
タッチパネルで復帰	する、しない、時間指定
日付/時刻設定	
日付/時刻	
サマータイム (日本仕向けには表示されません。)	しない、する
時差	-12:45~+13:45

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値
言語選択/Language	Dutch、English、French、German、Indonesian、Italian、日本語、Korean、Portuguese、Russian、Simplified Chinese、Spanish、Thai、Traditional Chinese、Turkish
画面カスタマイズ	
背景色	グレー、ブラック、ホワイト
印刷中の表示情報	印刷済み長さ、印刷残り長さ、印刷速度(m/h) or 印刷速度(ft/h)、印刷速度(m ² /h) or 印刷速度(sqft/h)、メディア交換までの時間、パスモード
キーボード	QWERTY、AZERTY、QWERTZ
単位設定	
長さ単位	m、ft/in
温度単位	°C、°F

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値
プリンター設定	
余白	
右余白	3~25 mm
左余白	3~25 mm
ページ間余白	5~999 mm
先端余白	5~35 mm
後端余白	5~150 mm
メディア検出	
メディア幅自動検出	オン、オフ
メディア幅	254.0~900.0 mm
斜行エラー検出	オン、オフ
ページ間ノズルチェックパターン印刷	
オン	
実行タイミング	
印刷長	1~9999 m
ページ数	1~9999 ページ
印刷時間	1~9999 分
オフ	
メディア情報印刷	
メディア残量情報	オン、オフ
カット設定	
自動カット	オン、オフ
ページごとカットを待つ	オン、オフ
特殊メニュー	ノズルよれの解消
初期設定に戻す	ネットワーク設定、全て初期化

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値
メンテナンス設定	
ノズル抜け判定と自動クリーニング	
ノズル抜け判定閾値	
ホワイト	1 ~ 1600
カラー	1~1600
印刷時のノズル抜け判定	
判定タイミング	ジョブ間、指定の間隔ごと
閾値超過時の動作	印刷停止、通知のみ、自動クリーニング
自動クリーニングの最大リトライ回数	0、1、2
定期クリーニング	
オン	
実行タイミング	
印刷時間	1~9999 分
ページ数	1~9999 ページ毎
印刷長	1~9999 m
クリーニングレベル	弱、中
オフ	
電源投入後クリーニング	オン、オフ
ネットワーク設定	
ネットワーク情報	有線接続状態、ステータスシート印刷
詳細設定	
デバイス名	
TCP/IP	自動設定、手動設定
プロキシサーバー	使用しない、使用する
IPv6 アドレス	有効、無効
Link Speed & Duplex	自動、100BASE-TX Auto、10BASE-T Half Duplex、10BASE-T Full Duplex、100BASE-TX Half Duplex、100BASE-TX Full Duplex
HTTP を HTTPS にリダイレクト	有効、無効
IPsec/IP フィルタリングの無効化	
IEEE802.1X の無効化	

メディア設定各項目の詳細  「メディア設定メニュー」 76 ページ

設定項目	設定値
現在の設定	
メディア	01 XXXXXXXXXXXX~10 XXXXXXXXXXXX
メディアタイプ	
メディア幅	
高度な設定	
印刷調整	
メディア送り調整	手動（標準）、手動（実測）
プリントヘッドの位置調整	
登録メディア管理	
01 XXXXXXXXXXXX~10 XXXXXXXXXXXX	
登録名称の変更	
メディアタイプ	フィルム、紙/その他
高度な設定	
パスごとの乾燥時間	0.0~5.0 秒
搬送テンション	Lv1~Lv5
吸着力	Lv0~Lv6
斜め給紙軽減	オン、オフ
ムラ低減調整	オフ、弱、中、強
残量管理	
残量管理	オン、オフ
残量	1.0~9999.9 m
残量警告	1.0~999.5 m

プリンターのお手入れ各項目の詳細  「プリンターのお手入れメニュー」 78 ページ

設定項目	設定値
プリントヘッドのノズルチェック	
プリントヘッドのクリーニング	
おまかせクリーニング	
クリーニング(弱)	
列を選択	
全ての列	
クリーニング(中)	
列を選択	
全ての列	
クリーニング(強)	
列を選択	
全ての列	
メンテナンスパーツ交換	ヘッドクリーニングセット、廃インクボトル
部品清掃	ヘッド周辺、吸引キャップ
ノズルリフレッシュ	
カッター交換	
ノズルシフト	
長期保管	

消耗品情報メニューの詳細  「消耗品情報メニュー」 80 ページ**交換部品情報**メニューの詳細  「交換部品情報メニュー」 80 ページ**情報確認**メニューの詳細  「情報確認メニュー」 80 ページ

設定項目	設定値
ファームウェアバージョン	
プリンター名	
フェータルエラー履歴	
稼働実績	総印刷面積、総メディア送り量、総キャリッジパス数

設定メニューの説明

本体設定メニュー

*はメーカー設定値です。

設定項目	設定値	説明
基本設定		
画面の明るさ設定	1~9 (9*)	操作パネルの画面の明るさを調整します。
音の設定		
操作音	0	電源ボタンや操作パネルの画面を操作したときの音の大きさを設定します。
	1*	
	2	
	3	
正常終了音	0	ジョブの印刷やメンテナンス動作が終了したときの音の大きさを設定します。
	1	
	2	
	3*	
注意音		
音量	0	消耗品の交換時期をお知らせするときの音の大きさと繰り返しを設定します。
	1	
	2*	
	3	
繰り返し鳴動	しない*	
	停止されるまで	

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値	説明
エラー音		
音量	0 1 2 3*	印刷を継続できないエラーが発生したときの音の大きさと繰り返しを設定します。
繰り返し鳴動	しない 停止されるまで*	
音の種類	パターン1 パターン2 パターン3*	音の種類を設定します。本機の設置環境に合わせて聞き取りやすい音に設定できます。
アラートランプ通知	オン* オフ	アラートランプにエラー通知がきたときに点灯する（[オン]）か、しない（[オフ]）を設定します。
スリープ移行時間設定	1~240分（15*）	エラーが発生していない状態で、印刷ジョブの受信がない状態が何分続いたらスリープモードに移行するかを設定できます。スリープモードになると、操作パネルの画面表示が消え、内部のモーター等がオフになり消費電力が抑えられます。 操作パネルのボタン操作（【△】ボタンを除く）をすると、操作パネルの画面表示が復帰します。ただし、この状態でまた何も操作しないと約30秒後に再び画面表示は消えます。完全にスリープモードが解除され通常の状態に復帰するのは、印刷ジョブを受信するなど、ハードウェア動作を伴う操作をしたときです。
スリープ復帰方法		スリープ状態からの復帰方法を設定できます。
タッチパネルで復帰		
する*		
しない		
時間指定	0:00~23:45	
日付/時刻設定		
日付/時刻		内蔵時計の日時を設定します。ここで設定した時刻はホーム画面に表示されます。また、ジョブ履歴やEpson Edge Dashboardでプリンターステータスを表示させるときにも使用されます。
サマータイム (日本仕向けには表示されません。)	しない* する	時刻にサマータイムを反映するかどうかを設定できます。
時差	-12:45~+13:45	協定世界時(UTC)との時差を15分刻みで設定します。時差があるネットワーク環境で本機を管理するときなどに必要に応じて設定します。

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値	説明
言語選択/Language	Dutch	操作パネルの画面の表記言語を設定します。
	English	
	French	
	German	
	Indonesian	
	Italian	
	日本語*	
	Korean	
	Portuguese	
	Russian	
	Simplified Chinese	
	Spanish	
	Thai	
	Traditional Chinese	
	Turkish	

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値	説明
画面カスタマイズ		
背景色	グレー	操作パネルの画面の配色を設定します。本機を設置している環境に応じて見やすい配色に設定できます。
	ブラック*	
	ホワイト	
印刷中の表示情報	印刷済み長さ	印刷中の状態表示エリアに表示させたい内容を設定します。 【印刷速度】は、印刷中の印刷モードとメディア幅に合わせた目安の速度が表示されます。その時に印刷している印刷モードとメディア幅によって値は変化します。 【メディア交換までの時間】は、印刷モードとメディア幅に合わせた目安の時間が表示されます。
	印刷残り長さ	
	印刷速度(m/h) or 印刷速度(ft/h)	
	印刷速度(m ² /h) or 印刷速度(sqft/h)	
	メディア交換までの時間	
	パスモード	
キーボード	QWERTY*	メディア設定の登録名称を入力するときなどに表示される文字入力画面のキー配列を選択します。
	AZERTY	
	QWERTZ	
単位設定		
長さ単位	m*	操作パネルの画面の表記やパターン印刷時に使用する長さの単位を設定します。
	ft/in	
温度単位	°C*	操作パネルの画面の表記で使用する温度の単位を設定します。
	°F	

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値	説明
プリンター設定		
余白		
右余白	3~25 mm (3*)	本機にメディアをセットしたときの、メディア右端からの余白を設定します。詳細は以下をご覧ください。 「印刷可能領域」42ページ
左余白	3~25 mm (3*)	本機にメディアをセットしたときの、メディア左端からの余白を設定します。詳細は以下をご覧ください。 「印刷可能領域」42ページ
ページ間余白	5~999 mm (10*)	印刷ページ間の余白を設定します。単ページの印刷ジョブのときはジョブ間の余白になります。
先端余白	5~35 mm (15*)	本機にメディアをセットしたときの、メディア先端からの余白を設定します。詳細は以下をご覧ください。 「印刷可能領域」42ページ
後端余白	5~150 mm (5*)	本機にメディアをセットしたときの、メディア後端からの余白を設定します。詳細は以下をご覧ください。 「印刷可能領域」42ページ
メディア検出		
メディア幅自動検出	オン*	メディア幅を検出する/しない（[オン] / [オフ]）を選択します。メディアを正しくセットしていても、メディア幅のエラーが表示されるときは[オフ]に設定して印刷してみてください。ただし通常は[オン]で使用することをお勧めします。変更した設定は、メディアをセットし直すと反映されます。
	オフ	
メディア幅	254.0 ~ 900.0 mm (254.0*)	[メディア幅自動検出] を[オフ]にしたときは、本設定でセットしているメディアの幅に合わせて正しくメディア幅の値を設定します。変更した設定は、メディアをセットし直すと反映されます。 正しいメディア幅が設定されていないと、メディア外に印刷されることがあります。メディア外に印刷すると、本機の内部がインクで汚れます。
斜行エラー検出	オン*	メディアが斜めにセットされたときに、操作パネルの画面にエラーを表示して印刷を中止する（[オン]）/中止せずに続行する（[オフ]）を選択します。斜めにセットされると、メディア詰まりの原因となりますので、通常は[オン]で使用することをお勧めします。
	オフ	

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値	説明
ページ間ノズルチェックパターン印刷		
オン		[オン] にすると設定したタイミングで定期的にノズルチェックパターンを印刷します。印刷終了後にチェックパターンを目視で確認することで、チェックパターン前後の印刷にスジやムラがないかを判断します。 [印刷長]、[ページ数]、[印刷時間] のいずれかを選択し、チェックパターンを印刷するタイミングを設定します。
実行タイミング		
印刷長	1~9999 m	
ページ数	1~9999 ページ (99 ページ*)	
印刷時間	1~9999 分 (99 分*)	
オフ*		
メディア情報印刷		
メディア残量情報	オン	メディアの取り外しや交換時に、メディア残量などの情報を印刷します。 [メディア残量情報] を [オン] にすると、カット位置より未使用側に残量を印刷します。以下の情報を印刷します。メディア残量情報を印刷する場合は、[メディア設定] の [残量管理] を [オン] にしてください。
	オフ*	
		<ul style="list-style-type: none"> Model: 本機の機種名 Serial No.: 本機のシリアル番号 Print Date: 印刷した日時 Bank No.: 印刷時のメディア番号 Media Type: 印刷時のメディア番号に登録されているメディアタイプ Media Width: 自動検出したメディア幅値 Remaining Amount: メディア残量
カット設定		
自動カット	オン	メディアを 1 ページ印刷するごとに内蔵カッターで自動的にカットする ([オン]) / しない ([オフ]) を選択します。
	オフ*	
ページごとカットを待つ	オン	複数ページを印刷するときに、カット後に印刷を開始するか、カットを待たずに印刷を開始するか選択します。 [オン] にすると、自動でジョブ間に印刷を一時停止してカットが完了するまで待たせることができます。連続したジョブで印刷する場合に、ジョブの切れ目ごとにカットしたいときに便利です。
	オフ*	
特殊メニュー	ノズルよれの解消	本設定は、エプソンソリューションセンターまたはサービス・サポート担当から指示されたとき以外は使用しないでください。 指示なく使用すると、印刷品質や製品寿命に影響を与えるおそれがあります。
初期設定に戻す	ネットワーク設定	[ネットワーク設定] を選択すると、ネットワーク設定メニューの [詳細設定] の内容をすべてメーカー設定値に戻します。 [全て初期化] を選択すると、メニューの全設定をメーカー設定値に戻します。
	全て初期化	

設定項目	設定値	説明
メンテナンス設定		
ノズル抜け判定と自動クリーニング		本機は、印刷前や印刷中にプリントヘッドのノズルの目詰まり状態を自動で確認します。確認の結果、インクの吐出量が一定以下になり印刷品質を正常に保てないノズルを目詰まりノズルとして検出します。ここでは、目詰まりノズルが検出されたときに実施するメンテナンスに関する設定を行います。本設定は、以下に適用されます。
ノズル抜け判定閾値	ホワイト カラー	<ul style="list-style-type: none"> 印刷前や印刷中に自動で行うノズルの目詰まり確認 おまかせクリーニング（[印刷時のノズル抜け判定] の設定を除く） <p>[ノズル抜け判定閾値] :</p> <p>目詰まりノズルが何本に達したらメンテナンスを実施するかを設定します。</p> <p>ホワイトとカラーで別々に判定閾値を以下のように設定できます。</p> <ul style="list-style-type: none"> [ホワイト] : 1 ~ 1600 (メーカー設定値は 9) [カラー] : 1 ~ 1600 (メーカー設定値は 4)
印刷時のノズル抜け判定	判定タイミング 指定の間隔ごと*	<p>[印刷時のノズル抜け判定] :</p> <ul style="list-style-type: none"> [判定タイミング] : 印刷前、印刷中にプリントヘッドのノズルの目詰まり状態の確認をどのタイミングで実施するかを設定します。[ジョブ間] または [指定の間隔ごと] を選択します。[指定の間隔ごと] は 0.1 ~ 15.0 m (メーカー設定値は 0.5 m) で設定できます。 [閾値超過時の動作] : 印刷前、印刷中に [ノズル抜け判定閾値] で設定した本数以上の目詰まりノズルを検出したときの動作を設定します。 <p>[印刷停止] は、操作パネルの画面に [自動ノズルメンテナンスで判定閾値を超えるノズルの目詰まりを検出しました。印刷品質が低下することがあります。] というメッセージを表示し、印刷を中断して待機します。</p> <p>[通知のみ] は、操作パネルの画面に上記のメッセージが表示されますが、印刷を中断せずに継続します。</p> <p>[自動クリーニング] は、印刷開始前または印刷中に自動でクリーニングを実施します。</p>
自動クリーニングの最大リトライ回数	0~2 (0*)	<p>[自動クリーニングの最大リトライ回数] :</p> <p>一度のクリーニングでノズルの目詰まりが解決されなかった場合にクリーニングを繰り返し行う回数を設定します。</p>
定期クリーニング	オン	<p>[オン] にすると、[実行タイミング] の [印刷時間]、[ページ数]、[印刷長] のどれかで設定した頻度で、クリーニングを実施します。このとき、[クリーニングレベル] で設定したレベルでクリーニングを実施します。</p>
実行タイミング	印刷時間 ページ数 印刷長	
クリーニングレベル	弱* 中	
オフ*		
電源投入後クリーニング	オン* オフ	プリントヘッドのノズルを最適な状態に保つために本機が自動で行うクリーニングを電源投入時に実施するかどうかを設定します。

操作パネルのメニュー

設定項目	設定値	説明
ネットワーク設定		
ネットワーク情報	有線接続状態	【詳細設定】で設定されている個々の情報を一括して確認できます。 【ステータスシート印刷】を選択すると一覧が印刷されます。
	ステータスシート印刷	
詳細設定		
デバイス名		ネットワークの個々の設定をします。
TCP/IP	自動設定	ネットワークの個々の設定をします。
	手動設定	
プロキシサーバー	使用しない	
	使用する	
IPv6 アドレス	有効*	
	無効	
Link Speed & Duplex	自動*	
	100BASE-TX Auto	
	10BASE-T Half Duplex	
	10BASE-T Full Duplex	
	100BASE-TX Half Duplex	
	100BASE-TX Full Duplex	
HTTP を HTTPS にリダイレクト	有効*	有効化の設定は、内蔵ソフトウェアの Web Config で行います。 ここでは無効化に切り替えることだけができます。 Web Config の起動方法は以下をご覧ください。 「Web Config の使い方」27 ページ
	無効	
IPsec/IP フィルタリングの無効化		有効化の設定は、内蔵ソフトウェアの Web Config で行います。 ここでは無効化に切り替えることだけができます。 Web Config の起動方法は以下をご覧ください。 「Web Config の使い方」27 ページ
IEEE802.1X の無効化		

メディア設定メニュー

*はメーカー設定値です。

設定項目	設定値	説明
現在の設定		
メディア	01 XXXXXXXXXX～10 XXXXXXXXXX	使用するメディア設定を選択します。XXXXXXXには登録した名称が表示されます。
メディアタイプ		現在選択しているメディアタイプが表示されています。
メディア幅		[メディア検出] の項目を設定します。
高度な設定		現在 [メディア] で選択している登録メディアの [高度な設定] を変更できます。 設定内容は、以下をご覧ください。 ☞「登録メディア管理の項目」77ページ
印刷調整		
メディア送り調整	手動（標準） 手動（実測）	印刷結果にパンディングや粒状感が見られるときに行います。 詳細は以下をご覧ください。 ☞「メディア設定の最適化（プリントヘッドの位置調整・メディア送り調整）」37ページ
登録メディア管理		
01 XXXXXXXXXX～10 XXXXXXXXXX		登録されているメディア設定の内容を変更します。 ☞「登録メディア管理の項目」77ページ [メディア設定] の右端にある  部分を押すと、選択中の設定内容を別のメディア設定番号にコピーしたり、設定内容を全て初期化したりできます。
残量管理		
残量管理	オン オフ*	[オン] を選択すると [残量] 、 [残量警告] が設定できるようになります。各項目を設定して残量管理を行うとメディア交換時期が把握しやすくなります。 [オン] にした以降は、メディアをセットすると登録メディアの設定番号の選択に続いてメディア長さ（残量）の入力が求められます。
残量	1.0～9999.9 m (100.0 m*)	セットしているメディアの全長を設定します。設定は 0.1 m 単位で行えます。ここで設定した長さと印刷した長さからメディア残量が見積もられ、ホーム画面（状態表示）に表示されます。
残量警告	1.0～999.5 m (5.0 m*)	メディアの残量がどのくらいになったら警告のメッセージを表示するか、その値を設定します。設定は 0.1 m 単位で行えます。

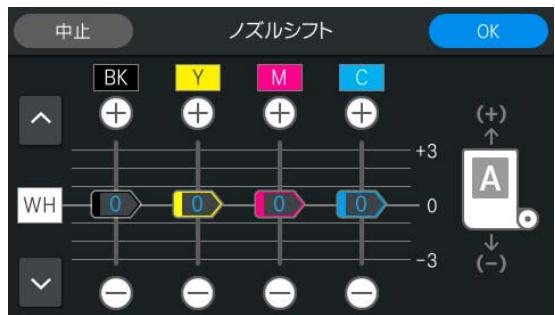
登録メディア管理の項目

メディアセット時にメディアタイプを選択するか、付属の Epson Edge Print PRO や Epson Edge Dashboard で EMX ファイルをダウンロードして本機にメディア設定値を登録したときは、使用メディアに適したメディア設定値が設定されていますので、通常はそのままお使いください。特殊なメディアを使用するときや、印刷結果にヘッドこすれやバンディングのような問題が見られるときなどに設定を変更します。

設定項目	設定値	説明
登録名称の変更		保存するメディア設定に、20 文字以内で名前を付けられます。区別しやすい名前を付けると、選択時に判別しやすくなります。
メディアタイプ	フィルム	セットしたメディアに応じたメディアタイプを選択します。 本機は、メディアタイプに応じた最適なメディア設定値を保持しています。
	紙/その他	
高度な設定		
バスごとの乾燥時間	0.0~5.0 秒 (0.7*)	1 パス印刷後にインクが乾燥するまでメディア送りを停止する時間を 0.0 ~ 5.0 秒の範囲で設定します。インク濃度やメディアによっては、インクが乾燥しにくいことがあります。印刷結果にインク垂れやにじみが起きるときは、乾燥時間を長めに設定してください。時間を長く設定するほど、印刷時間は長くなります。
搬送テンション	Lv1~Lv5 (Lv3*)	通常は各メディアタイプで設定されている値のまま使用します。印刷中にメディアにしわが寄るときには、テンションを高めるように設定を変更してください。設定値を大きくするほどテンションが高くなります。
吸着力	Lv0~Lv6 (Lv5*)	プラテンがメディアを吸着する強度を設定します。設定値が大きいほど吸着力が強くなります。 通常は各メディアタイプで設定されている値のまま使用します。プラテン上でメディアが波打っているときには、設定値を大きくしてください。 薄いメディアや柔らかいメディアで、印刷結果に粒状感やピントのズレが見られたり、正しくメディアが搬送できないと感じたりするときには設定値を小さくしてください。
斜め給紙軽減	オン*	メディアセット時に本機が行うメディアの斜行（斜め給紙）を軽減させるための補正動作を行う（[オン]）/行わない（[オフ]）を選択します。通常は「[オン]」のまま使用します。斜め給紙軽減動作によりメディアにローラーの跡が付くときは「[オフ]」に設定します。
	オフ	
ムラ低減調整	オフ*	通常は、「[オフ]」のまま使用します。 印刷結果に縦や斜め方向の濃淡ムラが発生したときに設定すると、ムラが目立たなくなることがあります。
	弱	
	中	
	強	

プリンターのお手入れメニュー

設定項目	説明
プリントヘッドのノズルチェック	パターンを印刷してプリントヘッドのノズルの状態を確認します。印刷したチェックパターンを目視で確認し、欠けがあるときは、[プリントヘッドのクリーニング]を行います。 詳細は、以下をご覧ください。 「ノズルの目詰まりの解消」58 ページ
プリントヘッドのクリーニング	
おまかせクリーニング	本機が自動でノズルの目詰まりを確認して最適な強度のクリーニングを行います。実施後も目詰まりが解消されないときは、[クリーニング(弱)]、[クリーニング(中)]、[クリーニング(強)]の順に、目詰まりが解消されるまで実施してください。
クリーニング(弱)	プリントヘッドのクリーニングのレベルを、3種類から設定できます。
列を選択	最初は、[クリーニング(弱)]を行います。実施後も、目詰まりが解消されないときは、[クリーニング(中)]、続いて[クリーニング(強)]を実施してください。
全ての列	印刷されたチェックパターンでかすれや欠けがあるパターンの番号を確認し、全列またはノズル列を指定してクリーニングできます。
クリーニング(中)	「プリントヘッドのクリーニング」59 ページ
列を選択	
全ての列	
クリーニング(強)	
列を選択	
全ての列	
メンテナンスパーツ交換	操作パネルの画面にメンテナンスパーツの交換時期を示すメッセージが表示される前に交換するときは、このメニューから行います。
	ヘッドクリーニングセット
	廃インクボトル
部品清掃	プリントヘッド周辺の清掃は必ずこのメニューから行ってください。また、操作パネルの画面に清掃時期を示すメッセージが表示される前に吸引キャップを清掃するときにもこのメニューから行ってください。 プリントヘッドがメンテナンス位置に移動しない状態では正しく清掃できません。
ノズルリフレッシュ	ホワイトインクが正常に吐出されないときにこのメニューを選択してノズル面を清掃します。ノズルの目詰まりを確認してから行ってください。 「印刷結果の文字がぼやける/下地の白がはみ出る/塗りつぶしの横スジやムラが目立つときの対処方法」87 ページ
カッター交換	カッターの交換を開始します。交換時の注意などは、以下をご覧ください。 「カッターの交換」57 ページ

設定項目	説明
ノズルシフト	<p>特定のインク色の縦方向の印刷位置のズレを補正します。本設定を変更すると以降全ての印刷結果に影響があります。以下のような印刷不具合が見られるときにのみ調整を行ってください。</p> <ul style="list-style-type: none"> 白色の版ズレが見られるとき メディアが見えるとき  <p>調整方法は、ホワイトとその他のインク色で以下のように異なります。</p> <p>ホワイト (WH) : 画面左側にある ▲ / ▼ を押して調整を行います。WH の調整では、押したボタンと逆方向に 4 色全てのスライダーが動きます。（例:WH で ▲ を 1 回押すと、4 色全てのスライダーが全て -1 になります。）画面右上の [OK] を押すと調整結果が反映されます。</p> <p>その他のインク色: 各色のスライダー上下にある + / - を押して調整を行います。調整範囲は 3 から -3 の間です。画面右上の [OK] を押すと調整結果が反映されます。</p> <p>調整後は不具合が見られた画像を再度印刷し、調整結果が適切か確認してください。</p> <p>調整実施時には、以下も合わせてご覧ください。</p> <p>☞ 「画像全体に白色の版ズレが見られる」 94 ページ ☞ 「文字と背景がずれる」 95 ページ</p>
長期保管	<p>本機を 2 週間以上使用しない（電源を切る）ときは、事前に必ず実施してください。</p> <p>詳細は以下をご覧ください。</p> <p>☞ 「長期間使用しないときの事前メンテナンス」 60 ページ</p>

消耗品情報メニュー

各消耗品の消耗度と型番を表示します。

☞ 「消耗品とオプション」 98 ページ

交換部品情報メニュー

設定項目	説明
インクダンパユニット	
インク供給ユニット(左)	交換するときは、お買い求めの販売店またはエプソンソリューションコールセンターに連絡してください。 エプソンソリューションコールセンターの連絡先 ☞ 「お問い合わせ先」 107 ページ
インク供給ユニット(右)	
ポンプキャップユニット	
エアユニット	
インクチューブ	
循環ポンプユニット	
乾燥防止キャップユニット	

情報確認メニュー

設定項目	説明
ファームウェアバージョン	
プリンター名	選択した情報の表示を行います。 本機に付属の Epson Edge Dashboard でプリンター名を設定したときは、[プリンター名] にその名称が表示されます。
フェータルエラー履歴	
稼働実績	総印刷面積 総メディア送り量 総キャリッジパス数

困ったときは

メッセージが表示されたとき

以下のメッセージが表示されたら、対処方法の記載を確認し必要な処置をしてください。

メッセージ	対処方法
<p>ノズルの状態を検査できませんでした。 [おまかせクリーニング] は実行できません。 クリーニングの強度を選択し、実行してください。</p>	<p>本機の動作保証温度を越えています。室内温度を調節し、使用を再開してください。</p> <p>☞ 「仕様一覧」103 ページ</p>
<p>カッターの交換をお勧めします。 詳しくはマニュアルをご覧ください。</p>	<p>カッターが消耗しています。カッターを交換してください。</p> <p>☞ 「カッターの交換」57 ページ</p>
<p>取り外したインクパックは、マニュアルをご覧になりインク供給孔部を清掃してから保管してください。</p>	<p>詳細は以下をご覧ください。</p> <p>☞ 「事前メンテナンスの方法」60 ページ</p>
<p>ご利用のネットワークとプリンターの接続環境が不安定です。 IEEE802.3az(省電力イーサネット)機能を[オフ]にすると解決できる可能性があります。 詳しくはマニュアルをご覧ください。</p>	<p>IEEE802.3az の機能が [オン] の時、お客様環境とのマッチングでネットワーク接続状態が不安定になり印刷ができなくなることがあります。 [OK] を押して印刷を終了します。 以下をご覧になり、WebConfig を使って IEEE802.3az の機能を [オフ] にしてください。</p> <p>☞ 「IEEE802.3az の設定手順」83 ページ</p>
<p>アドレスとサブネットマスクの組み合わせが有効ではありません。 詳しくはマニュアルをご覧ください。</p>	<p>IP アドレス、またはデフォルトゲートウェイに正しい値を入力してください。 正しい値が分からぬときは、ネットワーク管理者に確認してください。</p>
<p>Recovery Mode</p>	<p>ファームウェアのアップデートに失敗したため、リカバリーモードで起動しました。以下の手順でもう一度ファームウェアをアップデートしてください。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1.コンピューターとプリンターを USB 接続します（リカバリーモード中のアップデートは、ネットワーク接続ではできません）。 2.エプソンのウェブサイトから最新のファームウェアをダウンロードしてアップデートを開始します。 詳しくはダウンロードページの「ソフトウェア詳細情報」をご覧ください。

メンテナンスコール/プリンターエラーが発生したときは

エラーメッセージ	対処方法
メンテナンスコール:部品寿命間近 XXXXXXX	本機の交換部品の交換時期が近付きました。 すぐにお買い求めの販売店またはエプソンソリューションコールセンターに連絡してください。連絡の際には、「XXXXXXX」（メンテナンスコール番号）を必ず伝えてください。
メンテナンスコール:部品寿命到達 XXXXXXX	エプソンソリューションコールセンターの連絡先 「お問い合わせ先」107 ページ メンテナンスコールは部品を交換しないと解除されません。そのまま使い続けると、プリンターエラーが発生します。
部品を交換する必要があります。 エプソンサービスコールセンターにご相談ください。 詳しくはマニュアルをご覧ください。 XXXXXX	プリンターエラーは以下の場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> 電源コードが正しく接続されていないとき 解除できないエラーが発生したとき <p>プリンターエラーが発生すると、本機は自動的に印刷を停止します。電源を切り、電源コードをコンセントと本機の電源コネクターから抜いて、接続し直します。本機の電源を数回入れ直します。 再び同じ番号のプリンターエラーが表示されるときは、お買い求めの販売店またはエプソンソリューションコールセンターに連絡してください。連絡の際には、「XXXXXX」（プリンターエラー番号）を必ず伝えてください。 エプソンソリューションコールセンターの連絡先 「お問い合わせ先」107 ページ</p>
プリンターエラーが発生しました。 電源を入れ直してください。 詳しくはマニュアルをご覧ください。 XXXXXX	プリンターエラーは以下の場合に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> 電源コードが正しく接続されていないとき 解除できないエラーが発生したとき <p>プリンターエラーが発生すると、本機は自動的に印刷を停止します。電源を切り、電源コードをコンセントと本機の電源コネクターから抜いて、接続し直します。本機の電源を数回入れ直します。 再び同じ番号のプリンターエラーが表示されるときは、お買い求めの販売店またはエプソンソリューションコールセンターに連絡してください。連絡の際には、「XXXXXX」（プリンターエラー番号）を必ず伝えてください。 エプソンソリューションコールセンターの連絡先 「お問い合わせ先」107 ページ</p>

トラブルシューティング

印刷できない（プリンターが動かない）

電源が入らない

- **電源プラグがコンセントまたは本機から抜けていませんか？**
差し込みが浅くないか、斜めになつてないかを確認し、しっかりと差し込んでください。
- **コンセントに問題がありませんか？**
ほかの電気製品の電源プラグを差し込んで、動作するかどうか確かめてください。

プリンターとコンピューターの接続に異常がある

- **ケーブルが外れていませんか？**
プリンター側のポートとコンピューター側のコネクターにインターフェイスケーブルがしっかりと接続されているか確認してください。また、ケーブルが断線していないか、変に曲がっていないか確認してください。予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください。
- **インターフェイス ケーブルは必要な仕様を満たしていますか？**
仕様一覧のインターフェイスの欄を確認してください。
☞ [「仕様一覧」103 ページ](#)
- **USB ハブを使用している場合、使い方は正しいですか？**
USB は仕様上、USB ハブを 5 段まで縦列接続できますが、本機はコンピューターに直接接続された 1 段目の USB ハブに接続することをお勧めします。お使いのハブによっては動作が不安定になることがあります。動作が不安定なときは、コンピューターの USB コネクターに USB ケーブルを直接接続してください。
- **USB ハブが正しく認識されていますか？**
コンピューターで USB ハブが正しく認識されているか確認してください。正しく認識されている場合は、コンピューターの USB ポートから、USB ハブを全て外してから、本機の USB ポートとコンピューターの USB ポートを直接接続してみてください。USB ハブの動作に関しては、USB ハブのメーカーにお問い合わせください。

ネットワーク環境下で印刷ができない

- **ネットワークの設定は正しいですか？**
ネットワークの設定については、ネットワークの管理者にお問い合わせください。
- **本機とコンピューターを USB 接続して、印刷してみてください。**
USB の接続で印刷ができるのであれば、ネットワークの設定に問題があります。システム管理者に相談するか、お使いのシステムのマニュアルをご覧ください。USB 接続で印刷ができないときは、本書の該当項目をご覧ください。
- **ネットワーク接続状態が不安定ではありませんか？**
ルーターの電源を切り、10 秒くらい待ってから、電源を入れてください。
- **IEEE802.3az (省電力イーサネット) に対応した機器を使って有線 LAN 接続していませんか？**
IEEE802.3az (Energy Efficient Ethernet、省電力イーサネット) に対応した機器で有線 LAN 接続していると、接続が不安定になったり、接続が切れたり、通信速度が遅くなったりすることがあります。
以降の手順で、プリンターの IEEE802.3az を無効にして接続してください。

IEEE802.3az の設定手順

- 1 コンピューターとプリンターそれぞれにつながっている LAN ケーブルを外します。
- 2 コンピューターの IEEE802.3az が有効になっている場合は、無効にします。
- 3 LAN ケーブルでコンピューターとプリンターを直接接続します。
- 4  を押し、[本体設定] - [ネットワーク設定] - [詳細設定] - [TCP/IP] の順に押して本機の IP アドレスを確認します。
- 5 コンピューターで、Web Config を起動します。Web ブラウザを起動し、プリンターの IP アドレスを入力してください。

6 管理者権限でログオンします。

ログオン方法 [「Web Config の使い方」27 ページ](#)

7 [ネットワーク設定] タブ - [有線 LAN] の順に選択します。

8 [IEEE 802.3az] を [オフ] にします。

9 [次へ] をクリックします。

10 [設定] をクリックします。

11 コンピューターとプリンターを直接接続した LAN ケーブルを外します。

12 手順 2 でコンピューターの IEEE802.3az を無効にした場合は、有効にします。

13 手順 1 で外した LAN ケーブルをコンピューターとプリンターにつなぎます。

上記の手順をしてもこの現象が発生する場合は、プリンター以外の機器が原因となっている可能性があります。

プリンター側でエラーが発生している

■ **操作パネルの画面のメッセージで確認します。**

[「操作パネル」13 ページ](#)

[「メッセージが表示されたとき」81 ページ](#)

プリンターは動くが印刷されない

プリントヘッドは動くが印刷しない

■ **本機の動作確認をしてください。**

ノズルチェックパターンを印刷してください。ノズルチェックパターンはコンピューターと接続していない状態で印刷できるため、本機の動作や印刷状態を確認できます。[「ノズルの目詰まりの解消」58 ページ](#)
ノズルチェックパターンが正しく印刷されなかったときは、次項をご確認ください。

■ **操作パネルの画面に [モーター自動調整中] というメッセージが表示されていますか？**

内部のモーターを調整していますので、電源を切らずにそのままお待ちください。

ノズルチェックパターンが正常に印刷できない

■ **本機を長期間使用していなかったのではありませんか？**

本機を長期間使用しないでいると、プリントヘッドのノズルが乾燥して目詰まりを起こすことがあります。
本機を長期間使用しなかったときの処置 [「使用しないときのご注意」20 ページ](#)

上記に当てはまることがあります、ノズルが目詰まりしているおそれがあります。以下の順に対処を行ってください。

1. プリントヘッドのクリーニングの実施

以下をご覧になり、プリントヘッドのクリーニングを実施してノズルの目詰まりが解消されたか確認してください。

[「プリントヘッドのクリーニング」59 ページ](#)



2. プリントヘッド周辺の清掃の実施

以下をご覧になり、プリントヘッドの周辺を清掃してください。清掃終了後は、再度プリントヘッドのクリーニングを実施してノズルの目詰まりが解消されたか確認してください。

[「プリントヘッド周辺の清掃」48 ページ](#)



3. 吸引キャップ周辺の清掃の実施

以下をご覧になり、吸引キャップの周辺を清掃してください。清掃終了後は、再度プリントヘッドのクリーニングを実施してノズルの目詰まりが解消されたか確認してください。

[「吸引キャップ周辺の清掃」49 ページ](#)



4. 1～3 の対処を実施しても問題が解消されないとき

お問い合わせの販売店またはエプソンソリューションコールセンターに連絡してください。

☞ 「お問い合わせ先」 107 ページ

印刷品質/印刷結果のトラブル

印刷品質が悪い/ムラがある/薄い/濃い

■ プリントヘッドのノズルが目詰まりしていませんか？

プリントヘッドが目詰まりを起こしていると、特定の色が出なくなり印刷品質が悪くなります。ノズルチェックパターンを印刷してみてください。ノズルチェックパターンが正常に印刷できないときは、以下をご覧になり対処を行ってください。

☞ 「ノズルチェックパターンが正常に印刷できない」 84 ページ

■ プリントヘッドの位置調整をしましたか？

双方向印刷では、プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷します。このとき、プリントヘッドのズレ（ギャップ）により、墨線がずれて印刷されることがあります。双方印刷をしていて縦の墨線がずれるときは、プリントヘッドの位置調整をしてください。

☞ 「プリントヘッドの位置調整」 38 ページ

■ インクパックは推奨品（当社純正品）を使用していますか？

本機は、純正インクパックの使用を前提に設計されています。指定以外のインクパックを使用すると、印刷品質に悪影響が出ることがあります。

本書で指定した純正インクパックを使用することをお勧めします。

■ 古くなったインクパックを使用していますか？

古くなったインクパックを使用すると、印刷品質が悪くなります。新しいインクパックを使用してください。インクは、インクパックに記載の推奨使用期限までに使い切ってください。

■ メディア選択は正しいですか？

ソフトウェア RIP の設定または本機のメディア選択が実際に印刷するメディアと合っているか確認してください。

■ ディスプレイの表示と印刷結果を比較していませんか？

ディスプレイ表示とプリンターで印刷したときの色とでは、発色方法が違うため、色合いに差異が生じます。

■ 印刷中にプリンターカバーを開けませんでしたか？

印刷中にプリンターカバーを開けると、プリントヘッドが緊急停止するため色ムラが発生します。印刷中はプリンターカバーを開けないでください。

■ インクパックを振りましたか？

本機のインクパックは、顔料インクを使用しています。本機に装着する前によく振ってください。また、良好な印刷品質を得るために、装着したインクパックは、ホワイトインクは始業時および 24 時間（メッセージ表示時）に一度、その他のインクは 3 週間に一度取り出して、よく振ることをお勧めします。

☞ 「インクパックの定期かくはん」 52 ページ

■ 操作パネルの画面に【インクが少なくなりました。】と表示されていますか？

インクが少なくなると、印刷品質に影響が出ることがあります。新しいインクパックに交換することをお勧めします。インクパックを交換しても色味が合わないときは、プリントヘッドのクリーニングを数回実施してください。

■ 湿度が高い環境で印刷していませんか？

湿度が高い環境で印刷すると、メディア表面が吸湿してスジが発生することがあります。部屋の湿度が高いときは、湿度を推奨の 40~60 %まで下げて印刷してください。

印刷位置がずれる/はみ出す

■ 印刷範囲を指定していますか？

アプリケーションソフトやプリンターの設定で印刷範囲の確認をしてください。

■ メディアが斜行していませんか？

本体設定メニューの【斜行エラー検出】が【オフ】になっているとメディアが斜行していても印刷してしまい、印刷領域からはみ出します。本体設定メニューで【斜行エラー検出】を【オン】に設定してください。

☞ 「本体設定メニュー」 68 ページ

■ **印刷データはメディア幅に納まっていますか？**

印刷イメージがメディア幅より大きい場合、通常は印刷が停止しますが、本体設定メニューの【メディア幅自動検出】が【オフ】になっているとメディア外に印刷されることがあります。メディア外に印刷すると、本機の内部がインクで汚れます。

変更した設定は、メディアをセットし直すと反映されます。

☞ [「本体設定メニュー」68 ページ](#)

■ **プラテンの右端が白く汚れている可能性があります。**

プラテンが白く汚れているとメディア位置やメディア幅を正しく検出できません。右端のプラテンの汚れを清掃してください。

【プリンターのお手入れ】 - 【部品清掃】 - 【ヘッド周辺】を実施すると、プリントヘッドが移動し、右端のプラテンが清掃できます。プリントヘッド周辺の清掃をする必要はありません。

☞ [「プリントヘッド周辺の清掃」48 ページ](#)

罫線が左右にガタガタになる

■ **プリントヘッドにズレ（ギャップ）が生じていませんか？（双方向印刷時）**

双方向印刷では、プリントヘッドが左右どちらに移動するときも印刷します。このとき、プリントヘッドのズレ（ギャップ）により、罫線がずれて印刷されることがあります。双方向印刷をしていて縦の罫線がずれるときは、プリントヘッドの位置調整をしてください。

☞ [「プリントヘッドの位置調整」38 ページ](#)

印刷面がこする/汚れる

■ **メディアが厚すぎたり、薄すぎたりしませんか？**

本機で使用できる仕様のメディアかどうかを確認してください。ソフトウェア RIP を使用して印刷するときのメディアの種類や適切な設定に関する情報は、RIP の製造元にお問い合わせください。

■ **メディアにしわや折り目がありますか？**

古いメディアや折り目のあるメディアは使用しないでください。新しいメディアを使用してください。

■ **プリントヘッドがメディアの先端をこすっていますか？**

プリンター設定メニューの【先端余白】を多めに設定してください。

☞ [「本体設定メニュー」68 ページ](#)

■ **メディアの後端がこすれていませんか？**

印刷データの内容によっては印刷面の後端がこすれてキズが残ることがあります。このようなときは、メディア設定メニューの【ページごとの乾燥時間】の設定を長めにしたり、プリンター設定メニューの【ページ間余白】を大きくしたり、RIP で印刷データの後端に余白を付けてください。

☞ [「メディア設定メニュー」76 ページ](#)

☞ [「本体設定メニュー」68 ページ](#)

☞ [「印刷可能領域」42 ページ](#)

■ **プリンターの内部が汚れていませんか？**

ローラーに汚れが付いた可能性があります。ローラーを清掃してください。

☞ [「プラテンを清掃しても印刷面に汚れが付くとき」51 ページ](#)

■ **吸引キャップが汚れていませんか？**

吸引キャップの周りにインクの塊やホコリなどが付いているとインクが垂れて汚れることがあります。キャップを清掃してください。

☞ [「吸引キャップ周辺の清掃」49 ページ](#)

■ **プリントヘッド周辺の清掃をしてみてください。**

キャップの清掃をしても印刷面が汚れるときは、プリントヘッドのノズル周辺にホコリが堆積している可能性があります。プリントヘッド周辺の清掃をしてください。

☞ [「プリントヘッド周辺の清掃」48 ページ](#)

印刷したメディアの裏側が汚れる

■ **メニューのメディア幅自動検出をオンに設定してください**

印刷イメージがメディア幅より大きいと、通常は印刷が停止しますが、本体設定メニューの【メディア幅自動検出】が【オフ】になっているとメディア外に印刷されることがあります。メディア外に印刷すると、本機の内部がインクで汚れます。

変更した設定は、メディアをセットし直すと反映されます。

☞ [「本体設定メニュー」68 ページ](#)

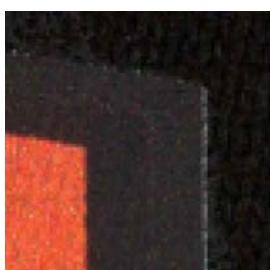
印刷結果の文字がぼやける/下地の白がはみ出る/塗りつぶしの横スジやムラが目立つときの対処方法

ノズルの目詰まりによって以下の印刷トラブルが発生する場合があります。

正常

7pt: 12345678
8pt: 1234567
9pt: 123456

正常



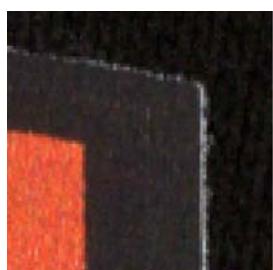
正常



ぼやけた状態

7pt: 12345678
8pt: 1234567
9pt: 123456

下地の白がはみ出た状態



ムラのある状態



これらの印刷結果が見られたら、原因確認のためノズルの目詰まりチェックを行ってください。
ノズルの目詰まりチェックや対処方法は YouTube から動画でご覧いただけます。

[動画マニュアル](#)

ノズルの目詰まりチェック

チェックパターンを印刷して、ノズルの目詰まりを確認します。ノズルの状況で対処方法は異なります。

1 印刷可能状態であることを確認して (プリンターのお手入れ) を押し、[プリントヘッドのノズルチェック] を押します。

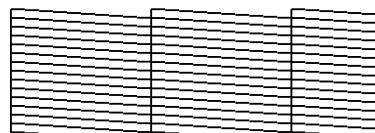
2 [開始] を押します。

ノズルチェックパターンが印刷されます。

3

印刷されたノズルチェックパターンを確認します。チェックパターンに従って、対処してください。対処は次の 3 つに分かれます。

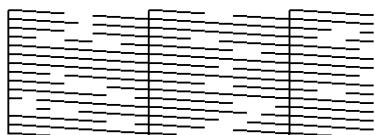
目詰まりしていないとき



ノズルは正常です。

[「印刷品質/印刷結果のトラブル」85 ページ](#)

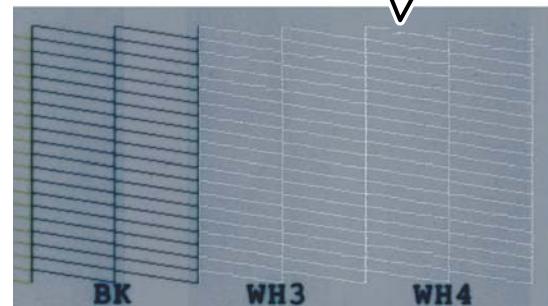
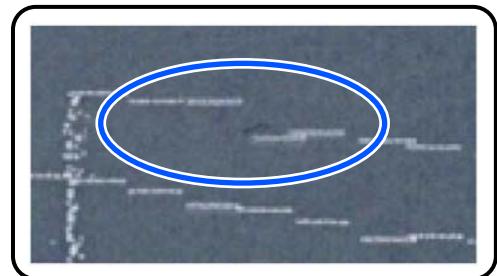
ノズルチェックパターンが欠けている



ノズルの目詰まりが発生しています。プリントヘッドのクリーニングを行ってください。

[「プリントヘッドのクリーニング」59 ページ](#)

ホワイトインクのノズルチェックパターンの線が上下にずれている



ホワイトインク (WH1、WH2、WH3、WH4) のノズルチェックパターンの線が上下にずれているときは、ホワイトインクが正常に吐出されていません。以下を参照して対処を行ってください。

[「ホワイトインクのノズルチェックパターンの線が上下にずれているときの対処方法」88 ページ](#)

ホワイトインクのノズルチェックパターンの線が上下にずれているときの対処方法

プリントヘッドのクリーニングを実施します。

 (プリンターのお手入れ) - [プリントヘッドのクリーニング] - [クリーニング (弱)] - [開始] を押します。

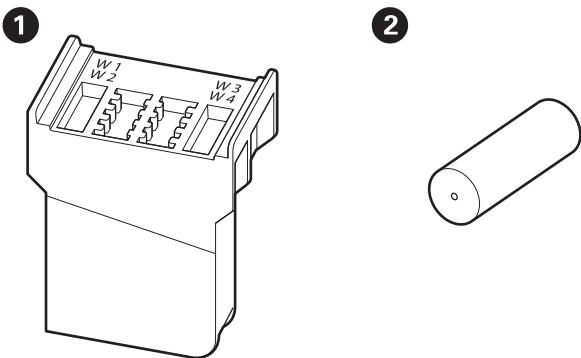
クリーニングが終了したら、ノズルチェックパターンを印刷してホワイトインクの吐出を再度確認します。正常にインクが吐出されていたときは、通常の作業を再開してください。

正常にインクが吐出されていないときは、付属のノズルリフレッシュツールでノズル面を清掃します。

ノズル面の清掃（ノズルリフレッシュ）

準備するもの

ノズルリフレッシュツール（本体付属）



- ① ホルダー
- ② スポンジ x 30
- ニトリル手袋（市販品）
- 保護メガネ（市販品）
- マスク（市販品）

！重要

破損したホルダーを使用しないでください。破損したままのホルダーを使用すると、プリントヘッド破損の原因になります。

清掃時のご注意

以下の注意点を守って作業を行ってください。

⚠ 注意

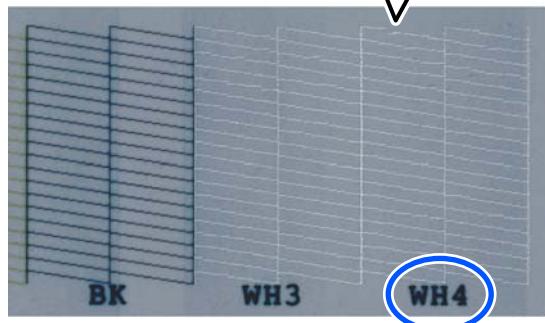
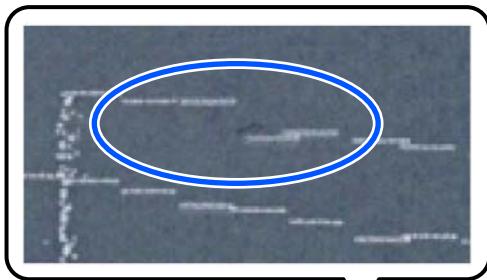
- ・メンテナンス作業をするときは、保護メガネ、手袋、マスクなどを着用してください。
- インクが皮膚に付着したときや目や口に入ったときは、以下の処置をしてください。
- ・皮膚に付着したときは、多量の石けん水で洗い流してください。皮膚に刺激を感じたり変化があるときは、医師の診断を受けてください。
- ・目に入ったときは、すぐに水で洗い流してください。そのまま放置すると目の充血や軽い炎症を起こすことがあります。異常があるときは、医師の診断を受けてください。
- ・口に入ったときは、速やかに医師に相談してください。
- ・飲み込んだときは、無理に吐かせずに速やかに医師に相談してください。無理に吐かせると、吐いたものが気管に入ることがあり危険です。

- ・清掃の対象箇所以外の部品やベルト類、基板には絶対に触らないでください。本機の故障や印刷品質低下の原因となります。
- ・スポンジは、毎回新品を使用してください。一度使用したものを再利用すると、かえって汚れが付着する原因となります。
- ・作業の前に金属製のものに触れて、作業者の静電気を逃がしてください。
- ・ノズルリフレッシュを頻繁に実施すると印字不良が発生するおそれがあります。

清掃方法

1 ノズルチェックパターンを確認します。

ノズルチェックパターンの線が上下にずれているノズル列を確認します。下図では、WH4 がずれている状態です。



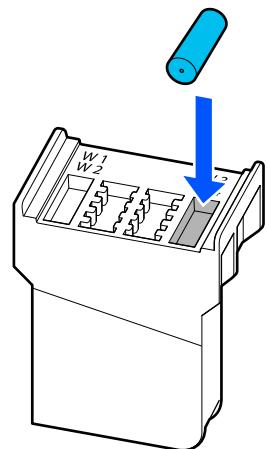
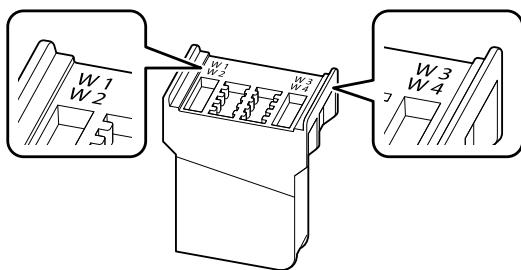
2 ホルダーにスポンジをセットします。

ノズルチェックパターンで WH1、WH2 の線がずれているときは、ホルダーの W1、W2 にスポンジをセットします。

ノズルチェックパターンで WH3、WH4 の線がずれているときは、ホルダーの W3、W4 にスポンジをセットします。

！重要

スポンジは 2 箇所同時にセットしないでください。2 箇所の清掃を行う場合は、1 箇所ずつ行ってください。

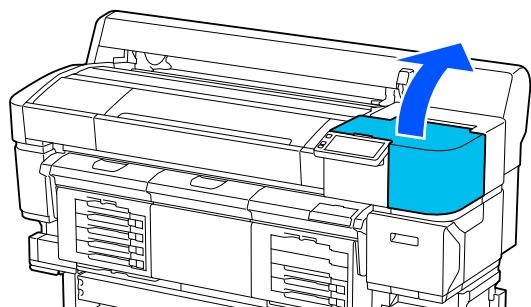


3 (プリンターのお手入れ) を押し、[ノズルリフレッシュ] を押します。

4 [開始] を押します。

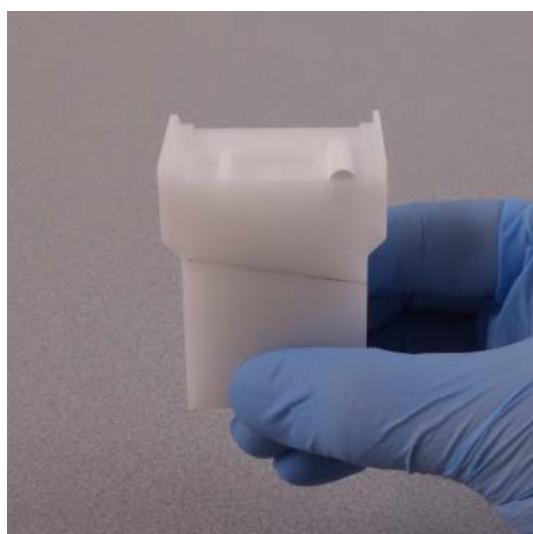
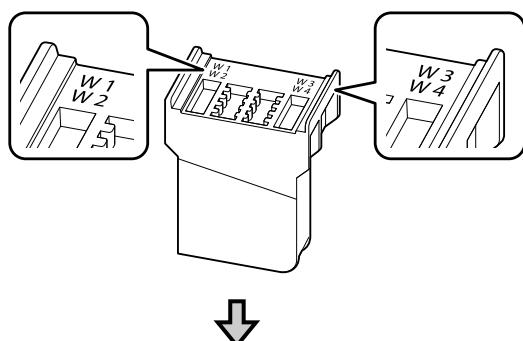
プリントヘッドが清掃位置まで移動します。

5 メンテナンスカバーを開けます。



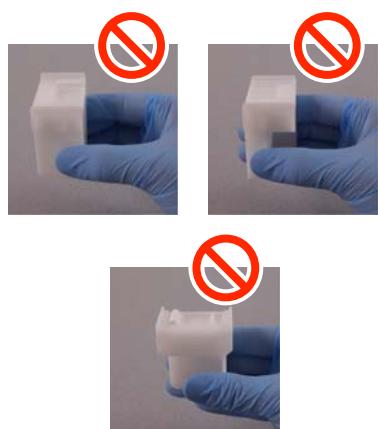
困ったときは

6 図のようにホルダーを右手で持ちます。

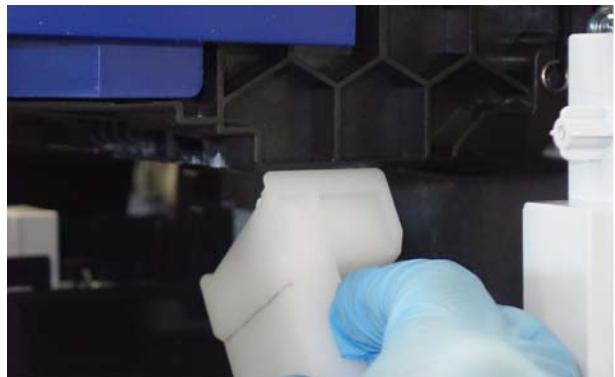
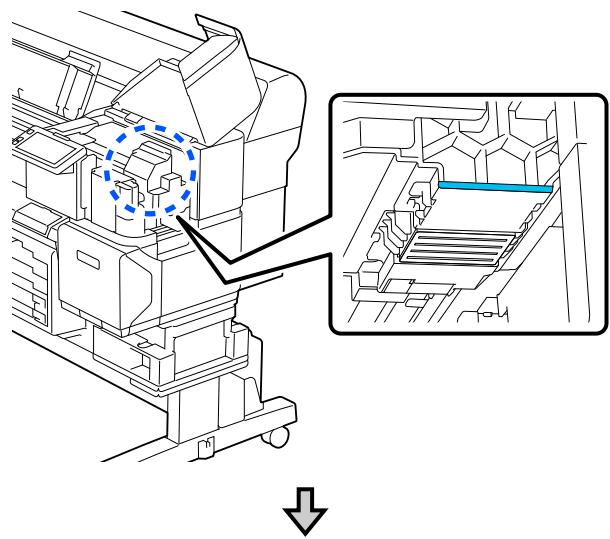


！重要

ホルダーを正しく持たないと、正しく清掃できなかったり、故障の原因になったりします。



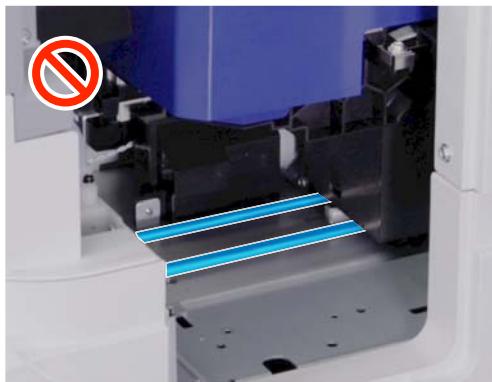
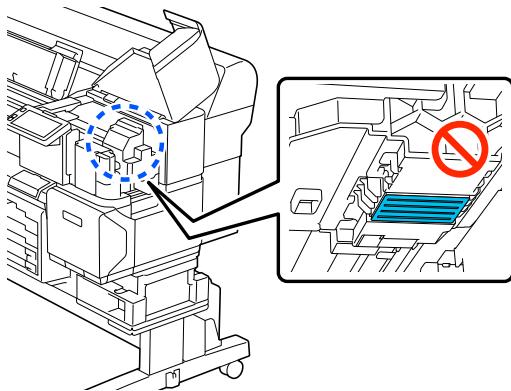
7 ノズル面側面とホルダーのエッジ（手前側）を合わせます。



困ったときは

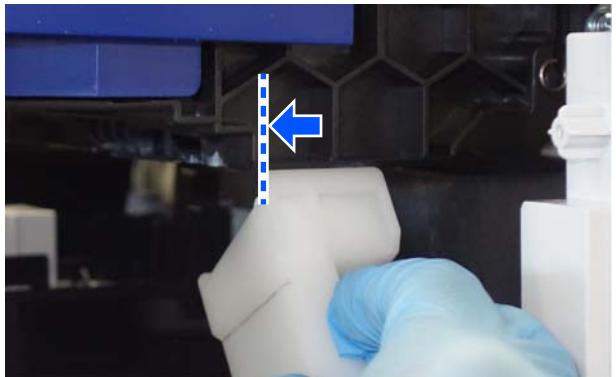
!重要

図の  部分に触れないでください。故障の原因になります。



8

ホルダーをノズル面の前面側にスライドさせ、図のように合わせます。



9

ホルダーがノズル面に触れないように、ホルダーの段差部分(A)とノズル面を水平にします。



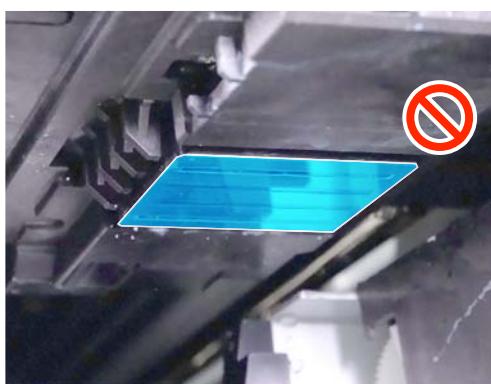
困ったときは

- 10 ホルダーを奥側に移動させ、ホルダーのエッジ（手前側）をノズル側面の溝に入れます。



！重要

ホルダーのエッジがノズル面に当たらないように注意してください。故障の原因になります。



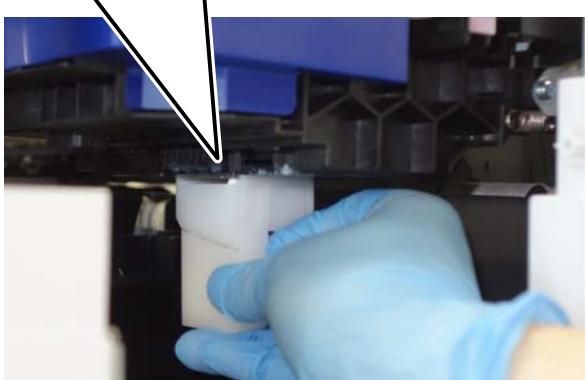
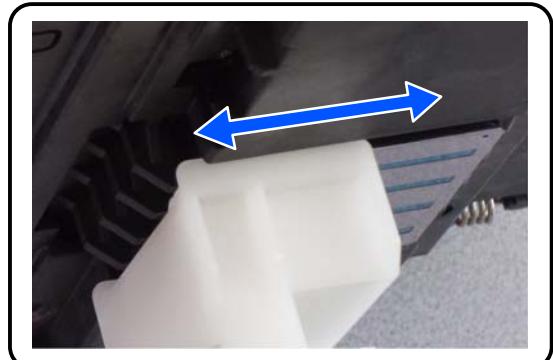
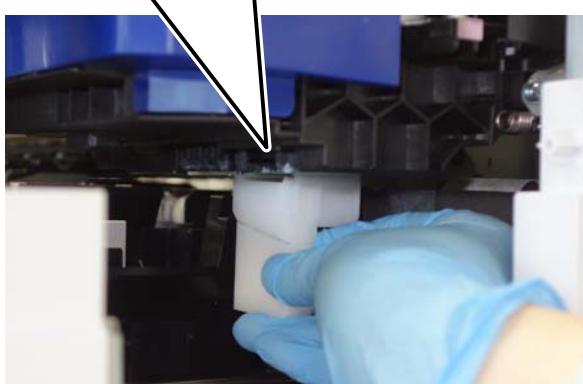
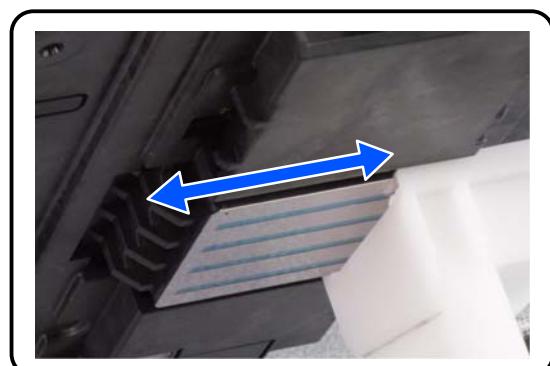
- 11 ホルダーのエッジ（奥側）をノズル側面の溝（奥側）に入れます。



- 12 ホルダーをノズル面に押し当てて、前後に 5 往復させます。

前側はスポンジがノズル面から出るまで、後ろ側は指がワイバーユニットに当たるまで動かします。

困ったときは



13 清掃が終了したら、プリンター内部に置き忘れたがないことを確認して、メンテナンスカバーを閉め、操作パネルの画面で【終了】を押します。

14 プリントヘッドのクリーニングを実施します。

☞ 「プリントヘッドのクリーニング」 59 ページ

印刷トラブルが解消されない、ホワイトインクのノズルチェックパターンの線が上下にずれることが解消されないときは、お買い求めの販売店またはエプソンソリューションコールセンターに連絡してください。

☞ 「お問い合わせ先」 107 ページ

外観・仕様は予告なく変更することがあります。

白さが足りない/白がムラになる

■ **プリントヘッドのノズルが目詰まりしているませんか？**

プリントヘッドが目詰まりを起こしていると、色が出なくなったり印刷品質が悪くなります。ノズルチェックパターンを印刷してみてください。

☞ 「ノズルの目詰まりチェック」 58 ページ

■ ホワイトインクをかくはんしていますか？

ホワイトインクはインク成分が沈降しやすいため、始業時および 24 時間（メッセージ表示時）ごとにかくはんが必要です。インクパックを取り出してよく振ってください。

☞ 「インクパックの定期かくはん」 52 ページ

上記の対処を行っても白さが足りないときや当てはまる項目がないときは以下の手順でクリーニング（強）を実施してください。

- 1 本機の電源が入っていることを確認し、（プリンターのお手入れ）を押し、【プリントヘッドのクリーニング】 - 【クリーニング（強）】 - 【列を選択】 - 【ホワイト】の順に押します。
- 2 全ての WH 列を選択し、【OK】を押します。

[クリーニング（強）] を 1-2 回実施しても白さが足りないときは、お買い求めの販売店またはエプソンサービスコールセンターに連絡してください。

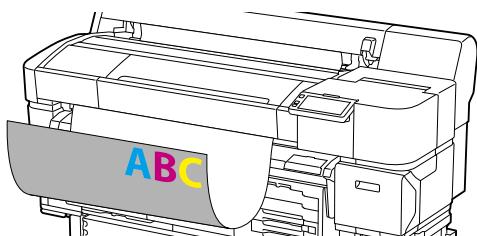
☞ 「お問い合わせ先」 107 ページ

画像全体に白色の版ズレが見られる

■ 【ノズルシフト】で縦方向の印刷位置を補正してください。

ズレの見え方により、調整手順が異なります。詳細は、以降をご覧ください。

以降の図は 3 色の文字を印刷後に文字部分に下地のホワイトを印刷した際の白色版のズレを示しています。メディアの先端が上になるようにして、図のグレーの面から見るようにしてください。印刷面から見ると、ホワイトインクに隠れてカラーインクの印刷が見えません。なお、白色版が分かりやするようにメディアの裏面をグレーで示しています。



全色に対して同じ方向にズレが見られるとき



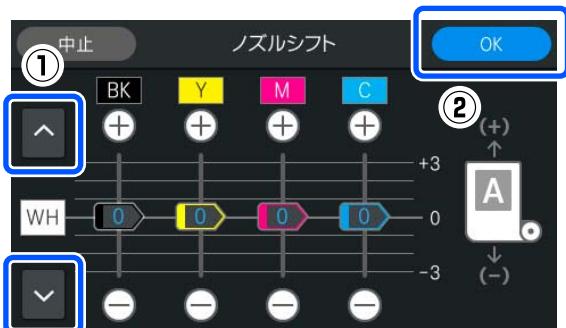
下側に見える



上側に見える

調整方法

画面左側の  /  ボタンでホワイトの印刷位置ズレを補正します。



- 1 電源が入っていることを確認し、（プリンターのお手入れ） - 【ノズルシフト】の順に押します。

- 2 白色版のズレ方向に応じて  /  を操作します。

白色版が下側に見えるとき：

 を押す（BK, Y, M, C のスライダーに表示される値が -1 される）

白色版が上側に見えるとき：

 を押す（BK, Y, M, C のスライダーに表示される値が +1 される）

参考

どのインク色がずれているかわかりにくいときは、ホワイト・ブラック・イエロー・マゼンタ・シアンのインク色に近い色の塗りつぶし（四角形など）を横方向に並べて印刷すると確認しやすくなります。

- 3 【OK】を押して調整を終了します。

- 4 同じ画像を再度印刷して調整結果が適切か確認します。

調整が不十分な時は手順 1 に戻り、さらに調整を行ってください。

特定の色に対してのみズレが見られるとき



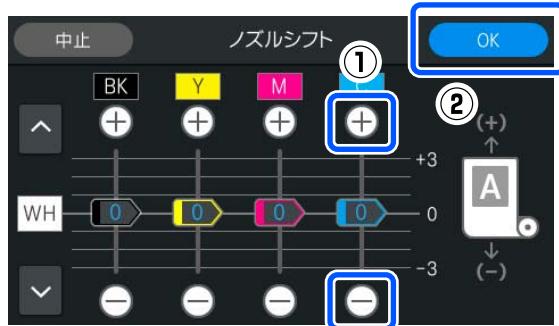
シアンの下側に見える



シアンの上側に見える

調整方法

白色版のズレが見られるインク色の **+** / **-** で印刷位置ズレを補正します。



1 電源が入っていることを確認し、**①** (プリンターのお手入れ) - [ノズルシフト] の順に押します。

2 白色版のズレ方向に応じて **C** (シアン) の **+** / **-** を以下のように操作します。

白色版が下側に見えるとき :

- を押す (スライダーに -1 と表示される)

白色版が上側に見えるとき :

+ を押す (スライダーに 1 と表示される)

参考

どのインク色がずれているかわかりにくいときは、ホワイト・ブラック・イエロー・マゼンタ・シアンのインク色に近い色の塗りつぶし (四角形など) を横方向に並べて印刷すると確認しやすくなります。

3 **[OK]** を押して調整を終了します。

4 同じ画像を再度印刷して調整結果が適切か確認します。

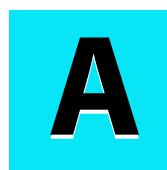
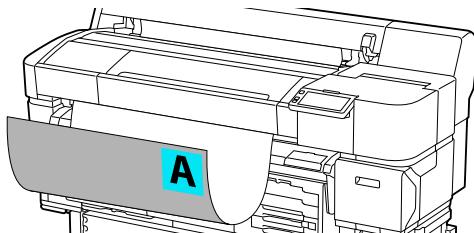
調整が不十分な時は手順 1 に戻り、さらに調整を行ってください。

文字と背景がずれる

- [ノズルシフト] で縦方向の印刷位置を補正してください。

以降の手順に従って文字と背景がずれている部分の近くにある色の印刷位置を調整してください。

以下は、シアンとブラックの 2 色で印刷した例です。メディア先端が上になるように確認してください。



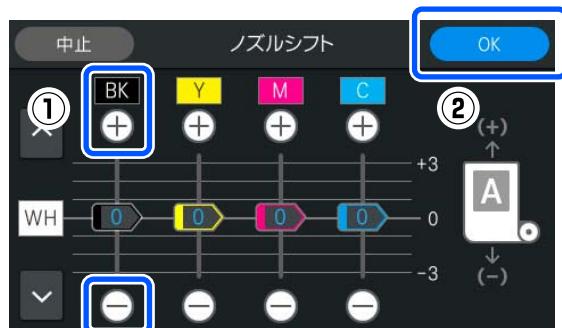
下側に見える



上側に見える

調整方法

文字と背景がずれている部分の近くで使用されているインク色の **+** / **-** を押して印刷位置ズレを補正します。上図の例では **BK** (ブラック) を調整します。



1 電源が入っていることを確認し、**①** (プリンターのお手入れ) - [ノズルシフト] の順に押します。

2 文字と背景がずれている位置に応じて **BK** (ブラック) の **+** / **-** を以下のように操作します。

文字と背景のズレが下側に見えるとき :

- を押す (スライダーに -1 と表示される)

文字と背景のズレが上側に見えるとき :

+ を押す (スライダーに 1 と表示される)

参考

どのインク色がずれているかわかりにくいときは、ブラック・イエロー・マゼンタ・シアンのインク色に近い色の塗りつぶし（四角形など）を横方向に並べて印刷すると確認しやすくなります。

■ プリントヘッドの周辺の清掃をしてみてください。

プリントヘッドの周辺にあるメディア幅のセンサーが汚れているとメディアの幅が認識できず、エラーになることがあります。プリントヘッドの周辺の清掃をしてみてください。

☞ 「プリントヘッド周辺の清掃」 48 ページ

3 [OK] を押して調整を終了します。

4 同じ画像を再度印刷して調整結果が適切か確認します。

調整が不十分な時は手順 1 に戻り、さらに調整を行ってください。

メディアのトラブル

メディア詰まりが起きる

■ メディアのセット位置は正しいですか？

メディアを正しい位置にセットしてください。

☞ 「メディアのセット」 33 ページ

メディアが正しくセットされているときは、使用しているメディアの状態を確認してください。

■ メディアにカールや折れ、曲がり、しわ、波打ちが見られませんか？

カールやしわ、波打ち、折れ曲がった部分をカットし、取り除いてお使いください。

☞ 「メディアのカット」 35 ページ

☞ 「セットしたメディアの設定」 33 ページ

■ メディアは、セットしたまま放置していましたか？

メディアを本機にセットしたまま放置すると、表面上にローラーの跡が付いたり、メディアが波打ったり、反ったりします。

■ メディアが厚すぎたり、薄すぎたりしませんか？

本機で使用できる仕様のメディアか確認してください。

☞ 「使用可能なメディア」 99 ページ

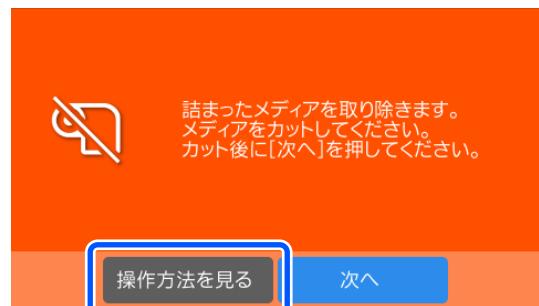
ソフトウェア RIP を使用して印刷するときの設定方法は、RIP の製造元にお問い合わせください。

■ 吸着力が強くないですか？

[吸着力]（挿入経路にメディアを吸着する力）を下げてみてください。☞ 「メディア設定メニュー」 76 ページ

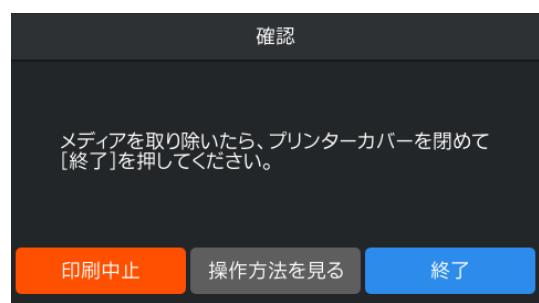
詰まったメディアの取り除き方

操作パネルの画面のエラー表示を確認し、表示された手順に従ってメディアを取り除いてください。



メディアを取り除いた後、以下の画面で [印刷中止] を押すと、印刷ジョブが破棄されます。最初から印刷をやり直すときに押してください。

[終了] を押してメディアをセットし直すと残りの印刷データが印刷されます。



その他

操作パネルの画面表示が消える

■ スリープモードになつていませんか？

設定メニューの [スリープ移行時間設定] で設定している時間を超えて本機で作業しないとスリープモードになります。スリープモードに移行する時間は本体設定メニューで変更できます。

☞ 「本体設定メニュー」 68 ページ

黒データで印刷しているがカラーのインクの減りが早い

- **プリントヘッドのクリーニングではカラーアイントも消費されています。**
[プリントヘッドのクリーニング] を実行すると、全色のインクが消費されます。

メディアがきれいに切り取れない

- **カッターを交換してください。**
メディアがきれいに切り取れなくなったときやカット部が毛羽立つときには、カッターを交換してください。
☞ 「カッターの交換」 57 ページ

本体内部が光っている

- **この状態は故障ではありません。**

ネットワークのパスワードを忘れた

- **エプソンソリューションコールセンターにご相談ください。**
☞ 「お問い合わせ先」 107 ページ

お問い合わせいただく前に

トラブルが発生したときは、以下をご確認いただくと解消することができます。

エプソンのウェブサイトのQ&A

エプソンのウェブサイト (<https://www.epson.jp>) では、お問い合わせの多い内容を Q&A 形式で紹介しています。トラブルや疑問の解消にお役立てください。

ファームウェアのバージョンアップ

エプソンのウェブサイト (<https://www.epson.jp>) では最新のファームウェアのバージョンアップ情報を提供しています。

ファームウェアのアップデートは Epson Edge Dashboard で簡単に行えます。詳細は Epson Edge Dashboard のヘルプをご覧ください。

トラブルが解消されないときは

「困ったときは」の内容やエプソンのウェブサイトで確認をしても、トラブルが解消されないときは、本機の動作確認をした上でトラブルの原因を判断してそれぞれのお問い合わせ先に連絡ください。

☞ 「サービス・サポートのご案内」 105 ページ

付録

最新の情報は、エプソンのウェブサイト（<https://www.epson.jp>）をご覧ください。（2025年1月現在）

消耗品とオプション

インクパック

商品名		型番
インクパック	ブラック	SC32BK
	シアン	SC32C
	マゼンタ	SC32M
	イエロー	SC32Y
	ホワイト	SC32WW
	メンテナンスリキッド	SC32ML

プリンター性能をフルに発揮するためにエプソン純正品の指定されたインクパックを使用することをお勧めします。純正品以外のものご使用になりますと、プリンター本体や印刷品質に悪影響が出るなど、プリンター本来の性能を発揮できない場合があります。純正品以外の品質や信頼性について保証できません。非純正品の使用に起因して生じた本体の損傷、故障については、保証期間内であっても有償修理となります。

その他

商品名	型番	備考
ロール紙アダプター	SCF63RPA	製品付属のアダプターと同等品です。
廃インクボトル	SC2WIB	製品付属の廃インクボトルと同等品です。
ヘッドクリーニングセット	SC30HCS2	フラッシング用吸収材、乾燥防止キャップ、ワイバーユニットのセットです。
メンテナンスキット	SC6MKIT	プリントヘッド周辺の清掃、吸引キャップ周辺の清掃に使用します。
ペーパーカッター替え刃	SCSPB2	交換用のカッターです。
ノズルリフレッシュツール	SC32NRT	ノズルリフレッシュ（ノズル面の清掃）に使用します。

使用可能なメディア

本機で使用できるメディアの仕様は、以下の通りです。メディアの種類および品質は、印刷結果に大きく影響します。用途に合った適切なメディアをお使いください。また、使用の際の注意事項はそのメディアに付属のマニュアルをご覧になるか、メーカーに詳細をお問い合わせください。メディアを大量に購入する際は、事前にそのメディアに印刷したときの仕上がり具合を確認してください。

！重要

しわ、毛羽立ち、破れ、汚れなどのあるメディアは使用しないでください。

ロールメディア

紙管サイズ（芯径）	2インチ、3インチ
ロール外径	150 mm 以内
メディア幅	254 mm (10インチ) ~ 900 mm (35.4 in.)
メディア厚さ	0.5 mm 以下
ロール質量	最大 10 kg

移動と輸送

ここでは、本機を移動または輸送する方法について説明します。

本章では、移動・輸送を以下のように定義します。

移動	段差のない同一フロア内で設置場所を変更すること。
輸送	別のフロアや建物に設置場所を変更すること。運送業者に委託する場合も含みます。

移動の方法

！警告

- 漏電事故防止のため、接地（アース）極付きコンセントに接続してください。接地極付きコンセント以外に接続すると、感電・火災のおそれがあります。ご使用になる電源コンセントを確認してください。接地極付きコンセントではないときは、販売店に相談してください。
- AC100 V 以外の電源は使用しないでください。感電・火災のおそれがあります。
- テーブルタップへの接続、電源コードのたこ足配線はしないでください。感電・火災のおそれがあります。家庭用電源コンセント (AC100 V) から直接電源を取ってください。

！注意

本製品を移動する際は、前後左右に 10 度以上傾けないでください。転倒などによる事故のおそれがあります。

移動の準備

移動の際は、事前に以下の準備を行い、移動してください。

- 本機の電源を切り、全ての配線を外してください。
- インクが垂れないように新しい廃インクボトルを取り付けてください。
- メディアを取り外してください。
- スタンドのロックを解除してください。

！重要

インクパックを取り外さないでください。プリントヘッドのノズルが目詰まりして印刷できなくなったり、インクが漏れたりするおそれがあります。

移動後の本機の設定

移動後は以下の設定を行い、使用可能な状態にしてください。

1

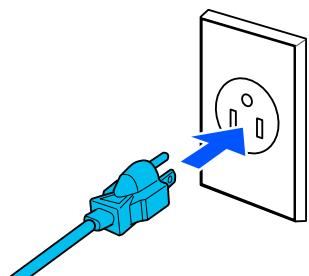
設置に適した場所か確認して、セットアップを行います。

☞ 「設置スペース」 19 ページ

☞『セットアップガイド』（冊子）

お手元に『セットアップガイド』がないときは、
<https://epson.sn> からお使いの機種を選択してご覧
いただけます。

- 2** 電源プラグを接地（アース）極付きコンセントに
差し込み、電源を入れます。



！重要

電源プラグの形状は国や地域により異なりま
す。必ず本機に付属の電源ケーブルをお使いく
ださい。

- 3** ノズルチェックを実行して、ノズルの目詰まりが
ないか確認します。

☞「ノズルの目詰まりの解消」58 ページ

- 4** プリントヘッドの位置調整を実行して、印刷品質
を確認します。

☞「プリントヘッドの位置調整」38 ページ

輸送の方法

本機を輸送するときは、お買い求めの販売店またはエプ
ソンソリューションコールセンターにご相談ください。

エプソンソリューションコールセンター連絡先 ☞「お問
い合わせ先」107 ページ

システム条件

各ソフトウェアは、以下の環境で使用できます。（2025年1月現在）

対応OS等は、変更されることがあります。

最新の情報は、エプソンのウェブサイト（<https://www.epson.jp>）をご覧ください。

Epson Edge Dashboard

！重要

Epson Edge Dashboard をインストールしたコンピューターは、以下の条件でお使いください。

条件が守られないと正しくプリンターの監視が行えません。

- 休止状態（ハイバネーション）機能を設定しないでください。
- スリープ状態にならないようにスリープ機能を無効に設定してください。

Windows PC

オペレーティングシステム	Windows 11 Windows 10 / Windows 10 x64
CPU	Intel Core2Duo 2.5GHz 以上
空きメモリー領域	1GB 以上
ハードディスク (インストール時空き容量)	2GB 以上
ディスプレイ解像度	1280×1024 以上
通信インターフェイス	High Speed USB Ethernet 1000Base-T
ブラウザー	Internet Explorer 11 Microsoft Edge

Mac

オペレーティングシステム	Mac OS 10.9.5 以降
CPU	Intel Core2Duo 2.5GHz 以上
空きメモリー領域	1GB 以上
ハードディスク (インストール時空き容量)	2GB 以上
ディスプレイ解像度	1280×1024 以上
通信インターフェイス	High Speed USB Ethernet 1000Base-T
ブラウザー	Safari 6 以降

Epson Edge Print PRO

オペレーティングシステム	Windows 11 Windows 10 x64 Windows 8.1 x64
CPU	Intel®Core™ i3 3.0 GHz 以上 (2014年4月以降に発表されたもの)
空きメモリー領域	8GB 以上
ハードディスク (インストール時空き容量)	50GB 以上
ディスプレイ解像度	1280×1024 以上
通信インターフェイス	High Speed USB Ethernet 100Base-TX/1000Base-T

本ソフトウェアをインストールするコンピューターは、Adobe Illustratorなどのアプリケーションソフトも合わせてお使いになることを考慮し、なるべくスペックの高いものをお使いになることをお勧めします。

また、本ソフトウェアで取り扱うデータは通常でも数GB、高品質の長尺印刷を行う際は数十GBになることがあります。このため、ハードディスクの空き容量にも十分余裕があるコンピューターをお勧めします。

Web Config

対応ブラウザーは以下の通りです。ブラウザーは最新バージョンを使用してください。

Microsoft Edge、Firefox、Chrome、Safari

仕様一覧

本体仕様	
印字方式	オンデマンドインクジェット方式
ノズル配列	ノズル数: 3200 ノズル (400 ノズル/列 × 2列×4チップ)
解像度 (最大)	1200x600 dpi
コントロールコード	ESC/P ラスター (コマンドは非公開)
メディア送り方式	フリクションフィード
内蔵メモリー	1GB
インターフェイス	SuperSpeed USB 100Base-TX/1000Base-T *1
定格電圧	AC100 - 240 V
定格周波数	50/60 Hz
定格電流	3.4 - 1.6A
消費電力	
動作時	約 65 W
スリープモード時	約 6.0 W
電源オフ時	約 0.2 W
温度	推奨: 20~25°C 動作時: 10 ~ 35 °C 保管時 (開梱前): -10 °C ~ 60 °C (60°Cの場合 120 時間以内、40 °C の場合 1カ月以内) 保管時 (開梱後): -20 °C ~ 40 °C (40°Cの場合 1カ月以内)
湿度 (非結露)	推奨: 40~60% 動作時: 20 ~ 80% 保管時: 5 ~ 85%

本体仕様	
温度・湿度範囲	
グレー部:動作時	
斜線部:推奨	
(%)	
90	
80	
70	
60	
55	
50	
40	
30	
20	
10	
0	
0	5 10 15 20 25 27 30 35 40 (°C)
外形サイズ	
収納時	幅 1608 × 奥行き 746 × 高さ 1128 mm
最大時	幅 1608 × 奥行き 746 × 高さ 1325 mm
質量	129 kg *2

*1 シールドツイストペアケーブル(カテゴリー 5e 以上)を使用してください。

*2 インクパック含まず。

参考

安定した色合いで印刷したいときは、20 ~ 25 °Cの環境下で一定の室温に保ち、使用してください。

!重要

本機は、標高 2000 m 以下でお使いください。

インクパック・クリーニングインクパック仕様	
形態	専用インクパック
インク種類	顔料インク
有効期限	インクパックに記載された期限(常温で保管)
印刷品質保証期限	1 年 (プリンター装着後)

インクパック・クリーニングインクパック仕様	
温度	動作時: 10 ~ 35°C 梱包保管および本機装着時: -20 ~ 40°C (-20°Cの場合 4 日以内、40°Cの場合 1 ル月以内) 梱包輸送時: -20 ~ 60°C (-20°Cの場合 4 日以内、40°Cの場合 1 ル月以内、60°Cの場合 72 時間以内)
外形寸法 (約)	幅 180 × 長さ 410 × 高さ 30 mm
容量	1600 ml

インククリーナー仕様	
有効期限	容器に記載された期限(常温で保管)
温度	使用時: 10 ~ 35°C 梱包保管時: -20 ~ 40°C (-20°Cの場合 4 日以内、40°Cの場合 1 ル月以内) 梱包輸送時: -20 ~ 60°C (-20°Cの場合 4 日以内、40°Cの場合 1 ル月以内、60°Cの場合 72 時間以内)
容量	150 ml

サービス・サポートのご案内

各種サービス・サポートについて

弊社が行っている各種サービス・サポートについては、以下のページでご案内しています。

[☞ 「お問い合わせ先」 107 ページ](#)

保守サービスのご案内

「故障かな?」と思ったときは、まず『ユーザーズガイド』（オンラインマニュアル）をよくお読みください。そして、接続や設定に間違いがないことをご確認の上、保守サービスの受付窓口にお問い合わせください。

保証書について

保証期間中に故障した場合には、保証書の記載内容に基づき修理いたします。保証期間や保証事項については、保証書をご覧ください。

保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入漏れがないかご確認いただき、ご提示ください。「お買い上げ年月日」「販売店名」の記載がない場合は、保証書と共に、購入の証憑（領収書、納品書等）となるものを添付のうえご提示ください。

保証書は大切に保管してください。

補修用性能部品および消耗品の保有期間

本製品の補修用性能部品および消耗品の保有期間は、製品の製造終了後 7 年間です。

予告なく外観や仕様、補修用性能部品および消耗品の保有期間などを変更することがあります。

保守サービスの受付窓口

エプソン製品を快適にご使用いただくために、年間保守契約をお勧めします。保守サービスに関してのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。

- お買い求めいただいた販売店
- 修理のお申し込み窓口

[☞ 「お問い合わせ先」 107 ページ](#)

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しております。詳細は、お買い求めの販売店またはエプソン修理のお申し込み窓口までお問い合わせください。

- 定期交換部品の寿命による交換は、保証内外を問わず、出張基本料・技術料・部品代が有償となります。
- 年間保守契約をされている場合は、定期交換部品代のみ有償（お客様交換可能な定期交換部品の場合は、出張基本料・技術料も有償）です。
- 本機は、専門業者による輸送対象製品のため、持込保守および持込修理はご遠慮ください。

種類	概要	修理代金と支払方法	
		保証期間内	保証期間外
年間保守契約	<p>出張修理</p> <ul style="list-style-type: none"> 優先的にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。 修理の都度発生する修理代・部品代*が無償のため、予算化ができます。 定期点検（別途料金）で、故障を未然に防ぐことができます。 	無償	年間一定の保守料金
スポット出張修理	<p>お客様からご連絡いただいたて数日以内にサービスエンジニアを派遣し、その場で修理いたします。</p>	無償	<p>有償 (出張料+技術料+部品代) 修理完了後その都度お支払いください。</p>

* 消耗品（インクカートリッジ、トナー、用紙など）は、保守対象外です。

！重要

- エプソン純正品以外あるいはエプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合は、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。ただし、この場合の修理などは有償で行います。
- 本製品の故障や修理の内容によっては、製品本体に保存されているデータや設定情報が消失または破損することがあります。また、お使いの環境によっては、ネットワーク接続などの設定をお客様に設定し直していただくことがあります。これに関して弊社は保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。データや設定情報は、必要に応じてバックアップするかメモを取るなどして保存することをお勧めします。

エプソンサービスパック

エプソンサービスパックは、ハードウェア保守パックです。

エプソンサービスパック対象製品と同時にご購入の上、登録していただきますと、対象製品購入時から所定の期間（3年、4年、5年）、出張修理いたします。また、修理のご依頼や故障かどうかわからない場合のご相談等の受付窓口として、専用のヘルプデスクをご用意いたします。

- スピーディな対応：スポット出張修理依頼に比べて優先的にサービスエンジニアを派遣いたします。
- もしものときの安心：トラブルが発生した場合は何回でもサービスエンジニアを派遣して修理いたします。
- 手続きが簡単：ウェブサイトで必要事項を登録、またはエプソンサービスパック登録書をファックスするだけで、契約手続きなどの面倒な事務処理は一切不要です。
- 維持費の予算化：エプソンサービスパック規約内・期間内であれば都度修理費用がかからず、維持費の予算化が可能です。

エプソンサービスパックは、エプソン製品ご購入販売店にてお買い求めください。

お問い合わせ先

●エプソンのウェブサイト epson.jp

各種製品情報ドライバー類の提供、サポート案内等のさまざまな情報を満載したエプソンのウェブサイトです。

●修理に関するお問い合わせ・出張修理・保守契約のお申し込み先(エプソンソリューションコールセンター)

050-3155-8690

○上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8431へお問い合わせください。

●製品の新規ご購入に関するご質問・ご相談先

製品の購入をお考えになっている方の専用窓口です。製品の機能や仕様など、お気軽にお電話ください。

050-3155-8380

○上記電話番号をご利用できない場合は、042-585-8413へお問い合わせください。

上記050で始まる電話番号はKDDI株式会社の電話サービスを利用しています。

上記電話番号をご利用いただけない場合は、携帯電話またはNTTの固定電話(一般回線)からおかけいただか、各○印の電話番号におかけくださいますようお願いいたします。

● MyEPSON

エプソン製品をご愛用の方も、お持ちでない方も、エプソンに興味をお持ちの方への会員制情報提供サービスです。お客様にピッタリのおすすめ最新情報を届けたり、プリンターをもっと楽しくお使いいただくお手伝いをします。製品購入後のユーザー登録もカンタンです。さあ、今すぐアクセスして会員登録しよう。

インターネットでアクセス!

myepson.jp/

▶ カンタンな質問に答えて

会員登録。

●消耗品のご購入

製品取扱販売店でお買い求めください。

本ページに記載の情報は予告無く変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。
最新の情報はエプソンのウェブサイト(epson.jp/support)にてご確認ください。

エプソン販売 株式会社 〒160-8801 東京都新宿区新宿四丁目1番6号 JR新宿ミライナタワー

セイコーエプソン 株式会社 〒392-8502 長野県諏訪市大和三丁目3番5号

商業(捺染) 2022.03

製品に関する諸注意と適合規格

本製品を日本国外へ持ち出す場合の注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがあります、弊社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

本製品の不具合に起因する付隨的損害

万一、本製品（添付のソフトウェア等も含む。以下同じ。）の不具合によって所期の結果が得られなかつたとしても、そのことから生じた付隨的な損害（本製品を使用するために要した諸費用、および本製品を使用することにより得られたであろう利益の損失等）は、補償致しかねます。

本製品の使用限定

本製品を航空機・列車・船舶・自動車などの運行に直接関わる装置・防災防犯装置・各種安全装置など機能・精度などにおいて高い信頼性・安全性が必要とされる用途に使用される場合は、これらのシステム全体の信頼性および安全維持のためにフェールセーフ設計や冗長設計の措置を講じるなど、システム全体の安全設計にご配慮いただきた上で弊社製品をご使用いただくようお願いいたします。本製品は、航空宇宙機器、幹線通信機器、原子力制御機器、医療機器など、極めて高い信頼性・安全性が必要とされる用途への使用を意図しておりませんので、これらの用途には本製品の適合性をお客様において十分ご確認の上、ご判断ください。

プリンター本体の廃棄

事業所など業務でお使いのときは、産業廃棄物処理業者に廃棄物処理を委託するなど、法令に従って廃棄してください。

一般家庭でお使いのときは、必ず法令や地域の条例、自治体の指示に従って廃棄してください。

複製が禁止されている印刷物

紙幣、有価証券などをプリンターで印刷すると、その印刷物の使用如何に係わらず、法律に違反し、罰せられます。

（関連法律）刑法第148条、第149条、第162条
通貨及証券模造取締法第1条、第2条など

以下の行為は、法律により禁止されています。

- 紙幣、貨幣、政府発行の有価証券、国債証券、地方証券を複製すること（見本印があつても不可）

- 日本国外で流通する紙幣、貨幣、証券類を複製すること
- 政府の模造許可を得ずに未使用郵便切手、郵便はがきなどを複製すること
- 政府発行の印紙、法令などで規定されている証紙類を複製すること

次のものは、複製するにあたり注意が必要です。

- 民間発行の有価証券（株券、手形、小切手など）、定期券、回数券など
- パスポート、免許証、車検証、身分証明書、通行券、食券、切符など

著作権

写真・書籍・地図・図面・絵画・版画・音楽・映画・プログラムなどの著作権物は、個人（家庭内その他これに準ずる限られた範囲内）で使用するために複製する以外は著作権者の承認が必要です。

電波障害自主規制

この装置は、クラスA機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

瞬時電圧低下

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。（社団法人電子情報技術産業協会（社団法人日本電子工業振興協会）のパーソナルコンピューターの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

電源高調波

この装置は、高調波電流規格JIS C 61000-3-2に適合しています。

インターネット回線への接続に関するご注意

本製品のネットワークインターフェイスは、電気通信事業者（移動通信会社、固定通信会社、インターネットサービスプロバイダ等）の通信回線に直接接続することができません。本製品をインターネットへ接続する際は、必ずルーターなどを経由し接続してください。

セキュリティの観点から、本製品はインターネットに直接接続せず、ルーターやファイアウォールなどで保護されたネットワーク内に設置してください。

* 製品の仕様により、搭載されないネットワークインターフェイスがある場合があります。